

## **巻末資料 4**

# **都道府県薬剤師会における 事業成果の活用状況**

	H29年度			H30年度				
	研修テーマ		受講者課題	研修テーマ			受講者課題	
	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	・病院や地域におけるチーム医療に必要なとされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	・AMR（薬剤耐性）対策	・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	
1	北海道	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み
2	青森	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	実施済み	予定なし	予定なし
3	岩手	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	検討中	予定なし	予定なし
4	宮城	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	検討中	検討中
5	秋田	実施済み	実施済み	検討中	予定あり	検討中	検討中	検討中
6	山形	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	実施済み
7	福島	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	検討中	実施済み
8	茨城	実施済み	実施済み	実施済み	予定あり	予定なし	実施済み	実施済み
9	栃木	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	検討中
10	群馬	予定なし	実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	予定なし	予定なし
11	埼玉	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中
12	千葉	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	実施済み
13	東京	実施済み	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
14	神奈川	予定なし	予定あり	予定あり	予定なし	検討中	予定なし	予定なし
15	新潟	予定なし	実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	予定なし	実施済み
16	富山	検討中	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
17	石川	予定あり	実施済み	検討中	予定あり	実施済み	実施済み	検討中
18	福井	予定なし	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
19	山梨	予定なし	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み
20	長野	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	検討中	検討中	実施済み
21	岐阜	予定なし	実施済み	検討中	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
22	静岡	予定なし	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
23	愛知	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	実施済み	実施済み	予定あり
24	三重	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
25	滋賀	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定あり	予定あり
26	京都	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
27	大阪	実施済み	実施済み	予定あり	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし
28	兵庫	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
29	奈良	予定なし	実施済み	予定なし	予定なし	検討中	予定なし	予定なし
30	和歌山	実施済み	検討中	検討中	実施済み	検討中	予定なし	予定なし
31	鳥取	実施済み	検討中	検討中	検討中	予定あり	実施済み	実施済み
32	島根	予定あり	予定あり	予定あり	予定なし	予定あり	予定なし	予定なし
33	岡山	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
34	広島	実施済み	実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	予定なし	予定なし
35	山口	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	検討中
36	徳島	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
37	香川	実施済み	実施済み	実施済み	予定あり	検討中	検討中	検討中
38	愛媛	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
39	高知	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	検討中
40	福岡	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	実施済み
41	佐賀	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
42	長崎	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	実施済み
43	熊本	実施済み	実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み	実施済み
44	大分	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
45	宮崎	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
46	鹿児島	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み
47	沖縄	検討中	予定あり	予定あり	予定なし	検討中	検討中	検討中

R 元年度			R 2 年度			
研修テーマ		受講者課題	研修テーマ			受講者課題
・性と避妊	・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬薬連携の推進を目指す）	・成育医療と薬剤師	・セルフメディケーションと薬剤師	・医療機関と薬局の連携について	受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出
検討中	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	実施済み
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	検討中	予定なし
実施済み	予定なし	検討中	予定なし	予定なし	検討中	予定なし
検討中	検討中	検討中	検討中	実施済み	検討中	検討中
実施済み	検討中	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
検討中	実施済み	実施済み	予定なし	予定なし	検討中	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	実施済み
実施済み	予定なし	検討中	予定なし	検討中	検討中	検討中
実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み	予定あり	検討中
実施済み	検討中	検討中	予定なし	検討中	検討中	予定あり
実施済み	実施済み	実施済み	予定あり	実施済み	検討中	予定あり
実施済み	検討中	実施済み	検討中	検討中	予定あり	実施済み
実施済み	予定なし	予定あり	予定なし	予定なし	実施済み	予定あり
予定なし	予定あり	予定なし	予定なし	予定あり	検討中	検討中
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定あり	予定あり
実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
予定あり	実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み	予定あり
実施済み	実施済み	実施済み	予定あり	実施済み	実施済み	実施済み
実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み	検討中	検討中
検討中	検討中	実施済み	検討中	検討中	検討中	実施済み
予定なし	予定なし	検討中	予定なし	予定なし	検討中	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	予定あり	予定あり	予定あり	予定あり
実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	予定なし	実施済み	予定なし
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	実施済み
予定なし	予定あり	予定あり	予定なし	予定なし	検討中	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	実施済み	予定なし
予定なし	予定あり	予定なし	実施済み	予定あり	実施済み	予定なし
実施済み	実施済み	実施済み	予定なし	実施済み	検討中	実施済み
実施済み	検討中	予定なし	予定なし	予定なし	検討中	検討中
実施済み	検討中	検討中	予定なし	検討中	予定なし	予定なし
検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中
予定あり	予定あり	予定あり	予定なし	予定なし	予定あり	検討中
予定なし	検討中	予定なし	予定なし	実施済み	実施済み	実施済み
予定なし	実施済み	予定なし	予定なし	予定なし	予定あり	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	予定あり
検討中	実施済み	検討中	検討中	検討中	実施済み	検討中
予定あり	実施済み	実施済み	検討中	検討中	実施済み	実施済み
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	予定あり	予定あり
実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	検討中	実施済み
検討中	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	実施済み	検討中
実施済み	予定あり	実施済み	検討中	検討中	検討中	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	検討中	予定あり	検討中
実施済み	実施済み	実施済み	検討中	実施済み	予定あり	予定あり
予定あり	検討中	予定あり	検討中	検討中	予定あり	予定あり

	【2】「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」について、貴会の研修計画への活用状況をお知らせください。	シラバスを参考にし て研修計画を企画立 案している	都道府県薬剤師会・ 地域薬剤師会の主体 的な企画立案を基本 としつつ、テーマや 内容の参考としてシ ラバスを活用してい る	特に活用していない
1	北海道	○		
2	青森		○	
3	岩手			○
4	宮城		○	
5	秋田	○		
6	山形		○	
7	福島		○	
8	茨城		○	
9	栃木	○		
10	群馬	○		
11	埼玉			○
12	千葉			○
13	東京		○	
14	神奈川		○	
15	新潟		○	
16	富山		○	
17	石川	○		
18	福井			○
19	山梨		○	
20	長野		○	
21	岐阜			○
22	静岡			○
23	愛知			○
24	三重	○		
25	滋賀	○		
26	京都			○
27	大阪		○	
28	兵庫		○	
29	奈良		○	
30	和歌山			○
31	鳥取	○		
32	島根		○	
33	岡山		○	
34	広島		○	
35	山口		○	
36	徳島		○	
37	香川	○		
38	愛媛			○
39	高知		○	
40	福岡		○	
41	佐賀		○	
42	長崎	○		
43	熊本		○	
44	大分		○	
45	宮崎		○	
46	鹿児島		○	
47	沖縄		○	

	【3】令和2年度「次世代薬剤師指導者研修会」について	都道府県薬剤師会として有益であった	受講者本人にとって有益であった	わからない	その他 ⇒ 右欄に具体的に記入ください	
1	北海道	○				
2	青森		○			
3	岩手	○	○			
4	宮城	○	○			
5	秋田	○				
6	山形	○	○			
7	福島	○	○			
8	茨城	○				
9	栃木	○	○		○	地域で連携取組のきっかけとなった、担当者と研修が顔合わせになった
10	群馬	○				
11	埼玉		○			
12	千葉	○				
13	東京		○			
14	神奈川			○		
15	新潟	○	○		○	・事前課題の提示が開催直前すぎる。参加者が十分に取組みず意欲も減退する。 ・全国からの参加者がいるので、県内だけではなく、県を超えたグループワークもあるとより有益なのではないか。
16	富山			○		
17	石川	○	○			
18	福井		○			
19	山梨		○	○		
20	長野	○	○			
21	岐阜			○		
22	静岡	○	○			
23	愛知		○	○		
24	三重	○	○			
25	滋賀	○	○			
26	京都	○	○			
27	大阪		○			
28	兵庫	○			○	テーマ、研修会内容等により取り組みに違いがでた
29	奈良	○				
30	和歌山			○		
31	鳥取	○	○			
32	島根	○	○			
33	岡山	○				
34	広島	○				
35	山口	○	○		○	他県の方々とお会いできる貴重な機会なので、もっと交流を図れればと思いました。
36	徳島	○	○			
37	香川	○	○			
38	愛媛	○	○			
39	高知	○	○			
40	福岡	○				
41	佐賀			○		
42	長崎	○	○			
43	熊本		○			
44	大分	○	○			
45	宮崎	○	○			
46	鹿児島	○	○			
47	沖縄			○		

【4】Webによる開催について、よかった点・悪かった点をご記入ください。		良かった点	悪かった点
1	北海道	病院薬剤師などが参加しやすくなった。北海道の場合、地方からの参加の際に異動にかなりの時間がかかっていたため、それらの時間が短縮できた。	ディスカッションはやはりWebではやりにくそうな感じが見られました。
2	青森	移動の時間が省けたこと。	細かい部分での意思疎通ができなかった（WEB上だどうしても形式的になってしまう）。他県の取り組みについて詳しく聞けなかった（他県の担当者とのコミュニケーションをとる場がなかった。）
3	岩手	Web開催になったことで、受講者の人数が4名参加可能となり、グループディスカッションで活発な意見交換ができた。	特になし
4	宮城	同県内の参加者同士でのグループワークとしたことにより、参加者からは具体性のある情報共有と議論が可能になったとの評価が得られており、これは各薬剤師会・病院薬剤師会にとっても有益であると考えます。	グループワークにより多くの時間を割り当てられればとの感想があったが、同一県でのグループであったことから協議の場をあらためて設けるなどの対応は容易であり、特段の要改善事項ではないと考える。
5	秋田	社会環境に適応している	なし
6	山形	移動時間に割く時間がなく良かった。グループワークも問題なくできて、意見交換が出来たことは良かったと思う。	研修会前後などでの交流が出来ない点。他地区の知り合いの方との交流を持つことが出来なかった。演者や他県の代表の方との情報交換や議論などが出来なく残念であった、あったほうが良いと思う。
7	福島	・周囲の雰囲気分からないおかげで、グループ内での会話が進んだ。 ・自分たちの県の実情に合わせた取り組み方や、ざくばらんな話し合いの中で広げることができた。 ・例年、冬季開催のため状況するための天候不良による交通機関への影響が心配であること、また、受験シーズンのため宿泊ホテルの確保が困難であったため、今年は心配なく受講者に受講をお願いできた。	周囲の雰囲気がわからないので、グループ討議などで話しの方向性などを確認できるすべがなかった。 ただし、良かった点でも述べたように逆に良い面でもあった。
8	茨城	コロナ禍での感染リスクや移動時間など受講者への負担が軽減された点。自宅や勤務先からの参加で旅費が発生しない点。	事前課題への取組時間が短かった点。グループワークがWebで時間も限られており、掘り下げてディスカッションすることが難しかったとの受講者意見があった。
9	栃木	移動が少なく日程の負担がなく参加できた	研修参加者全体の様子が分からなかった。会場に参加の場合、他県の取組など意見交換ができるが、WEB研修の場合、雑談レベルも含めての情報交換が無かった。
10	群馬	感染対策に繋がった・時間を有効活用できた	緊張感の維持が難しい・意識の集中が図れない・途中退席をしても把握できない
11	埼玉	移動時間が不要となり、受講者に対し新型コロナウイルス感染防止対策ができた。	
12	千葉	会場への移動の負担がなかった	特にありません

【5】「次世代薬剤師指導者研修会」に関するご意見やご感想、また今後の同研修会に関する期待・ご要望など、ご自由にご記載ください。		
1	北海道	北海道薬剤師会では同研修会は若手病院薬剤師と若手薬局薬剤師の貴重な交流の場となっており、今後も継続して開催を望みます。
2	青森	企画・運営他、大変な作業だと思いますが、「薬剤師の薬剤師による薬剤師のための研修会」の定着の為、是非続けていただきたいと思います。
3	岩手	①一度開催した内容はもう行わないということではなく、違う手法で何回か繰り返し、継続して研修会を開催してほしい。②他県ではどのように研修会を開催しているのか、シラバスをどのように作成しているのかを知りたい。（他県の取組発表のような研修会があっても良い）
4	宮城	本研修は宮城県薬剤師会主催の各種研修会、地区薬剤師会が主催する研修会の実施において、主催者側の研修目的や内容の標準化に指標の一つとなった。 研修シラバスは情報共有の際に相互の共通言語として役立った。
5	秋田	薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード及びシラバスの視点から生涯教育の評価を行った（別添）。実践と再評価は社会環境を踏まえ今後の検討としている。
6	山形	研修会が毎年2月に開催されていますが、このタイミングでは新年度の県薬事業計画に落とし込めません。事業とリンクさせるためには、開催時期を検討してほしい。また、参加者報告が前年まで県薬を素通りでした。このため県薬事業としての認識が低いと思います。
7	福島	次世代という言葉にあるように自分たちが未来を担うという自覚とモチベーションが高まるような会になり、さらに未来を描き、そのために次の世代をどう引っ張っていくかというところまで考えられる研修になるとよいと思った。
8	茨城	-
9	栃木	毎年研修を実施していただけることで、県での研修会実施の方向性と内容のレベル設定が検討しやすく、研修組み立ての気付きが多いと感じている。今後もよろしく願いいたします。
10	群馬	今後もWEB開催にし、より多くの参加者を募った方が影響力があると思います
11	埼玉	-
12	千葉	地域における多職種連携の構築について、地域での健康サポート活動について学べる機会があると良いかと思います。
13	東京	（令和元年度）研修会に参加してとても有意義な内容であり、また都道府県を跨いでディスカッションが出来たこともよかったです。Webによる研修会はコロナ禍でも開催可能で、参加者の移動時間短縮も見込めますが、今後もしっかりとグループディスカッションの時間を確保して頂けたらと思います。 （令和2年度）オンラインにてこのような研修会を開催して下さったことで、今後都道府県薬剤師会としてもオンライン研修会のあり方について考えるきっかけになりました。非常に有意義だったと思います。今後もオンラインと集合研修のメリハリをつけて参加者の時間を大切にする研修会をお願いします。 都薬としての取組計画を提出させるのであれば、会としてのプロセスを踏む必要があり、研修会から計画提出までの日程を再考いただく必要があると感じました。
14	神奈川	-
15	新潟	・薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバスの充実と次世代薬剤師指導者研修会の開催は、別の内容であり、どちらか一方だけでは成り立たないと考える。 地域の指導者となる40歳代までの方が対象とした本研修会の開催とともに、薬剤師会の執行部等を対象とした研修シラバスの充実、定着に向けた全国会議を継続的に開催してほしい。 ・各都道府県薬における次年度事業の立案時期は秋頃であると思われる。研修会をもとに得られた成果を次年度計画に反映できるよう、開催時期を夏ごろにしてほしい。
16	富山	-
17	石川	-
18	福井	同県から参加した薬局薬剤師の先生と仲良くなることができた。一つの病院や薬局に勤務する薬剤師だと、ずっと誰とも関わらずに仕事を終える薬剤師もいるので、地域連携を図る上でも継続して開催してほしい。

# 北海道

都道府県薬名		北海道薬剤師会			
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度	
H29年度	研修テーマ	実施済み	別紙次第（3）の通り。各年度薬局薬剤師28名、病院薬剤師28名の計56名	令和元年度	
	受講者課題	実施済み	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	平成30～令和2年度	
H30年度	受講者課題	実施済み	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	平成30～令和2年度	
	研修テーマ	検討中	・AMR（薬剤耐性）対策		
	受講者課題	検討中	・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	別紙次第（3）の通り	令和元年度
R元年度	研修テーマ	検討中	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	別紙プログラム（4）の通り	令和2年度
	受講者課題	実施済み	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	別紙次第（1）～（4）の通り	平成30～令和2年度
R2年度	研修テーマ	検討中	・成育医療と薬剤師		
	受講者課題	検討中	・セルフメディケーションと薬剤師 ・医療機関と薬局の連携について		
	受講者課題	実施済み	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	別紙次第（1）～（4）の通り	平成30～令和2年度

## 北海道

### 平成30年度 次世代薬剤師指導者研修会

日時：平成30年11月11日(日) 9:00~15:00  
場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前 3F  
主催：(一社)北海道薬剤師会 共催：(一社)北海道病院薬剤師会

司会進行：北海道薬剤師会 社会保険委員会 委員長 大森 嵩

1. 開会挨拶 (5分)  
北海道薬剤師会 会長 竹内 伸仁
  2. 午前の部：テーマ「薬剤師を取り巻く社会情勢と医療等提供体制における役割」
    - ・ 講義①「薬剤師をとりまく社会的情勢について」(20分)  
北海道薬剤師会 副会長 斉藤 晃雄
    - ・ 講義②「保険薬局薬剤師業務の現状について」(20分)  
北海道薬剤師会 常務理事 山田 武志
    - ・ 講義③「病院薬剤師業務の現状について」(20分)  
北海道薬剤師会 理事 前田 直大
    - ・ ワークショップ「地域医療提供体制構築に向けて、薬・薬連携はどうあるべきか  
～地域の薬業連携の現状と理想」(85分)  
進行：北海道薬剤師会 病診委員会 副委員長 坂田 祐樹
  - ・ 総括 (5分)  
北海道薬剤師会 副会長 山田 英俊
- <昼食休憩> (45分)
3. 午後の部：テーマ「ポリファーマシー対策に向けて」
    - ・ 講義①「ポリファーマシーの現状について」(20分)  
北海道薬剤師会 病診委員会 副委員長 坂田 祐樹
    - ・ ワークショップ「ポリファーマシーを考える」(120分)  
北海道病院薬剤師会 療養・精神委員会 副委員長 五十君 篤哉  
医療法人 尚仁会 真栄病院 薬剤科長
  4. 総括 (20分)  
北海道薬剤師会 副会長 有澤 賢二

○JPALS 研修会コード

- 平成30年11月11日：01-2018-0239-101  
○日病薬病院薬学認定薬剤師研修カリキュラム項目
- ・ テーマ「薬剤師をとりまく社会的情勢について」講義①、②、③：I-1 0.5単位
  - ・ ワークショップ「地域医療提供体制構築に向けて、薬・薬連携はどうあるべきか  
～地域の薬業連携の現状と理想」：III-2 1単位
  - ・ テーマ「ポリファーマシー対策に向けて」：III-1 1.5単位

## 北海道

### 令和元年度 次世代薬剤師指導者研修会

日時：令和元年11月23日(土) 17:00~20:00  
場所：TKP ガーデンシティPREMIUM 札幌大通 7F  
主催：(一社)北海道薬剤師会 共催：(一社)北海道病院薬剤師会

司会進行：北海道薬剤師会 病診委員会 委員長 岩尾 一生

1. 開会挨拶 (5分)  
北海道病院薬剤師会 理事 田中 協
2. イントロダクション (10分)  
北海道薬剤師会 常務理事 山田 武志
3. テーマ「薬剤師を取り巻く社会情勢と医療等提供体制における役割」
  - ・ 講義①「保険薬局薬剤師業務の現状を知らう」(20分)  
北海道薬剤師会 社会保険委員会 委員長 大森 嵩
  - ・ 講義②「病院薬剤師業務の現状を知らう」(20分)  
北海道薬剤師会 理事 前田 直大
4. 事例紹介 (20分)  
・ 「北空知支部における伝達講習会のご紹介」  
北海道薬剤師会 北空知支部 一の薬局 代表取締役 片山 真二
5. 情報交換会 (100分)  
乾杯挨拶：北海道薬剤師会 副会長 山田 英俊  
北海道病院薬剤師会 理事 山田 英俊
6. 閉会挨拶 (5分)  
北海道薬剤師会 副会長 斉藤 晃雄

# 令和2年度 次世代薬剤師指導者研修会プログラム

令和3年2月7日

司会進行：織田 朋子 先生（アーク調剤薬局石山店）

タイムテーブル	所要時間	演題	担当者
9:00～9:05	5分	開会挨拶	竹内 伸仁 先生（北海道薬剤師会 会長）
9:05～9:15	10分	趣旨説明	山田 武志 先生（北海道薬剤師会 常務理事）
9:15～9:20	5分	プレアンケート	石丸 竜大 先生（時計台薬局）
メインテーマ：薬機法改正を踏まえた患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導			
9:20～9:35	15分	講義1 アフターコロナに向けた薬剤師を取り巻く社会的状況（薬局薬剤師）	大森 嵩 先生（北海道薬剤師会 理事）
9:35～9:50	15分	講義2 アフターコロナに向けた薬剤師を取り巻く社会的状況（病院薬剤師）	前田 直大 先生（北海道薬剤師会 理事）
9:50～10:05	15分	WS1 COVID-19における職場での対応	
テーマ：がんの薬物療法における薬剤師のかかわり方			
10:05～10:35	30分	講義3 抗がん剤の基礎知識	玉木 慎也 先生（KKR札幌医療センター）
10:35～10:55	20分	講義4 薬局における副作用マネジメント	鎌沢 弦 先生（むつみ薬局）
10:55～11:00	5分	質疑応答	
11:00～11:10	10分	小休憩	
11:10～12:30	80分	WS2 継続的な薬学管理～大腸癌の治療と副作用への薬学的アプローチ～	玉木 慎也 先生（KKR札幌医療センター）
12:30～12:45	15分	発表	
12:45～12:55	10分	質疑応答・WS総括	
12:55～13:00	5分	午前中の総括	有澤 賢二 先生（北海道薬剤師会 副会長）
13:00～14:00	60分	昼食休憩	
テーマ：糖尿病・認知症の薬物療法における薬剤師のかかわり方			
14:00～14:20	20分	講義5 糖尿病患者の薬物治療管理を継続的に行うために必要な視点と能力	葛葉 守 先生（萬田記念病院）
14:20～14:40	20分	講義6 認知症患者の薬物治療管理を継続的に行うために必要な視点と能力	大浦 和人 先生（さんこう調剤薬局）
14:40～14:45	5分	質疑応答	
14:45～16:25	100分	WS3 糖尿病・認知症患者の継続的な薬学管理	谷岡 哲 先生（小樽協会病院）
16:25～16:40	15分	発表	
16:40～16:45	5分	質疑応答・WS総括	
16:45～16:50	5分	ポストアンケート	石丸 竜大 先生（時計台薬局）
16:50～17:00	10分	総括	山田 英後 先生（北海道薬剤師会 副会長）

北海道

北海道

## 令和元年度 次世代薬剤師指導者研修会

日時：令和元年11月24日（日）9:00～15:00  
 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通 5F  
 主催：（一社）北海道薬剤師会 共催：（一社）北海道病院薬剤師会

司会進行：北海道薬剤師会 病診委員会 委員長 岩尾 一生

### 1. 開会挨拶（5分）

北海道薬剤師会 副会長 有澤 賢二

### 2. 午前の部①：テーマ「災害医療において、薬・薬連携はどうあるべきか考える」

- ・ 講義「北海道胆振東部地震の全道薬局の対応等実態調査結果報告」（20分）  
 北海道薬剤師会 常務理事 山田 武志
- ・ ワークショップ「災害医療から、薬・薬連携について考える」（85分）  
 進行：北海道薬剤師会 北空知支部  
 一の薬局 代表取締役 片山 真二

### <休憩>（10分）

### 3. 午前の部②：テーマ「エビデンス化に向けて研究計画書を作成する重要性、手法を理解する」

- ・ 講義A「臨床研究の必要性とその進め方」（20分）  
 北海道薬剤師会 病診委員会 委員長 岩尾 一生
- ・ 講義B「研究計画書作成と倫理審査」（20分）  
 北海道薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会 委員長 堀 仁

### ・ 午前中の総括（5分）

北海道薬剤師会 常務理事 野田 敏宏

### <昼食休憩>（45分）

- ・ 午後の部：テーマ「高齢者薬物療法における、これからの薬・薬連携を考える」  
 ・ 講義「適正な高齢者薬物療法の現状について」（20分）  
 北海道薬剤師会 札幌支部 社会保険委員会 委員 伊藤 優
- ・ ワークショップ「高齢者薬物療法における、これからの薬・薬連携を考える」（120分）  
 北海道病院薬剤師会 療養・精神委員会 副委員長 五十君 篤哉  
 医療法人 尚仁会 真栄病院 薬剤科長

### 5. 総括（10分）

北海道薬剤師会 常務理事 山田 武志

○JPALS 研修会コード 令和元年11月24日：01-2019-0191-101

○日本病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラム項目

- ・ テーマ「災害医療において、薬・薬連携はどうあるべきか考える」：IV-1 1単位
- ・ テーマ「エビデンス化に向けて研究計画書を作成する重要性、手法を理解する」：II-6 0.5単位
- ・ テーマ「高齢者薬物療法における、これからの薬・薬連携を考える」：III-2 1.5単位

青森

都道府県薬名		青森県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	予定なし		
H 30度	受講者課題	予定なし		
	研修テーマ	実施済み	資料添付	令和元年
	受講者課題	予定なし		
	研修テーマ	予定なし		
R 元度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	予定なし		
R 2度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	検討中	指導者研修会を参考に薬局薬剤師、病院薬剤師問わず声掛けを行い実施（50名程度） 添付資料参照	令和3年度
	受講者課題	予定なし		

# 青森

会員各位

令和元年 11 月 8 日

一般社団法人青森県薬剤師会  
会長 木村 隆次

## 『病態と患者特性に基づく薬学的管理・指導』についての研修会のお知らせ

啓蒙 会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
本研修会は、※薬剤師のかかりつけ機能強化事業の一環で、今回は高血圧患者を例にとり、薬学的視点による疾病管理と患者アプローチをテーマに開催します。是非多数の会員の皆様にご参加いただき、日常業務にお役立っていただければと思います。参加ご希望の方は、参加申込書へご記入の上、11月22日（金）までに、FAXにてお申し込み下さい。  
なお本研修会は、次年度以降も継続的に開催予定ですので、今後ともよろしくお願ひ致します。

敬具

日 時 令和元年 12 月 7 日（土） 15：30～17：30  
場 所 青森県立保健大学 中講義室  
対象者 青森県薬剤師会会員  
参加費 3,000 円

演 題：薬学的視点による患者対応・処方提案ができる薬剤師を作るには  
～高血圧編～  
講 師：青森県薬剤師会 事務理事 坂井 義人

◎この研修は日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度 1 単位を申請予定です。

※「薬剤師のかかりつけ機能強化事業」は、薬剤師のかかりつけ機能の強化及び専門性の向上に資する知識・技能の習得・能力の維持・向上を目的とし、薬剤師生涯教育推進事業として日本薬剤師会にて計画されています。

令和元年 12 月 7 日（土）「高血圧」の病態と患者特性に基づく薬学的管理・指導についての研修会  
参加申込書

施設名： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 支部・地域薬剤師会)

氏名： \_\_\_\_\_ 薬剤師免許番号 \_\_\_\_\_

ご連絡先電話番号： \_\_\_\_\_

参加人数が多数で用紙が不足する場合は、コピーしてご使用下さい。

**宛先：青森県薬剤師会 FAX 017-743-4452**

# 岩手

都道府県薬名		岩手県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29年度	研修テーマ	実施済み	次世代薬剤師指導者研修会として地域薬剤師会から選出（約100名）	平成30年度
	受講者課題	実施済み	次世代薬剤師指導者研修会として地域薬剤師会から選出（約100名）	平成30年度
H 30年度	受講者課題	検討中	病院薬剤師会との合同研修会を開催計画中	
	研修テーマ	実施済み	岩手薬学大会にて講演済（約200名）	令和元年度
	受講者課題	検討中	病院薬剤師会との合同研修会を開催計画中	
	受講者課題	予定なし		
R 元年度	研修テーマ	実施済み	緊急避妊薬における調剤に関する研修会開催（約100名）	令和2年度
	受講者課題	予定なし		
R 2年度	研修テーマ	検討中	病院薬剤師会との合同研修会を開催計画中	
	受講者課題	予定なし		
	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	検討中	病院薬剤師会との合同研修会を開催計画中	

宮城

年度	都道府県薬名	宮城県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の薬剤師によるトリアージ、服薬支援について講義形式で実施。</li> <li>対象者・人数：県内全域の薬剤師約173名</li> </ul>	実施済み		R元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病状や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬症例を使用し、グループワーク・ロールプレイ・講義形式で実施。</li> <li>対象者・人数：県内全域の薬剤師95名（対応シラバス：II-5、6、7、III-1、3）</li> </ul>	実施済み		H30年度 R元年度
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者研修会の内容を基に、講義・演習形式で実施。</li> <li>対象者・人数：県内全域の薬剤師約173名（対応シラバス：II-11）</li> </ul>	実施済み		R元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者研修会と同様のテーマで、講義・演習形式で実施。</li> <li>対象者・人数：県内全域の薬剤師約173名（対応シラバス：II-6、7、16、III-1）</li> </ul>	実施済み		R元年度
R元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	検討中			
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬薬連携の推進を目指す）</li> <li>・成育医療と薬剤師</li> </ul>	検討中			
R2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修シラバスの内容を基に、一般用医薬品の概要および禁煙補助剤を用いた禁煙指導に関して講義・ロールプレイ形式で実施。</li> <li>対象者・人数：県内全域の薬剤師236名（対応シラバス：II-13）</li> </ul>	実施済み		H30年度 R元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	検討中			

秋田

年度	都道府県薬名	秋田県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	自治体との災害協定締結、BCPの作成	H28、H29年度
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	実施済み	医師会との意見交換会、合同研修会(SGD)	継続中
H30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	検討中		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>	検討中		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>性と避妊</li> <li>患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	実施済み	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会	R2年度
R元年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	検討中	市町村が実施する糖尿病重症化予防事業に関与する（予定）	
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>成育医療と薬剤師</li> </ul>	実施済み	入院時の残薬整理に薬局が関与（一部地域）継続	H30
R2年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	検討中		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> </ul>	検討中	情報提供の方法	
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	検討中		

## 秋田

### 生涯教育の評価について

～薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード及びシラバスの観点から～

2020.1.16 秋田県薬剤師会  
学術委員会 委員長 安保 和彦

#### 【1. ヒューマニズム（倫理）】

1. 生命の尊厳を認識するために、医療人としての倫理観と責任感を身に付ける
2. 患者中心の医療を実現するために、チーム医療の一員としての基本的な知識・技能・態度を修得する
3. 患者および家族の心情を理解するために、薬剤師が担う行為の重要性を認識する
4. 患者が自分の疾患に正面から向き合い、治療に積極的に取り組みようサポートするための知識・技能・態度を身に付ける

#### 【2. 医薬品の適正使用（安全性、経済性）】

1. 患者の利益を大限に守るため、医薬品情報収集の手段を整備し信頼性の高い情報の収集・加工・活用の方法を身に付ける
2. 患者の利益を大限に守るため、医薬品適正使用に必要な学問的知識・技能・態度を身につける
3. 患者の利益を大限を守るために、重篤な副作用や相互作用について理解する

#### 【3. 地域住民の健康増進（薬物乱用防止、セルフメディケーション）】

1. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、疾病とその予防に対する基本的な知識・技能・態度を身に付ける
2. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師としての地域保健活動を身につける
3. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師として地域福祉に貢献するための知識・技能・態度を身に付ける
4. 災害緊急時に対応するために、薬剤師として必要な知識・技能・態度を身に付ける

#### 【4. リスクマネジメント】

1. 国民に安心・安全な医療を提供するために、必要な医療安全対策の方法を身につける
2. 医療の安全性を高めるために、医療事故防止の対策を修得する
3. 国民に安心・安全な医療を提供するために、医療過誤（事故）発生時における、適切な対処方法を身につける
4. 医療の安全性をより高めるために、リスク管理を行う習慣を身につける

## 秋田

### 【5. 法律制度の遵守】

1. 薬剤師の社会的責務を果たすために、薬剤師を取り巻く法律・制度を理解する

### 各支部で開催されたJPALSコード取得の研修会（過去3年間）の解析と課題 （生涯教育・共催込み）

支部	鹿角	大角	大館	能代	秋田	大曲	横手	本荘	湯沢
生涯・共催	70	128	64	65	45	99	44		
内生涯	37	16	4	42	58	39	0	6	

鹿角：鹿角支部 大館：大館北秋田支部 能代：能代山本支部 秋田：秋田中央支部

大曲：大曲仙北支部 横手：横手支部 本荘：本荘由利支部 湯沢：湯沢雄勝支部

生涯・共催：生涯教育・共催など支部が主催者の研修

内生涯：生涯教育（横手支部：臨床研修会）

### 各支部のPS

共催すべての勉強会

PS	鹿角	大館	能代	秋田	大曲	横手	本荘	湯沢
1	2	7	2	15	10	2	2	3
2	59	111	50	36	43	37	87	35
3	2	4	3	3	0	0	2	0
4	1	0	3	0	0	0	0	0
5	6	6	6	11	7	6	8	6
合計	70	128	64	65	60	45	99	44

地域で開催されている勉強会のPSの割合

研修会回数：575

PS1.43

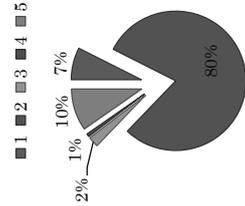
PS2.458

PS3.14

PS4.4

PS5.56

### PSの割合



## 秋田

### 【1. ヒューマンリズム (倫理)】

1. 生命の尊厳を認識するために、医療人としての倫理観と責任感を身に付ける
- 【3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション)】
1. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、疾病とその予防に対する基本的な知識・技能・態度を身につける
2. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師としての地域保健活動を身につける
3. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師として地域福祉に貢献するための知識・技能・態度を身につける
4. 災害緊急時に対応するために、薬剤師として必要な知識・技能・態度を身につける

### 【4. リスクマネジメント】

1. 国民に安心・安全な医療を提供するために、必要な医療安全対策の方法を身につける
2. 医療の安全性を高めるために、医療事故防止の対策を修得する
3. 国民に安心・安全な医療を提供するために、医療過誤 (事故) 発生時における、適切な対処方法を身につける
4. 医療の安全性をより高めるために、リスク管理を行う習慣を身につける

### 【5. 法律制度の遵守】

- 薬剤師の社会的責務を果たすために、薬剤師を取り巻く法律・制度を理解する。
1. 足りない部分の研修をどうしようか考える。
  2. JPALS の PS 紹介をどのように行うか (PS のつけ方の研修会など)
  3. 学校薬剤師や病院薬剤師では、通常に行われている研修もあるが、一般薬剤師に知っておくことの必要性を理解してもらえないか？ (JPALS で必要など話すところなる感じあり)
  4. JPALS を取っていないから、私は知らないという考えにならないか？ (JPALS で必要など話すところなる感じあり)
  5. 「3. 地域住民の健康増進のセルフメディケーション」は、サポートの研修会Bに相当するので今後は、県学術でやるべき？
  6. 【5. 法律制度の遵守】は薬機法の改正もあったので、薬剤師を取り巻く法律・制度をできるだけ早めに各支部で行ってほしい… (1.の倫理 研究倫理なども含む)
  7. 支部会員のニーズ Dr. の考えていることを知りたいという方が多いのでどうしても2に集中してしまうのでないだろうか？ ニーズに変化与えられるか？  
以上のこと踏まえながら

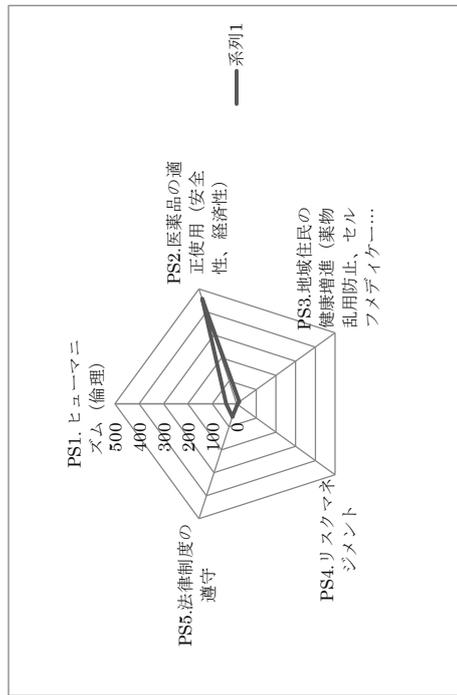
## 秋田

### 秋田県学術委員会で研修会検討についての今後の動向

1. 各地域薬剤師会と意見交換  
今回の資料を元に不足部分を実感してもらおう  
不足分を補う各地域の学術委員の考えを確認  
薬剤師業務に必要な勉強会を提案してもらおう  
すべて学術でなく各委員会できるとできるとか検討
2. 勉強会の区分分けを作成
3. 県薬の担当委員会に研修依頼
4. 県薬の担当委員会から支部の委員会に提案
5. 同時に年間研修スケジュール作成

また、今回の研修を生かせる JPALS の利用の啓蒙活動の実施

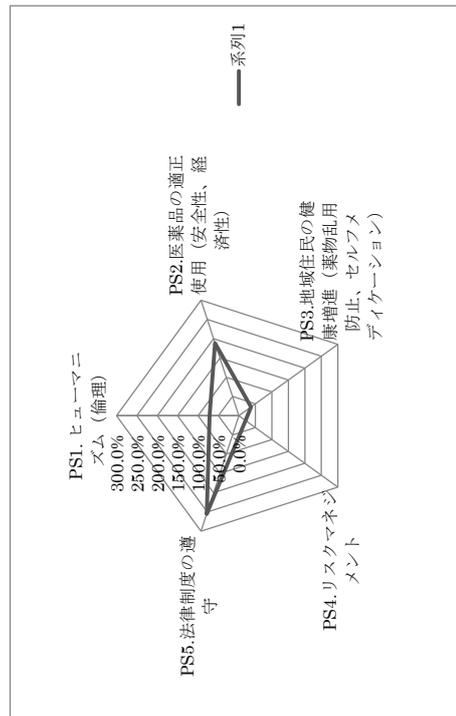
現在の秋田県薬剤師会の研修 (回数)



この回数を領域毎の到達目標を1回とカウントした時の割合

# 秋田

研修会回数：575 回	575 の内訳	PS の到達目標数	到達目標と研修会の割合 (%)
PS1. ヒューマニズム (倫理)	43	60	71.7%
PS2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性)	458	243	188.5%
PS3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション)	14	38	36.8%
PS4. リスクマネジメント	4	20	20.0%
PS5. 法律制度の遵守	56	22	254.5%



偏りがわかると思っています。

# 山形

年度	都道府県薬名	山形県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み 実施済み	山形県主催の災害コーディネート会議及び研修会への参加 下記受講者課題欄に記す	平成30年度	
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	次世代薬剤師指導者研修会参加者2名が中心となりワーキンググループを結成し次世代薬剤師育成研修会「ポリファーマシーを考える」を実施。参加者47名	平成30年度	
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	予定なし 予定なし	山形県病院薬剤師会感染制御部との研修会に参加	平成30年度～	
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す） ・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	山形県薬剤師会生涯学習研修委員会での「山形県薬剤師会CKDシール貼付における疑義照会・事例収集」について山形県薬剤師会倫理委員会に提出	令和元年度	
R元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフレイケーションと薬剤師</li> </ul>	検討中 実施済み	経口避妊薬の取り扱いについての研修会を計画 山形県委託事業の一環で4医療圏ごとに山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会・地区薬剤師会の共催で糖尿病についての研修会を実施	平成30年度	
	受講者課題	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す） ・成育医療と薬剤師 ・セルフレイケーションと薬剤師	実施済み	山形県委託事業の一環で4医療圏ごとに各地区薬剤師会・各地区医師会・基幹病院が連携会議を実施	令和元年度	
R2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	予定なし 予定なし 検討中	下記受講者課題欄に記す		
	受講者課題	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中	薬業連携の実践に向けたワーキンググループの作成	令和2年度～	

福島

都道府県薬名	福島県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
年度				東日本大震災と原発事故からの復興支援 <各種復興支援> 原発避難地域の薬局再開に関する協議会への参画及び薬局の開設 <災害対策の推進> 福島県薬剤師会における災害時の組織体制の整備 災害時優先携帯電話及び衛星携帯電話の配備と維持管理 災害派遣薬剤師及び災害ボランティアの再構築 「放射線ファーマシスト」の育成・活動の推進 モバイルファーマシー（災害時対応医薬品供給車両）の配置に向けた要望活動 福島県が主催する各種訓練に医療班「薬剤師」として参加 （「福島県総合防災訓練」「福島県原子力防災訓練」等へ）	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度
H29度	研修テーマ	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	在宅医療参画薬局の育成及び地域包括ケアシステムの構築 ・薬局が地域包括ケアシステムにおいて役割を果たしていくために必要な知識を修得するための支援 ・薬剤師の専門性や薬局の機能の充実 在宅医療導入研修会の開催 無菌調剤に関する研修会の開催（実技・実地） 認知症対応力向上研修会 在宅医療エキスパート薬剤師人材育成セミナーへのファシリテーター派遣 多職種連携による薬局・薬剤師の在宅医療サービス推進事業 おためし訪問事業、同行訪問事業、残薬整理事業 おためし訪問事業に関する視察（長野県） 自立支援型地域ケア会議に関する研修会 他県の自立支援型地域ケア会議の視察（大分県） 自立支援型地域ケア会議への薬剤師の派遣 H29→37回、H30→153回、R1⇒261回、R2⇒182回	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	検討中		平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

茨城

都道府県薬名		茨城県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題		取組の有無・予定		取組（予定含む）の具体的内容		左記の実施年度	
年度	研修テーマ	受講者課題	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容
H29年度	研修テーマ		・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	災害時に薬剤師によるボランティア活動が円滑に実施出来るよう、災害支援薬剤師養成研修会を実施した。（研修会A49名、B56名受講。A・Bの両方を受講で災害支援薬剤師の登録となる。）	実施済み	災害時に薬剤師によるボランティア活動が円滑に実施出来るよう、災害支援薬剤師養成研修会を実施した。（研修会A49名、B56名受講。A・Bの両方を受講で災害支援薬剤師の登録となる。）	R元年度			
	受講者課題		・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	H30年度			
H30年度	研修テーマ		・AMR（薬剤耐性）対策	予定あり	日本薬剤師会の実施する「AMR対策に関する抗菌薬使用量調査の地域における検討」への協力	予定あり	日本薬剤師会の実施する「AMR対策に関する抗菌薬使用量調査の地域における検討」への協力	R2～3年度			
	受講者課題		・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	予定なし	薬剤師の臨床研究を支援するため、研究計画書作成等に関する研修会として「臨床研究入門講座」を実施した。	予定なし	薬剤師の臨床研究を支援するため、研究計画書作成等に関する研修会として「臨床研究入門講座」を実施した。	H30～R2年度			
	受講者課題		・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	同上			
R元年度	研修テーマ		・性と避妊	実施済み	・性と避妊	実施済み	・性と避妊	R2, R3年度			
	受講者課題		・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定なし	・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定なし	・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）				
R2年度	受講者課題		外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	検討中	R2度欄に記載	検討中	R2度欄に記載				
	研修テーマ		・セルフメディケーションと薬剤師	予定なし	薬剤師による臨床判断の研修会を例年実施しており、今後も継続予定。	検討中	薬剤師による臨床判断の研修会を例年実施しており、今後も継続予定。				
	受講者課題		・医療機関と薬局の連携について	検討中	事後課題として提出した「茨城県薬剤師会の薬業連携推進のための研修会等取組計画（案）」に従って検討中。（具体的には下記）	検討中	事後課題として提出した「茨城県薬剤師会の薬業連携推進のための研修会等取組計画（案）」に従って検討中。（具体的には下記）	R3年度			
	受講者課題		受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中	「入院医療から外来医療、外来医療から入院医療へと移行する場面で、切れ目のない薬物療法を推進するため、茨城県病院薬剤師会と連携し、地域における薬業連携の充実を支援する」ことをR3年度事業計画としている。	検討中	「入院医療から外来医療、外来医療から入院医療へと移行する場面で、切れ目のない薬物療法を推進するため、茨城県病院薬剤師会と連携し、地域における薬業連携の充実を支援する」ことをR3年度事業計画としている。	同上			

# 茨城

(参考)

## 地域における医薬品適正使用に係る薬業連携研修会 (スタッフ資料)

### (1) 研修のねらい

地域における医薬品適正使用を推進するとともに、地域包括ケアシステムの実現を見据えた、病院薬剤師・薬局薬剤師の「顔の見える関係」を構築する。また、地域の病院薬剤師と薬局薬剤師が協力し、ポリファーマシー対策等を実施するための知識等を身につけ、各地域で実践していく。

### (2) 主催 茨城県薬剤師会・茨城県病院薬剤師会

### (3) 参加対象 薬局薬剤師・病院薬剤師

参加する薬剤師には、当該地域において、薬業連携の中心的な役割を担ってもらうため、薬局薬剤師は地域薬剤師会からの推薦により、また、病院薬剤師は病院薬剤師会からの推薦により選出することとし、原則 40 歳代までの者とする。

### (4) プログラム

日時：平成 30 年 9 月 9 日 (日) 9 時 30 分～17 時

場所：茨城県薬剤師会館

内容：座学とグループワーク

スタッフ：県薬：根本ひろ美、久米昭彦 (司会)、坂本岳志 (受付)、沼倉貴史 (マイク・資料)  
 吉田幸雄、荒井順子、菊地勝、島正、野口洋子 (弁当)、廣澤明子 (弁当)  
 県病薬：青山芳文、黒澤豊彦 (受付)、鈴木清明 (受付)、鈴木弘道 (マイク・資料)  
 田原敏和、花香淳一 (受付)、鈴木裕美 (弁当)、小松本太志  
 事務局：種村 (PC)、大貫 (講師対応)、薬務課大井

日程：

8：10～ スタッフ集合 (自己紹介、日程確認)

9：00～ 受付開始

9：30 (10 分) 開会あいさつと本事業の趣旨説明

9：40 (60 分) 「地域における医薬品適正使用において薬剤師に期待すること」  
 茨城県薬剤師会 常務理事 根本ひろ美先生  
 茨城県医師会 常任理事 塚田篤郎先生

10：40 (休憩 10 分)

10：50 (70 分) 「薬業連携の取り組み」

ひたちなか総合病院 関利一先生  
 友愛薬局ひたちなか店 名越 ソヅイリヤック ヴァンティ先生

12：00 (60 分) (グループに分かれて昼食)

・弁当配布  
 13：00 (150 分) グループワーク：「ポリファーマシー対策に向けて必要視点と考え方へ」

国立長寿医療研究センター薬剤部 澤神文博 先生  
 ・ファシリテーター：鈴木先生、沼倉先生  
 ・準備しておく資料資料：講師用意の資料類のみ

15：30 (休憩 10 分)

15：40 (60 分) 「各地域における薬業連携の進め方に係るディスカッション」

鈴木先生、沼倉先生  
 ・準備しておく資料資料：ディスカッションシート (A3 版 1 グループ 1 枚)

・当該地域で実践するための方策の検討と数グループから発表

・終了後、一旦事務局で回収し、後日参加者へ全グループ分提供する

16：40 閉会あいさつ  
 茨城県病院薬剤師会 会長 青山芳文先生

# 茨城

## (5) グループワークの構成 (グループは茨城県保健医療圏をベースとする)

県薬		県病薬	
水戸薬 (県薬)	吉田 幸雄 (水戸ロイヤル薬局)	岩崎 匠吾 (水戸中央病院)	7
笠間薬	吉岡 尉子 (みずすず薬局笠間店)	職志田 聡 (水戸協同病院) 鈴木雄一郎 (水戸赤十字病院) 高力 規雄 (茨城県立中央病院) (理事) 田原 敏和 (水戸中央病院)	
ひたちなか薬	小橋川 祥 (ぞれいゆ薬局) 大橋 雅人 (つっぱー薬局) 榎 ヲツリヤック ヴァンティ (篠栗町たかね店)	佐藤 和人 (ひたちなか総合病院) 中田 智雄 (栗田病院) 岡崎 仁 (常陸大宮済生会病院)	10
常陸太田薬	藤田 順一 (ひらつか薬局西町店)		
常陸大宮薬	為我井 学 (茨城調剤薬局常陸大宮店) 藤田 豊 (エヤマ薬局那珂店)		
(県薬)	荒井 順子 (よしの薬局)		
日立薬	野口 晃史 (よつば薬局) 今野 尚耶 (三和堂薬局大みか店)	土居 美幸 (日立総合病院) 中川 美鈴 (ひたち医療センター) 山形 諭 (北茨城市民病院)	8
高萩薬	稲川 聖 (広野薬局北茨城店)		
(県薬)	久米 昭彦 (日立クローバー薬局) 菊地 勝 (北茨城薬局関南店)		
鉾田薬	祐一 (さわやか薬局)	堀口 翔介 (神栖済生会病院)	9
潮来薬	高橋 克昌 (パルム薬局宮中店) 平松 祐子 (薬局与市鹿嶋宮中店)	鈴木 里華 (神栖済生会病院) 安藤 円 (神栖済生会病院) 萩原 諒一 (小山記念病院) (理事) 花香 淳一 (小山記念病院)	
(県薬)	島 正 (カムラ薬局)		
龍ヶ崎	羽生 宗利 (すず薬局とりで店) 渡辺 森太郎 (守谷調剤薬局) 関口 達則 (ももの木薬局) 千葉 開央 (アイランド薬局中久らくらぶ店) (県薬) 野口 洋子 (レインボー薬局)	伊藤 玲奈 (IA とりで総合医療センター) 中野 英明 (総合守谷第一病院)	7
牛久薬②	沼崎 優美 (薬局パンブキン) 三浦 友範 (フアークス薬局江戸崎) 鈴木 裕美 (ひらみ調剤薬局) 小松崎 裕美子 (ひがし薬局)	牛丸 伸幸 (東京医科大学茨城医療センター) 市川 智之 (土浦協同病院) 遠藤 幸司 (土浦協同病院) (理事) 鈴木 裕美 (神立病院) (理事) 小松本 太志 (龍谷大学)	9
土浦薬			
石岡薬			
つくば薬	染谷 有佳里 (リホール薬局イーアスクばら) 加藤 千恵 (日本調剤つくば調剤薬局) 馬上 雅光 (アサヒ薬局うしく店) (県薬) 坂本 岳志 (あけぼの薬局) 清水 浩一 (アイン薬局桜川店) 小林 裕 (ハニユウ薬局結城駅前店) (県薬) 廣澤 明子 (絆の里薬局)	小竹 美穂 (筑波メディカルセンター病院) 西 恵理子 (筑波学園病院) 高木 博代 (筑波記念病院)	7
筑西薬		山内 祐輔 (山王病院) 酒寄 夏希 (協和中央病院)	5
(県薬)			
常総薬	岸 健一 (つむぎ薬局) 木村 彩乃 (つむぎ薬局) 田村 美帆 (ファーマーみらい総和薬局) 堀山 徳生 (オレンジ薬局諸川店)	續橋 明 (女愛記念病院) 加藤 大祐 (古河総合病院) 渡邊 彩 (茨城西南医療センター)	7
古河薬			
地域薬 30 名 + 県薬地域医療委員 8 名		2.7 名 + 県病薬役員 4 名	69

栃木

年度	都道府県薬名	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県四師会協議会による災害時の医療救護活動に関する協定に基づく訓練（要項添付①）</li> <li>・～薬業連携・多職種連携の推進～ポリファーマシー研修会（次第添付②）</li> <li>・後期高齢者のポリファーマシー対策の手法を用いた薬局の機能強化事業（要領添付③）</li> </ul>	平成28年度から毎年 度 ・平成30年度 ・令和元年度
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第一回生涯学習研修会（次第添付④）</li> <li>・薬局薬剤師と病院薬剤師の連携推進事業（資料添付⑤）</li> </ul>	平成30年度
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第二回生涯学習研修会（次第添付⑥）</li> <li>・2019年度次世代薬剤師指導者研修会（次第添付⑦）</li> <li>・2019年度次世代薬剤師指導者研修会（次第別添⑦）</li> </ul>	平成30年度 令和元年度 令和元年度
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中		
R元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会（次第別添⑧）</li> </ul>	令和2年度
	受講者課題	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	検討中		
R2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局薬剤師と病院薬剤師の連携推進事業（資料添付⑤）</li> </ul>	令和元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	検討中		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフレビューの現状把握や課題抽出</li> </ul>	予定あり	「オーラルケア商品の継続購入者に対する薬局薬剤師の歯科受診勧奨ガイドラインの開発とWeb動画による啓発」研究	令和2年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県薬師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	検討中		

栃木

①

平成28年度四師会による災害時の医療家連携活動に関する協定に  
基づく訓練要項

- 1 日 時 : 平成29年1月28日(土) 13:30~16:40
  - 2 場 所 : 一般社団法人栃木県歯科医師会 とちぎ歯の健康センター  
宇都宮市一の沢2丁目2番5号  
TEL 028-648-0471 (代表)
  - 3 対 象 : 各会に所属する医療関係者・各会職員等 150名
  - 4 プログラム  
13:20 開会
  - 13:20~13:30 挨拶
  - 13:30~13:40 報告「四師会による災害時の医療救護活動に関する協定に  
ついて」
  - 13:40~14:10 講演① JMAT 総論  
講師: 栃木県医師会
  - 14:10~14:20 休憩
  - 14:20~  
~15:00 講演② 被災地及び避難所における医療救護活動について  
講師: 栃木県医師会
  - ~16:30 ii 多職種の役割と連携について  
シンポジスト:  
県医師会  
県歯科医師会  
県薬剤師会  
県看護協会  
栃木県医療政策課  
各1名(発表 各15分程度)
  - 16:40 閉会
  - 5 受講料 無料
- 申し込み・問い合わせ先 : 栃木県看護協会事務局

栃木

②

～薬業連携・多職種連携の推進～  
ポリファーマシー研修会次第

趣 旨 講義、症例検討などを通じてポリファーマシーの概念、地域におけるチーム医療  
に必要とされる医療薬学的知識、技能、情報共有方法などを薬局・病院薬剤師が  
一緒に学ぶことにより、薬業連携、多職種連携の推進やチーム医療の実践につな  
がる研修を行う。

主 催 一般社団法人栃木県薬剤師会、一般社団法人栃木県病院薬剤師会

日 時 平成31年3月10日(日) 10:00~16:30

場 所 獨協医科大学病院 教育医療棟6階シミュレーション講義室No.1  
下都賀郡壬生町北小林880 TEL:0282-86-1111

司会: 獨協医科大学病院 薬剤部 篠崎 桂子 氏

10:00 開会挨拶  
栃木県薬剤師会 会長 渡邊 和裕 氏  
栃木県病院薬剤師会 会長 須藤 俊明 氏

10:15 講 義 「薬剤師を取り巻く状況について」  
栃木県薬剤師会 常務理事 村井加代子 氏

10:45 講義1 「ポリファーマシー概要」  
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター  
内科医長 矢吹 拓 氏

11:30 休 憩

11:40 講義2 「ポリファーマシー対策」  
中野病院 薬局 青島 周一 氏

12:25 昼食・休憩

13:15 実 践 進行: 矢吹 拓 氏 (栃木医療センター)  
青島 周一 氏 (中野病院)

- 1. 症例検討グループワーク
- 2. 症例ロールプレイ
- 3. アクシヨンプラン作成ワーク
- 4. まとめ

16:20 参加者アンケート

16:30 閉 会

薬局薬剤師 25名  
病院薬剤師 14名

日本薬剤師研修センター認定講習会  
日病薬病院長学認定薬剤師制度認定講習会  
JPAIS 研修会コード: 09-2018-0140-101

令和元年度薬局機能強化・連携体制構築に向けた調査・検討事業  
～患者の視点に立った他職種との連携強化推進事業～

③

抜粋

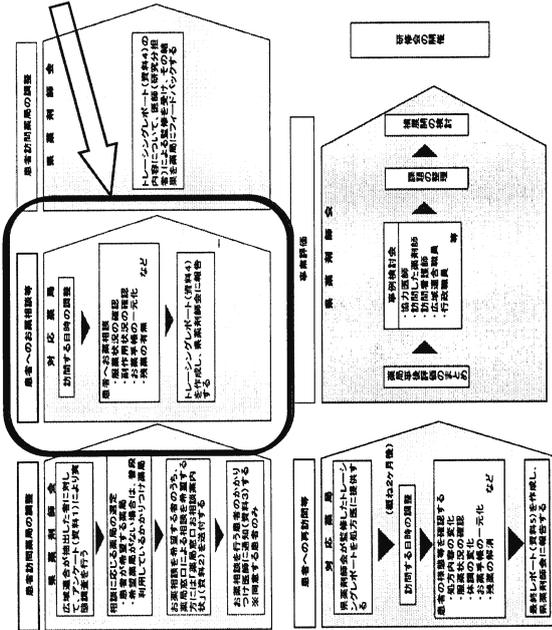
本会は、本年度栃木県および栃木県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、かかりつけ医等他職種との連携を図るため、ポリファーマシー対策の手法を用いた医師等との連携推進、専門性が高い薬学的管理が継続的に必要になるがん患者の在宅等への円滑な移行のための薬業連携強化について、これまで育成した人材を活用し、更なる薬局の機能強化や連携体制の強化を図るため、「患者の視点に立った他職種との連携強化推進事業」を実施します。

【後期高齢者のポリファーマシー対策の手法を用いた医師等との連携推進事業】

② 多剤・重複服薬者訪問事業

- ①栃木県後期高齢者医療広域連合が抽出した宇都宮市内在住の20種類以上の薬剤を1ヶ月以上継続して投与を受けている多剤・重複服薬者にアンケートを実施します。
- ②薬局薬剤師によるお薬相談を希望する方に対し、かかりつけ薬局の薬剤師が患者宅や薬局窓口でお薬相談を実施します。約2カ月後、再度患者と面談し、服薬状況の確認や体調の変化等を確認します。

※お薬相談を希望する患者のかかりつけ薬局（患者が希望する薬局）には、本会担当者より直接連絡をいたしましたので、ご協力をお願いいたします。



- ③お薬相談を実施した薬剤師には、トレーニングレポートの作成、症例検討会への参加をお願いします。
- ④参加薬局薬剤師には、本会が開催する県内薬局薬剤師等向けの研修会において、とりよめの発表をしていただきます。

④

平成30年度栃木県薬剤師会第一回生涯学習研修会次第

趣旨：地域に貢献する薬剤師の資質向上を図る生涯学習研修の一環として、広範囲な内容の研修を実施する。

主催：一般社団法人 栃木県薬剤師会

日時：平成30年7月8日（日）13:20～17:20

場所：獨協医科大学創立30周年記念開演記念ホール

下都賀郡壬生町北小林880 TEL:02822-86-1111

司会：栃木県薬剤師会 理事 加藤 誠一 氏

13:20 開会挨拶 栃木県薬剤師会 会長 大澤 光司 氏

13:30 講義 1 「最近の薬務行政について」 栃木県保健福祉部薬務課 薬事審査担当 石原晶子 氏

14:00 講義 2 「多職種連携に薬剤師さん居たっけ? ～介護支援専門員が薬剤師と共に 大沢調剤薬局片柳店 薬剤師 上野 将明 氏

15:30 講義 3 「サルコペニアの診療ガイドラインと リハビリ用栄養剤リハデイズのご紹介」 「熱中症の最近の話題について」 ケアプランとんぼ 主任介護支援専門員 大川はるみ 氏

15:50 休憩 株式会社大塚製薬工場OS-1事業部 三木 伶 氏

16:00 特別講演 「地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の在り方 ～立地依存からヒト(薬剤師)依存へ～」 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課長 中井 清人 氏

17:20 閉会

参加者125名

日本薬剤師研修センター認定研修  
JPALS 研修会コード：09-2018-0038-101

⑤

I 病院実地研修

1日目	参加日	参加者	備考
	9月3日(火)		参加者全員
	①A-1 9月4日(水)、9月10日(火)		
	②A-2 9月25日(水)、10月1日(火)		
2日目・3日目	③A-3 10月16日(水)、10月29日(火)	県内の薬局に勤務する薬剤師12名	①～④の日程のうちいずれかを選択
	④B-1 9月11日(水)、9月18日(水)		
	⑤B-2 10月2日(水)、10月9日(水)		
	⑥B-3 10月23日(水)、10月30日(水)		

II 薬局実地研修

実施日	研修内容	実施場所	参加者
9月～10月中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局業務体験</li> <li>・クリニックカンファレンス参加</li> <li>・在宅訪問(往診同行、施設薬セツト同行、グループホーム同行)</li> <li>・在宅業務体験(個宅、特養、サ高住)</li> <li>・サ高住カンファレンス参加</li> <li>・訪問指導計画書、報告書作成</li> </ul>	県内薬局3カ所	病院薬剤師3名

III 研修事業報告会開催等事業

参加日	参加者	内容
12月	病院実地研修に参加した薬局薬剤師11名 病院薬剤師、看護師	ディスカッション ・問題点の洗い出し ・課題の設定 ・対策の検討・具体化 ・発表スライド作成 発表 講評、まとめ

IV 患者症例検討事業

実施日	参加者	内容
7月～1月中	県内薬局に勤務する薬剤師5名	・退院時カンファレンスへの参加

V 薬薬連携推進研修会開催事業

実施日	研修内容	備考
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・薬局実地研修実施報告</li> <li>・患者症例検討事業実施報告</li> </ul>	

⑥

平成30年度栃木県薬剤師会第二回生涯学習研修会次第

趣旨：地域に貢献する薬剤師の資質向上を図る生涯学習研修の一環として、広範囲な内容の研修を実施する。

主催：一般社団法人栃木県薬剤師会

後援：栃木県保健福祉部薬務課

日時：平成30年11月11日(日) 13:00～17:00

場所：獨協医科大学臨床医学棟 10階 講堂

〒都賀郡壬生町北小林880 TEL:0282-86-1111

司会：栃木県薬剤師会 理事 下野江之介 氏

13:00 開会挨拶 栃木県薬剤師会 会長 渡邊 和裕 氏  
 栃木県保健福祉部薬務課長 金澤 秀行 氏

13:15 講義1 「最近の薬務行政について」 栃木県保健福祉部薬務課 薬事審査担当 課長補佐 秋田 光洋 氏

13:45 講義2 「AMR(薬剤耐性)対策を日常業務に活かそう。」 杏林大学医学部付属病院 医療安全管理部感染対策室 科長補佐 西 圭史 氏

15:15 休憩

15:30 講義3 「医薬品構造式からの処方提案」 東京理科大学薬学部 薬学科 教授 高橋 秀依 氏

17:00 閉会

参加者 94名

日本薬剤師研修センター認定研修  
 JPALS 研修会コード：09-2018-0091-101

2019年度栃木県薬剤師会次世代薬剤師指導者研修会次第

～薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化～  
 目的 薬剤師のかかりつけ機能の強化及び専門性の向上に資する知識・技能の習得、能力の維持・向上を目的とする。  
 主催 一般社団法人栃木県薬剤師会  
 日時 令和元年8月25日(日) 10:00～16:10  
 場所 獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室No.1  
 下都賀郡壬生町北小林880 TEL:0282-86-1111

司会：栃木県薬剤師会 常務理事 村井加代子 氏

10:00 開会挨拶 栃木県薬剤師会 会長 渡邊 和裕 氏

10:10 [ワークショップ]  
 「適正な薬物治療の実践(処方最適化・再設計含む)と患者対応」  
 ～服薬指導から薬学的視点による患者対応/処方提案へ～  
 北海道科学大学薬学部 教授 早川 達 氏

— 昼食休憩含む —

15:00 [講義1] 学会発表のすすめ  
 栃木県薬剤師会 理事 加藤 誠一 氏

15:20 [講義2] 臨床疫学研究の進め方  
 ～薬局薬剤師業務のエビデンス化に向けて～  
 栃木県薬剤師会 副会長 鹿村 恵明 氏

16:00 参加者アンケート  
 薬剤師 46名  
 病院薬剤師 9名

16:10 閉会

日本薬剤師研修センター認定講習会  
 JPAIS 研修会コード:09-2019-0048-101

オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会次第

日時 令和2年9月27日(日) 13:00～16:50  
 開催方法 オンライン会議システム「ZOOM」によるWEB研修

司会 栃木県薬剤師会 理事 後藤 弘子 氏

1. 開会挨拶 (13:00～13:05) 栃木県薬剤師会 会長 渡邊 和裕 氏

2. オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点 (13:05～15:05)

- (1) 緊急避妊全般
- (2) 月経・月経異常・ホルモン調節機序  
 栃木県産婦人科医会 会長  
 マイクリニックたなか 院長 田中 光臣 氏
- (3) O C (Oral Contraceptives: 低用量ピル) 全般・避妊  
 栃木県産婦人科医会 女性保険委員長  
 芳賀赤十字病院 副院長 渡辺 尚 氏

— 休憩 — (15:05～15:20)

3. オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬の調剤について (15:20～15:40)  
 栃木県薬剤師会 常務理事 村井加代子 氏

4. オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について (15:40～16:50)  
 (1) 薬局での対応について  
 (2) 患者対応等について  
 栃木県薬剤師会 常務理事 村井加代子 氏

5. 閉会 (16:50)

参加者 20名

群馬

都道府県薬名		群馬県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	予定なし	薬業連携生涯学習研修事業「ポリファーマシー対策に向けて～必要な視点と考え方～」 薬局薬剤師・病院薬剤師 合計52名	H30年度
	受講者課題	実施済み		
H30年度	受講者課題	実施済み	同上	同上
	研修テーマ	予定なし	薬業連携生涯学習研修事業「病態と患者特性に基づく薬学的管理・指導」 薬局薬剤師・病院薬剤師 合計45名	R元年度
	受講者課題	実施済み		
R元年度	研修テーマ	検討中	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会	R2年度
	受講者課題	検討中		
R2年度	研修テーマ	検討中	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	
	受講者課題	予定あり		

埼玉

都道府県薬名	埼玉県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
年度	埼玉県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題		登録支援薬剤師研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師 平成30年度 年1回 参加人数：21名 ・災害医療に関する基礎的な知識 ・災害時における医薬品流通について ・避難所運営ゲーム 令和元年度 年2回 参加人数：34名 ・埼玉県における災害時の薬剤師の活動及び養成計画について ・災害医療に関する基礎的な知識 ・被災地での活動事例 ・グループワーク 災害医療で薬剤師が役立つことを考えよう 薬剤師災害リーダー研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師 令和元年度 年1回 参加人数：44名 ・埼玉県災害時医療救護基本計画（素案）に基づく医薬品等の供給体制における薬剤師の役割について ・災害医療と薬剤師 ～知識及び実践～ ・グループワーク 令和2年度 年1回 参加人数：204名 ・埼玉県災害時医療救護基本計画について ～災害本部等で活動できる薬剤師災害リーダーの養成～ ・日本災害医学会 災害薬事研修コース(PhDLs)について ・災害時における感染症対策 ～特に避難所における感染対策について～ ・県外近隣薬剤師会の研修会状況・昨年の県内台風被害について	平成30年度 令和元年度 令和2年度
H29度	研修テーマ	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	医療機関から提供される検査値の薬局における活用のための研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師 平成30年度 年3回 参加人数：529名 ・医療機関から提供される検査値の薬局における活用について ・検査値の表示された処方箋を受けて ・検査値記載の院外処方箋を発行して 検査値活用方法研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師 令和元年度 年2回 参加人数：210名 ・埼玉県立循環器・呼吸器病センター発行の院外処方箋への臨床検査値記載について ・臨床検査値を活用したアセスメントについて ・薬剤師による検査データの活用	平成30年度 令和元年度

埼玉

			<p>・臨床データ公開！ ～保険薬局での活用術～</p> <p>ポリアーマーシューナー対策推進事業 埼玉県の委託事業としてモデル地区で実施 対象：平成30年度 一般社団法人 朝霞地区薬剤師会 令和元年度 一般社団法人 朝霞地区薬剤師会 富士見・三芳薬剤師会</p>		
			<p>地域包括ケアシステムに関わる多職種による症例検討会 対象：薬局薬剤師 平成30年度 参加人数：46名 ・地域ケア会議における薬剤師の関わり方、模擬地域ケア会議 薬剤師と他職種による在宅患者同行訪問事業 対象：薬局薬剤師 平成30年度 参加人数：27名</p>		平成30年度 令和元年度
	受講者課題	<p>実施済み</p> <p>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる 研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</p>	<p>「地域包括ケアシステムにおける薬剤師とケアマネの連携について学ぶ」 研修会 対象：薬局薬剤師・ケアマネージャー 令和元年度 参加人数：129名 ・地域包括ケアシステムにおける薬剤師との連携 ・薬剤師の役割について ・グループワーク 多職種連携合同研修会 対象：薬局薬剤師・ケアマネージャー・訪問看護師 令和2年度 年1回 参加人数：97名</p>		
	研修テーマ	<p>・AMR（薬剤耐性）対策</p> <p>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を 目指す）</p>	<p>次世代薬剤師指導者研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師 令和元年度 年1回 参加人数：60名 ・感染症対策の基本と感染症治療の流れ ・ケーススタディから理解を求める抗菌薬の使い方</p>	実施済み	令和元年度
	受講者課題			検討中	
				検討中	
				検討中	

埼玉

R元度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> </ul>	実施済み	<p>オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会          対象：薬局薬剤師          令和2年度 年1回 参加人数：577名          ・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について          ・オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点          ・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について</p>	令和2年度
R2度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> <li>・外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	実施済み	<p>抗がん剤研修（集中講義） 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師          平成30年度 年1回 参加人数：322名          令和元年度 年2回 参加人数：597名          注射薬・抗がん薬（無菌調整）実技研修会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師          令和元年度 年1回 参加人数：40名</p>	平成30年度 令和元年度
R2度	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	検討中	<p>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例について          入院時情報提供書を用いて病院薬剤師と地域薬剤師が患者情報を共有する</p>	令和元年度 令和3年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	実施済み	<p>小児の在宅医療をテーマにした講習会          セルフメディケーションに関する講習会 対象：薬局薬剤師・病院薬剤師          平成30年度 年1回 参加人数：135名          ・栄養面からベンゾジアゼピン系薬を減らす          ～血液検査結果の栄養学的活用法～          ・一般用医薬品の取り扱いについて          令和元年度 年1回 参加人数：98名          ・漢方を軸としたセルフメディケーションについて          セルフメディケーション・アンチドーピング研修会          対象：薬局薬剤師・病院薬剤師          令和2年度 年1回 参加人数：138名          ・コロナ禍におけるセルフメディケーション          ・薬局3.0 アスリートを薬局からサポート</p>	平成30年度 令和元年度 令和2年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	予定あり	<p>「入院⇄退院」時に切れ目なく患者が安心して適切な薬物療法を受けることができるように、地域医療推進委員会に作業部会を設置し、緩和医療ステップアップガイドブックを作成する予定。</p> <p>・多職種（薬局薬剤師、病院薬剤師）合同の研修会を開催し、顔の見える関係の構築と、入院時における情報共有することを検討する。</p>	令和3年度

# 千葉

年度	都道府県薬名	千葉県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・ 病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	実施済み	千葉県災害対策委員会による千葉県災害時支援薬剤師研修会の開催	H.28～R.1
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	検討中	千葉県薬剤師会との協働による研修会	H.28
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	実施済み	千葉県薬剤師会との協働による研修会	H.29
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	実施済み	千葉県薬剤師会との協働による研修会	H.29
R元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	実施済み	千葉県薬剤師会との協働による研修会	R.2
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	検討中	千葉県薬剤師会との協働による研修会	R.2
R2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	検討中	千葉県薬剤師会との協働による研修会	R.2及びR.3
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>・ エビデンスの作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県薬剤師会</li> </ul>	実施済み	千葉県薬剤師会との協働による研修会	R.2及びR.3

# 東京

都道府県薬名		東京都薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	災害時薬事活動リーダー研修にて地区の災害薬事コーディネーターの育成研修を実施（平成30年度／第1回参加者34名（地区薬剤師会14名、東京都病院薬剤師会10名、東京医薬品卸協会10名）、第2回参加者39名（地区薬剤師会17名、東京都病院薬剤師会10名、東京医薬品卸協会12名））	毎年（平成30年度も）
	研修テーマ ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	かかりつけ薬剤師研修会にて、在宅医療におけるポリファーマシー対策について講演を実施（都内薬剤師対象、参加者939名） 在宅医療多職種連携研修会にて外来患者のポリファーマシー対策及び介護支援専門員とのポリファーマシーにおける連携について講演を実施（参加者351名）	平成30年11月 令和2年2月
	受講者課題 薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	薬業連携推進研修会及び在宅療養多職種連携研修会にて病院薬剤師、多職種との連携を充実する内容で研修会を実施	
H30年度	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策	予定なし		
	受講者課題 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（E・B・M等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	予定なし		
R元年度	研修テーマ ・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	緊急避妊薬の処方上の留意点及び調剤に関する研修会の実施（参加者731名）	令和2年7月
	受講者課題 外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	予定あり	地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の機能強化事業において、薬業連携推進協議会を開催し、地域でのトレーニングレポートを活用した連携事業を実施予定	令和3年4月～
R2年度	研修テーマ ・成育医療と薬剤師 ・セルフケア/ディケイションと薬剤師	予定なし		
	受講者課題 ・医療機関と薬局の連携について	実施済み	薬業連携シンポジウム研修会（がん領域/地域連携）の実施（参加者92名（薬局薬剤師72名、病院薬剤師20名）） 薬業連携推進研修会（がん領域/副作用マネジメント）の実施（参加者152名（薬局薬剤師117名、病院薬剤師35名））	
	受講者課題 受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	予定あり	地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の機能強化事業において、薬業連携推進協議会を開催し、地域でのトレーニングレポートを活用した連携事業を実施予定	令和3年4月～

# 神奈川

都道府県薬名	神奈川県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	予定なし	薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー 講演1：病院薬剤師と薬局薬剤師の連携に期待すること 講演2-1：平塚中郡薬剤師会方式による Adverse Event報告の薬薬連携システム	H30年度
		・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリアーマシナー対策）	予定あり	講演2-2：副作用を含む有害事象報告の薬薬連携～病院薬剤師の役割～ 講演3-1：検査値記載の処方箋から考える 薬剤師の地域連携の在り方について 講演3-2：検査値記載の処方箋から考える 「医療薬局薬剤師」と「病院薬剤師」の連携の在り方について	
H30年度	受講者課題	薬薬連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定あり	褥瘡治療薬サミットinかながわ2021 「褥瘡は外用薬の特性を活かすことが重要!!～そのために必要な病態把握と薬剤選択～古田メソッド」 症例検討 受講者：48名	R2年度
		・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	予定なし 検討中 予定なし		
R元年度	研修テーマ	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	予定なし		R2年度
		・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定なし	第2回薬局薬剤師研修会 薬剤師が知っておきたいがん治療の知識～進行大腸がん治療を中心に～ SGD 抗がん剤レジメン情報（進行大腸がんに対するSOX+アバスタチン療法）から副作 用等がん薬物治療中の在宅における注意点を考える 受講者：40名	
R2年度	受講者課題	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬薬連携の推進を目指す）	予定なし		令和3年4月予定
		・セルフメディケーションと薬剤師	予定あり	セルフメディケーション研修会～総論編～ 「基礎から学ぶサプリメントと実務に必要な知識（仮）」 SGD「明日から実践できる効果的なPOPとチラシの作り方（仮）」 定員100名	
R2年度	受講者課題	・医療機関と薬局の連携について	検討中		
		受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中	R3年度薬薬連携（神奈川県病院薬剤師会との共催） 「薬薬連携推進のための合同セミナー」（かながわ薬剤師学術大会） 「褥瘡治療薬サミット」 「ブレアボイド合同研修会」	

新潟

都道府県薬名		新潟県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題		取組の有無・予定		取組（予定含む）の具体的内容		左記の実施年度	
年度											
H 29度	研修テーマ	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院内や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院薬剤師と薬局薬剤師を対象としたポリファーマシー対策研修会の開催。</li> <li>・ ポリファーマシー対策に関する情報共有体制の整備（「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」（ひな形）の作成）</li> <li>・ 「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」の活用による事例検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院薬剤師と薬局薬剤師を対象としたポリファーマシー対策研修会の開催が予定されていた。また、災害対策に関する研修を例年開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院薬剤師と薬局薬剤師を対象としたポリファーマシー対策研修会の開催。</li> <li>・ ポリファーマシー対策に関する情報共有体制の整備（「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」（ひな形）の作成）</li> <li>・ 「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」の活用による事例検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院薬剤師と薬局薬剤師を対象としたポリファーマシー対策研修会の開催が予定されていた。また、災害対策に関する研修を例年開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院薬剤師と薬局薬剤師を対象としたポリファーマシー対策研修会の開催。</li> <li>・ ポリファーマシー対策に関する情報共有体制の整備（「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」（ひな形）の作成）</li> <li>・ 「薬剤管理サマリー」及び「トレーシングレポート」の活用による事例検証</li> </ul>	H30年度～（継続）
	受講者課題	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	H30年度、R1年度
H 30度	研修テーマ	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・ エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	H27年度～（継続）
R 元度	研修テーマ	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性と避妊</li> <li>・ 患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	H30、R1、R2
	受講者課題	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	

新潟

R2年度	研修テーマ	・ 成育医療と薬剤師	予定なし	当会としての取組の実施予定はないが、成育医療に関する連絡等、会員への周知は行っている。	H30年度	
		・ セルフメディケーションと薬剤師				H30年度、薬業連携の強化のため、「薬剤管理サマリー」及び「トレーニングレポート」（ひな形）を作成した。この内容の見直しと、入院時の薬業連携に着眼した「入院時薬剤情報提供書」（ひな形）の作成に取組む。
		・ 医療機関と薬局の連携について				
	受講者課題	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	同上	同上	R3年度（予定）	

富山

都道府県薬名		富山県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題		取組の有無・予定		取組（予定含む）の具体的内容		左記の実施年度	
年度	研修テーマ	受講者課題	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度					
H 29度	研修テーマ	受講者課題	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	検討中	災害対策等委員会で、研修実施等を検討中	令和2年度					
			・病院や地域におけるチーム医療に必要なとされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	生涯教育研修会H30.2.8「検査値（血清Ct）を記載した院外処方箋の発行とその影響について」富山労災病院薬剤部 上島 聖秀先生（参加58名） 生涯教育研修会H30.7.19「高齢者のポリファーマシー」東京大学 秋下雅弘先生（参加者132名） 生涯教育研修会H30.9.13「薬局における検査情報情報の活用～」（公社）日本薬剤師会 宮崎 長一郎先生（参加者97名）	平成30年度					
H 30度	研修テーマ	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	別途記載						
			・AMR（薬剤耐性）対策	実施済み	生涯教育研修会H31.1.10「抗菌薬の適正使用について 小児科領域での考え方について」八木小児科医院 八木 信一先生（参加69名）	平成30年度					
			・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	実施済み	生涯教育研修会R2.2.13「かかりつけ薬剤師・薬局として果たすべき役割を考える！」木村薬局 木村 嘉明先生（参加45名）	令和元年度					
			・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み	薬局ビジョン推進事業説明会H30.7.12「アンケート調査に係る倫理的配慮について」富山県薬剤師会倫理審査委員会副委員長 浜野 邦彦先生（参加者78名） フレイル相談薬局要請研修R1.8.29「アンケート調査に係る倫理的配慮について」富山県薬剤師会倫理審査委員会副委員長 浜野 邦彦先生（参加者23名）	平成30年度 令和元年度					
R 元度	研修テーマ	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	同上	平成30年度 令和元年度					
			・性と避妊	実施済み	生涯教育研修会R2.7.9「女性クリニックで行う不妊治療」女性クリニックWe！ TOYAMA 若杉 聡美先生（参加者132名） R2.2.11「令和元年度オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」富山県産婦人科医会 女性クリニックWe！TOYAMA 鮫島 梓 先生、富山県済生会富山病院 田中 智子 先生（参加者43名）	令和元年度					
			・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	令和2年度認定薬局等の整備促進事業 第1回がん患者連携研修会R2.8.25(参加者192名) 第2回がん患者連携研修会R2.10.31(参加者147名) 第3回がん患者連携研修会R2.12.19(参加者129名)	令和2年度					
		受講者課題	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	別途記載						

富山

R2度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	実施済み	<p>生涯教育研修会R2.10.8「子どものうつつの多面性〜ストレス、トラウマ、発達障害を中心に〜」厚生連高岡病院小児科 窪田 博道先生（参加者157名）</p> <p>H31.2.17「薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売等に関する研修会」伝達講習会（参加者27名）</p> <p>別途記載</p> <p>令和元年度患者情報共有による連携推進事業</p> <p>生涯教育研修会R1.8.8「トレーニングレポート導入経緯と今後の活用」福井大学医学部附属病院薬剤部 古俣 孝明先生（参加者112名）</p> <p>生涯教育研修会R2.1.9「緩和ケアの実践に必要なこと」富山大学附属病院 梶浦 新也先生（参加者66名）</p> <p>令和2年度認定薬局等の整備促進事業</p> <p>生涯教育研修会R2.8.20「化学療法における薬剤管理指導〜有害事象の評価と対処法を学ぼう」富山大学附属病院薬剤部 高木 昭佳先生（参加者179名）</p>	令和2年度
	受講者課題	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</p> <p>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	実施済み		令和元年度 令和2年度

石川

都道府県薬名		石川県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29度	研修テーマ	予定あり	令和4年2月に災害薬事をテーマに講座を開催予定。 臨床検査値を活用した薬学的管理に関して、11月に「検査値の把握」（84名）、12月に「内分泌系（糖尿病）」（76名）、1月に「悪性腫瘍」（110名）の講座で実施。 ポリファーマシー対策は、令和3年7月に講座を開催予定。	令和3年度 令和2年度 令和3年度
	受講者課題	検討中		
H 30度	研修テーマ	予定あり	3月に「感染症」の講座開催予定	令和2年度
	受講者課題	実施済み	12月に「内分泌系（糖尿病）」（76名）、1月に「悪性腫瘍」（110名）の講座で実施。	
	受講者課題	実施済み	12月に「内分泌系（糖尿病）」（76名）の講座で実施。	
R 元度	研修テーマ	検討中		
	受講者課題	予定あり	2月に「女性の健康サポートにおける薬剤師のかかわり」（90名）の講座で実施。 令和3年に「生殖器」の講座で実施予定。	令和2年度 令和3年度
R 2度	研修テーマ	実施済み	12月に「糖尿病」（76名）、1月に「悪性腫瘍」（110名）で実施。	令和2年度 令和3年度
	受講者課題	検討中		

# 福井

年度	都道府県薬名	福井県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携研修会を全4回実施。作業療法士・訪問看護師・社会福祉士・管理栄養士・理学療法士・言語聴覚士・歯科医師・薬剤師を講師として各役割について講義。</li> <li>・福井県委託事業「患者のための薬局ビジョン推進事業」（平成30年度：敦賀地区編、令和元年度：武生地区編）</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業：ふくい「がんレジメンカード」等々でつなぐ医療連携、退院時「薬剤管理サマリー」等々でつなぐ医療連携を実施。</li> <li>・ケアマネージャーとの意見交換会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度</li> <li>R元年度</li> <li>R2年度</li> <li>R2年度</li> </ul>
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修の実施を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携研修会を全4回実施。作業療法士・訪問看護師・社会福祉士・管理栄養士・理学療法士・言語聴覚士・歯科医師・薬剤師を講師として各役割について講義。</li> <li>・福井県委託事業「患者のための薬局ビジョン推進事業」（平成30年度：敦賀地区編、令和元年度：武生地区編）</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業：ふくい「がんレジメンカード」等々でつなぐ医療連携、退院時「薬剤管理サマリー」等々でつなぐ医療連携を実施。</li> <li>・ケアマネージャーとの意見交換会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30年度</li> <li>R元年度</li> <li>R2年度</li> <li>R2年度</li> </ul>
H30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>		
R元年度	研修テーマ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催。</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業①を開催。「がん化学療法の実際一治療環境と副作用の対処一」福井県立病院看護部主任看護師木谷智江先生、「がん薬物療法を俯瞰する～過去から近未来～」福井県立病院血液腫瘍内科主任 医長河合泰一先生が講演。</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業：ふくい「がんレジメンカード」等々でつなぐ医療連携を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度</li> <li>R2年度</li> </ul>
	受講者課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催。</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業①を開催。「がん化学療法の実際一治療環境と副作用の対処一」福井県立病院看護部主任看護師木谷智江先生、「がん薬物療法を俯瞰する～過去から近未来～」福井県立病院血液腫瘍内科主任 医長河合泰一先生が講演。</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業：ふくい「がんレジメンカード」等々でつなぐ医療連携を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度</li> <li>R2年度</li> </ul>
R2年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録販売者資質向上研修にあわせて薬剤師にも参加を呼びかけた。</li> <li>・令和2年度福井県認定薬局整備支援事業：ふくい「がんレジメンカード」等々でつなぐ医療連携、退院時「薬剤管理サマリー」等々でつなぐ医療連携を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度、H30年度</li> <li>R元年度、R2年度</li> <li>R2年度</li> </ul>
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者：白県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者：白県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者：白県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度</li> </ul>

# 山梨

都道府県薬名		山梨県薬剤師会			
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度	
H29年度	研修テーマ	予定なし	研修受講と関係なく、県薬事業として別に実施・企画中		
	受講者課題	実施済み	検査値に関するアンケートを薬局・病院に勤務する会員へ実施し、これを基に研修会を実施	H30年度	
H30年度	受講者課題	実施済み	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）		
	研修テーマ	実施済み	・AMR（薬剤耐性）対策	H30年度	
	受講者課題	検討中	・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） ・研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	セルフデータマネジメントスキルに関する研修会の実施 県民向けイベントにおける高血圧のアンケート調査を例に、担当委員会にて計画書の試作を行い、各地域薬剤師会での参考とした。 性感染症に関する研修会の実施（年度の受講とは関係なく）	H30年度 H30年度 R1年度
R元年度	研修テーマ	実施済み	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）		
	受講者課題	検討中	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）		
R2年度	研修テーマ	実施済み	・成育医療と薬剤師	小児薬療法に関する研修会の実施（今年度の受講とは関係なく）	R2年度
	受講者課題	実施済み	・セルフメデイケーションと薬剤師	OTC医薬品の薬剤師の果たす役割について研修会の受講とは関係なく）	R2年度
	受講者課題	検討中	・医療機関と薬局の連携について 受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出		

長野

都道府県薬名	長野県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	災害対策会議及び災害対策特別委員会の開催	H29-R2
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	検討中	第53回長野県薬剤師会学術大会（H30.2/18(日)） 特別講演「これが本当の「地域包括ケア」・職種の壁を破り顔の見える関係を築く方法 -」旭川医科大学病院 緩和ケア診療部副部長 緩和医療専門医 阿部泰之先生 参加91名。	H29
H30年度	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策	実施済み	第54回長野県薬剤師会学術大会（H31.2/17(日)） 特別講演「感染症から未来を守る～今求められる薬剤耐性（AMR）対策～」国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター情報・教育支援室長 具 芳明 先生 参加者81名。	H30
	受講者課題	・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	検討中		
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	「研究発表推進のための研修会」、サブテーマを「～これからはじめる統計学～」を開催。参加者50名	H30
R元年度	研修テーマ	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	検討中		
	受講者課題	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	R2に実施	R2
R2年度	研修テーマ	・成育医療と薬剤師 ・セルフマネジメントと薬剤師	検討中	健康サポーター薬局B等では実施	H30-R2
	受講者課題	・医療機関と薬局の連携について 受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出	検討中		
	受講者課題	都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	実施済み	「令和2年度認定薬局整備支援事業」受託し「薬業連携を中心とした多職種連携による入退院時の情報共有事業」を着手。事業より得られた課題を抽出し、今後継続した取り組みを目指すこととした。	R2

岐阜

都道府県薬名		岐阜県		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	実施済み	R1 7月 社保Gで実施した研修が該当するかと思います	
H30年度	受講者課題	検討中	健サボGとして退院時カンファ事業として検討中	R3
	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	予定なし		
	受講者課題	予定なし		
R元年度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	検討中	健サボGとして退院時カンファ事業として検討中	R3
R2年度	研修テーマ	予定なし		
	受講者課題	検討中	健サボGとして退院時カンファ事業として検討中	R3

静岡

都道府県薬名		静岡県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29度	研修テーマ ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	予定なし	静岡県が平成25年に策定した「静岡県医療救護計画」に基づき、静岡県薬剤師会では「災害薬事コーディネーター」の養成を行っており、毎年、「災害薬事コーディネーター研修会」を開催しているため、本テーマに基づく研修は不要とした。	平成25年以降、毎年開催
	研修テーマ ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	▼平成30年度静岡県薬剤師会「次世代薬剤師指導者研修会」プログラムより 講義「ポリファーマシー対策に必要な薬物動態学の理解と活用」 プレゼンテーション「腎機能管理の必要性」 SGD「症例検討」～発表	平成30年度
H30度	受講者課題 薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	▼平成30年度静岡県薬剤師会「次世代薬剤師指導者研修会」プログラムより プレゼンテーション「薬業連携の実践～患者情報の流れと共有～」 プレゼンテーション「ふじのくにねっと」 SGD「患者情報の共有、検査値の利用」～発表	平成30年度
	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み 実施済み 実施済み	講義1「薬剤師によるAMR対策」 講義2「医薬品情報の活用とEBM」 講義3「CKDと検査値」 講義4「かかりつけ薬剤師としての薬学的管理の手法と患者アプローチ」 ワークショップ「薬学的視点による患者対応、処方提案ができる薬剤師を作るには」（SGD、症例発表、解説）	令和元年度
H30度	受講者課題 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	▼令和元年度静岡県薬剤師会「研究倫理に関する研修会」プログラムより 講義1「人を対象とする医学系研究に対する倫理審査について」 講義2「臨床疫学研究の進め方～薬局薬剤師業務のエビデンス化に向けて～」 講義3「薬局薬剤師による研究の取り組み」 講義4「研究計画書と倫理審査」※実際の研究計画書の書き方を含む ▼令和3年度静岡県薬剤師会「研究倫理に関する研修会」プログラムより 講義1「人を対象とする医学系研究を始める前に」 講義2「研究倫理審査申請のために必要な基礎知識」	令和3年度

静岡

R元度	研修テーマ	<p>・性と避妊</p>	実施済み	<p>▼令和2年度静岡県薬剤師会「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」プログラムより          講義1「オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について」          講義2「オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方の留意点」          (1) 緊急避妊薬全般          (2) 月経・月経異常・ホルモン調節機序          (3) OOC全般・避妊          講義3「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について」          (1) 薬局での対応について          (2) 患者対応等について</p>	<p>令和2年度 令和3年度</p>
	受講者課題	<p>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</p>	実施済み	<p>▼令和2年度静岡県薬剤師会「次世代薬剤師指導者研修会」プログラムより          講義1「薬機法改正を踏まえた患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導の基本的な考え方」          講義2「継続的な薬学管理～高血圧症を例として～」          講義3「抗がん剤の基礎知識と薬局に於ける副作用マネジメント」          ワーク「継続的な薬学管理～がん薬物療法を例に～」(症例提示①、ワーク、発表、症例提示②、ワーク、発表)          症例解説(①提供・収集すべき情報、②服薬指導、③フォローアップの内容、時期を検討)</p>	令和2年度
R2度	研修テーマ	<p>・成育医療と薬剤師          ・セルフメディケーションと薬剤師          ・医療機関と薬局の連携について</p>	<p>予定あり          予定あり          予定あり</p>	<p>令和3年度に開催を予定している静岡県薬剤師会「次世代薬剤師指導者研修会」のプログラムの中に反映させていく予定</p>	令和3年度
	受講者課題	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出          都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	予定あり		

愛知

都道府県薬名		一般社団法人愛知県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	「熊本地震の時雄避難所での薬剤師の活動と公衆衛生の基礎知識」等をテーマに防災研修会開催（薬剤師対象：104名）	令和2年度
	研修テーマ ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	「ポリファーマシー対策に向けて～必要な視点と考え方～」研修会開催（薬剤師対象：88名）、 「名古屋南部地域における統一吸入指導せんの作成とその運用」等をテーマに医薬品の適正使用に関する研修会開催（薬剤師対象：101名）等	令和元年度、令和2年度
H30年度	受講者課題 薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定なし		
	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策	予定なし		
	研修テーマ ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	実施済み	関節リウマチ、心不全等をテーマに標準薬物治療研修会開催（薬剤師対象：95名）	令和元年度より
	受講者課題 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	「臨床研究倫理に関する基礎講座・臨床研究相談会」等をテーマに臨床研究検討会開催実施（薬剤師対象：48名）	毎年度実施
R元年度	受講者課題 ・性と避妊	予定あり	薬局における臨床研究	令和3年度
	研修テーマ ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会開催（薬剤師対象：53名）	令和2年度
R2年度	受講者課題 外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	「がん薬物療法」「消化器癌の外來化学療法」をテーマとする標準薬物治療研修会開催（薬剤師対象：81名）	令和2年度
	研修テーマ ・成育医療と薬剤師	予定なし		
	研修テーマ ・セルフメディケーションと薬剤師	実施済み	「妊娠・授乳サポート薬剤師」養成講座（薬剤師対象：毎年度50名） 「あいち・くすりフォーラム妊娠・授乳中のくすりと母と子の健康」（医療関係者対象：毎年度400名）	平成22年度～毎年度
R2年度	受講者課題 ・医療機関と薬局の連携について	予定なし		
	受講者課題 受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	実施済み	薬局における服薬状況等の継続的なフォローアップ体制の検討・構築を通じた薬局機能強化事業説明会開催（薬剤師対象：75名）	令和元年度

三重

都道府県薬名		三重県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29年度	研修テーマ	実施済み	災害薬事コーディネーター研修（薬局・病院薬剤師の参加、相互連携）	H30,R1,R2
	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	H30
H 30年度	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	H30,R1,R2
	研修テーマ	実施済み		
	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	H30
	受講者課題	実施済み	研究倫理審査委員会（研修会講師）	H30,R1,R2
R 元年度	研修テーマ	実施済み	緊急避妊薬研修会の開催	R1
	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	
R 2年度	研修テーマ	検討中		
	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	H30,R1,R2
	研修テーマ	実施済み		
	受講者課題	実施済み	薬業連携研修会の開催（薬局・病院薬剤師が参加）	H30,R1,R2

災害薬事コーディネーター研修プログラム  
 日時：平成30年11月11日(日)  
 場所：三重県薬剤師会館

開始時間	終了時間	所要時間	講義概要	講義内容	講師	講師名(仮)	備考
9:00	9:05	5	開会あいさつ	-	一般社団法人 三重県薬剤師会会長	西井政彦	
9:05	9:10	5	開会あいさつ	-	薬務感染症対策課長	下尾貴宏	-
9:10	10:00	50	災害時の薬剤師の役割 災害薬事コーディネーターとは	・災害時に薬剤師に求められること ・過去の災害を踏まえた薬剤師の役割 ・災害薬事コーディネーターの役割・位置付け ・三重県災害薬事コーディネーター設置要綱	薬務感染症対策課薬事班班長	伊東貴利	-
10:00	10:45	45	三重県の災害体制	・三重県における災害体制(県内で発生した災害を踏まえて) ・三重県災害対策本部及び保健医療部隊の構成と役割	薬務感染症対策課薬事班担当	藪名晋宏介	要綱第2条1項(2)
休憩							
11:00	12:00	60	熊本地震における薬事にかかる受援対応	・熊本地震における受援活動の実態	熊本県薬剤師会	中村賢良	要綱第2条1項(3)
昼食							
13:00	14:30	90	災害時における薬事支援	・災害対応の原則(CSCA等) ・薬事支援の原則(PPP等) ・わが国の災害医療体制	新潟大学医学部 災害医療教育センター 特任講師	和泉邦彦	要綱第2条1項(1)
14:30	15:15	45	三重県の災害時における医薬品等の確保供給体制	・災害時における医薬品等の確保供給マニュアルの概要	薬務感染症対策課薬事班担当	佐藤朋彦	要綱第2条1項(2)
休憩							
15:30	17:00	90	災害発生時の薬剤師の役割(ワークショップ)	地域毎の薬局薬剤師と病院薬剤師のグループディスカッション	薬局薬剤師及び病院薬剤師の代表者がファシリテーター	三重ハートセンター薬局長 高井 靖、三重県薬剤師会副会長 水谷 真央	

三重

	(県薬参加人数/病薬参加人数)		
	H30	R1	R2 (WEB配信)
災害薬事コーディネーター研修	37/20	15/7	14/8
薬業連携研修会	29/21	29/23	190/46
研究倫理に関する研修会	71	33	105
緊急避妊薬の調剤に関する研修会		26	

三重

災害薬事コーディネーター研修スケジュール

日時:令和2年11月8日(日)

場所:WEB配信、三重県薬剤師会館

開始時間	～	終了時間	所要時間	講義概要	講義内容	講師	備考
10:00		10:05	5	開会あいさつ	—	一般社団法人三重県薬剤師会	
10:05		10:10	5	開会あいさつ	—	薬務感染症対策課薬事班長	
10:10		10:40	30	三重県における災害対策	・三重県における災害対策 ・三重県における災害対策における災害医療体制	薬務感染症対策課薬事班担当	
休憩							
10:50		11:50	60	三重県の災害薬事コーディネーター制度	・三重県災害薬事コーディネーター制度 ・三重県災害薬事コーディネーターの役割	薬務感染症対策課薬事班担当	
昼食							
13:00		14:30	90	災害時における薬事支援	・わが国の災害医療体制 ・災害対応の原則(CSCA等) ・薬事支援の原則(PPP等)	鬼頭 大輔	独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター 薬剤部
14:30		15:30	60	三重県の災害時における医薬品等の確保供給体制	・災害時における医薬品等の確保供給マニュアルの概要	薬務感染症対策課薬事班担当	
休憩							
15:40		17:00	80	災害発生時の薬剤師の役割	・災害発生時の災害薬事コーディネーターとしての活動にかかわるケース・スタディ	薬務感染症対策課薬事班担当	

三 重

災害薬事コーディネーター研修 スケジュール(案)

主催:三重県薬剤師会

日時:令和元年11月10日(日)

場所:三重県薬剤師会館 津市島崎町311

開始時間	～	終了時間	所要時間	講義概要	講義内容	講師	備考
10:00		10:05	5	開会あいさつ	—	三重県薬剤師会会長	
10:05		10:10	5	開会あいさつ	—	薬務感染症対策課長	
10:10		10:30	20	三重県における災害体制	・三重県の災害体制	薬務感染症対策課薬事班	
10:30		11:00	30	災害薬事コーディネーターについて	・過去の災害における行政の薬事対応 ・災害薬事コーディネーターについて	薬務感染症対策課薬事班	
休憩							
11:10		12:00	50	三重県の災害時における医薬品等の確保供給体制	・災害時における医薬品等の確保供給マニュアルの概要	薬務感染症対策課薬事班	
昼食							
13:00		14:30	90	災害時における薬事支援	・災害対応の原則(CSCA等) ・薬事支援の原則(PPP等) ・わが国の災害医療体制	山形県立中央病院薬剤部 萬年 琢也 先生	
14:30		15:30	60	三重県災害薬事コーディネーターの役割について	・三重県災害薬事コーディネーターの位置づけ ・三重県災害薬事コーディネーターの役割	薬務感染症対策課薬事班	
休憩							
15:40		17:00	80	災害発生時の薬剤師の役割(ワークショップ)	地域毎の薬局薬剤師と病院薬剤師のグループディスカッション	薬務感染症対策課薬事班	

三 重

### 地域包括ケアシステム構築に向けた薬業連携研修会

主催 一般社団法人三重県薬剤師会  
 日時 平成30年10月28日(日) 13:30~16:30  
 場所 三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel: 059-228-5095

#### プログラム

司会 三重県薬剤師会 理事 辻 由紀子

#### 1. 開会挨拶

#### 2. 講演

(1) 講演 I 「病院薬剤師業務の現状と課題」 13:35~13:55  
 三重ハートセンター 薬局長 高井 靖 先生

(2) 講演 II 「薬局薬剤師業務の現状と課題」 13:55~14:15  
 三重県薬剤師会 副会長(水谷薬局) 水谷 賀典 先生

(3) ワークショップ ポリファーマシー対策に向けて~必要な視点と考え方~  
 (地域ごとの薬局薬剤師と病院薬剤師のグループディスカッション)  
 14:15~16:25  
 ファシリテーター 三重ハートセンター 薬局長 高井 靖 先生  
 三重県薬剤師会副会長(水谷薬局) 水谷 賀典 先生

#### 3. 閉会挨拶

### 地域包括ケアシステム構築に向けた薬業連携研修会 「退院時カンファレンスを薬業連携へつなげよう」

主催 一般社団法人三重県薬剤師会  
 日時 令和元年7月21日(日) 13:30~16:30  
 場所 三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel: 059-228-5995

#### プログラム

司会 (一社)三重県薬剤師会 理事 上村 肇

#### 1. 開会挨拶

(一社)三重県薬剤師会 会長 西井 政彦

#### 2. 講演

13:35~14:40

座長 (一社)三重県薬剤師会 理事 辻 由紀子

13:35~14:00

(1) 講演 I 「退院から在宅医療へ薬剤師のかかわりについて」

JCHO 四日市羽津医療センター地域連携室  
 主任医療福祉相談員(社会福祉士) 小川 修 先生

14:00~14:25

(2) 講演 II 「薬剤師に望むこと」

四日市在宅医療介護連携支援センター  
 主任介護支援専門員 中島 英子 先生

14:25~14:40

(3) 講演 III 「地域包括ケアと薬局薬剤師の在宅医療へのかかわり」

(一社)三重県薬剤師会 副会長 水谷 賀典 先生

#### 3. ワークショップ

14:50~16:25

#### ファシリテーター

高井 靖 先生  
 辻 由紀子 先生

(1) ワークショップ趣旨説明

(2) グループミーティング

(3) グループ発表&ディスカッション

#### 4. 閉会挨拶

(一社)三重県薬剤師会 副会長 水谷 賀典

## 地域包括ケアシステム構築に向けた薬業連携会研修会〈WEB配信〉

三重県における薬業連携の推進 「各地域で推進するための対策は？」

主催：一般社団法人三重県薬剤師会  
 日時：令和2年11月15日（日） 14：30～16：00  
 場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel 059-228-5995  
 自宅、勤務先等

## プログラム

司会 (一社)三重県薬剤師会 理事 辻 由紀子

1. 開会挨拶 (一社)三重県薬剤師会 会長 西井 政彦

2. 講演 (14:35～15:25)

- 座長 (一社)三重県薬剤師会 理事 高井 靖  
 (1) 講演I 「菊川地区における薬業連携のカタチ (25分)  
 ～入退院時の患者情報共有で適切な薬物治療に繋げよう！～」  
 菊川市立総合病院 薬剤科 科長 瀧 祐介 先生  
 (2) 講演II 「入院前患者情報の共有から始まる薬業連携」 (25分)  
 独立行政法人 岐阜県総合医療センター  
 薬剤部 部長 平下 智之 先生

3. 質疑応答及びパネルディスカッション (15:25～16:00)

座長 (一社)三重県薬剤師会 理事 上村 肇  
 (一社)三重県薬剤師会 理事 辻 由紀子

コメンテーター  
 菊川市立総合病院 薬剤科科長 瀧 祐介先生  
 岐阜県総合医療センター 薬剤部部長 平下 智之 先生  
 (一社)三重県薬剤師会 副会長 水谷 賀典  
 (一社)三重県薬剤師会 理事 高井 靖

4. 閉会挨拶 (一社)三重県薬剤師会 副会長 水谷 賀典

## 研究倫理に関する研修会

日時：平成30年11月29日（木） 19：00～20：30  
 場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel：059-228-5995

## プログラム

1. 挨拶

2. 講義

①薬剤師と研究倫理を取り巻く現状と背景について 19：05～19：15

②研究倫理審査と申請 19：15～19：45

【休憩 19：45～19：50】

③三重県薬剤師会の研究倫理規程について 19：50～20：25

講師  
 一般社団法人三重県薬剤師会  
 薬事情報センター 次長 高村 康

3. 質疑 疑 20：25～20：30  
 修了証交付

三重

研究倫理に関する研修会

日時：平成30年12月8日（土） 18：00～19：30  
場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel：059-228-5995

プログラム

1. 挨拶
2. 講義  
①薬剤師と研究倫理を取り巻く現状と背景について 18：05～18：15  
②研究倫理審査と申請 18：15～18：45  
【休憩 18：45～18：50】  
③三重県薬剤師会の研究倫理規程について 18：50～19：25

講師 一般社団法人三重県薬剤師会  
薬事情報センター 次長 高村 康

3. 質疑 19：25～19：30  
疑 修了証交付

三重

研究倫理に関する研修会

日時：平成30年12月20日（木） 18：00～19：30  
場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel：059-228-5995

プログラム

1. 挨拶
2. 講義  
①薬剤師と研究倫理を取り巻く現状と背景について 18：05～18：15  
②研究倫理審査と申請 18：15～18：45  
【休憩 18：45～18：50】  
③三重県薬剤師会の研究倫理規程について 18：50～19：25

講師 一般社団法人三重県薬剤師会  
薬事情報センター 次長 高村 康

3. 質疑 19：25～19：30  
疑 修了証交付

三重

研究倫理に関する研修会

日時：令和元年12月5日（木） 19：30～21：00  
場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel：059-228-5995

プログラム

1. 挨拶
2. 講義  
① 薬剤師と臨床研究倫理指針 19：30～20：15  
（一社）三重県薬剤師会 理事 高井 靖  
② 三重県薬剤師会の研究倫理審査規程と事例紹介 20：15～21：00  
（一社）三重県薬剤師会 薬事情報センター 高村 康

3. 修了証交付

三重

研究倫理に関する研修会

日時：令和元年12月7日（土） 18：30～20：00  
場所：三重県薬剤師会館 津市島崎町311 Tel：059-228-5995

プログラム

1. 挨拶
2. 講義  
① 薬剤師と臨床研究倫理指針 18：30～19：15  
（一社）三重県薬剤師会 理事 高井 靖  
② 三重県薬剤師会の研究倫理審査規程と事例紹介 19：15～20：00  
（一社）三重県薬剤師会 薬事情報センター 高村 康

3. 修了証交付

## 三重

各 位

令和2年11月11日

一般社団法人三重県薬剤師会 会長 西井政彦

「研究倫理に関する研修会」の開催について（通知）

平素は、当会業務の推進にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。  
今年度の研究倫理に関する研修会を下記のとおり WEB 配信で開催しますので、調査・研究に携わることとなる薬剤師の皆様は必ず受講していただくようお願いいたします。（研究に携わる薬剤師は、少なくとも年に1回程度は教育・研修を受けていくことが望ましいとされています。）

各回とも内容は同じですので、都合のよい日にお申込みください。

### 記

- 1 日 時 (1) 令和2年12月3日(木) 19:30～21:00  
(2) 令和2年12月5日(土) 18:30～20:00
- 2 開催方法 Zoom による WEB 配信
- 3 内 容 講演1 「臨床研究に関する倫理について」 19:30～20:10  
講師：(一社)三重県薬剤師会 理事 高井 靖  
講演2 「三重県薬剤師会の研究倫理審査規程」 20:10～20:40  
講師：(一社)三重県薬剤師会 薬事情報センター 大川 舞  
講演3 「研究を開始するにあたっての留意点」 20:40～21:00  
講師：(一社)三重県薬剤師会 薬事情報センター 高村 康

(◆12/5時間割は講演1～3共に1時間早くなります。)

- 4 参加費 三重県薬剤師会会員は無料、非会員は3,000円
- 5 申込方法 ホームページ内の申込フォームに必要事項を入力の上、11月25日

(水)までにご送信ください。

申込者には別途受信案内をご連絡いたします

(<https://www.mievaku.or.jp/> 一般サイト) > 医療関係者のみなさま

> お知らせ)

- 6 その他 研修終了後修了証交付 日業研修センター 1 単位申請予定

事務担当 薬事情報センター

高村、大川

電話 059-225-5995 FAX 059-225-4728

## 三重

オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

一般社団法人三重県薬剤師会  
薬事情報センター 高村 康

令和2年3月20日に三重県薬剤師会館で「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を開催し、各地域薬剤師会から推薦していただいた薬局薬剤師26名に受講していただきました。

本研修会を開催した経緯は、以下のとおりです。

- ①国が「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下、「指針」)の策定(平成30年3月30日)
- ②「指針」の見直しで、緊急避妊薬をオンライン診療で可能とする取扱いについて議論(平成31年1月～令和元年6月)
- ③「指針」の一部改訂：オンライン診療を行う場合の緊急避妊薬の調剤に関する取扱いについて記載(薬局において研修を受けた薬剤師による調剤、薬剤師の面前で内服、より確実な避妊法について適切に説明を行うこと等)(令和元年7月31日)
- ④「緊急避妊薬に係る診療の提供体制整備に関する取組について(依頼)」(薬局薬剤師の研修等)(厚生労働省課長通知)(令和元年11月21日)

このような背景のもと、各都道府県薬剤師会で「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を開催し、「緊急避妊薬を確実に調剤できる体制」と「患者が安心して薬局を利用できる体制」を整備することとなりました。

三重県薬剤師会では、確実に上記の体制を整備するため、各地域薬剤師会から推薦をいただいた薬剤師に受講していただくこととしました。(併せて県薬ホームページで一般の方の受講も募りましたが、申込はありませんでした。)

研修会では、当会 藤本修嗣 副会長、水谷賀典 副会長が講師を務めるとともに、三重県産婦人科医会副会長 小畑英慎先生に専門医としての立場からご講演をいただきました。

研修会当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の手指消毒の徹

底、受講者席の適切な間隔の確保、会議室の十分な換気等を行いました。

研修会当日のプログラム	
1	開会挨拶 三重県薬剤師会会長 西井政彦
2	オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬の調剤について (20分) 講師：三重県薬剤師会副会長 藤本修嗣
3	オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点 (120分) (1) 緊急避妊全般 (45分) (2) 月経・月経異常・ホルモン調節機序(40分) (3) OC全載・避妊 (35分) 講師：三重県産婦人科医会副会長 小畑英慎 先生
4	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について (60分) (1) 薬局での対応について (20分) (2) 患者対応等について (40分) 講師：三重県薬剤師会副会長 水谷賀典
---質疑応答---	
5	閉会挨拶 三重県薬剤師会副会長 藤本修嗣
6	修了証交付

当初、緊急避妊薬のオンライン診療とそれに伴う薬局での調剤は、令和2年4月からスタートの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、薬剤師向けの研修会が開催できない県等もあり、現時点（令和2年5月末）で全国的に対応できる薬局の整備が出来ておらず、実際の開始にはもう少し時間がかかりそうな状況です。

受講された薬剤師の皆様の名と薬局名は「緊急避妊薬のオンライン診療可能な医療機関」とともに厚生労働省のホームページに掲載される予定です。

今後、緊急避妊薬のオンライン診療がどの程度普及していくかわかりませんが、対応可能な薬局をさらに増やす必要が出てきた場合は、本会でも研修会を追加開催していきたいと思えます。

滋賀

年度	都道府県薬名	滋賀県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	予定なし		
	受講者課題		薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定なし		
H 30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	予定あり	R 3年3月21日に研修会実施予定	
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンス化の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	予定あり	滋賀県薬剤師会として臨床研究を実施予定、研修計画書作成する	
R 元年度	研修テーマ		外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	予定なし		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	予定あり	R 3年度、がんと題材とした多職種での研修会を実施予定	
R 2年度	研修テーマ		受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出	検討中	研修会の中で外来・入退院時での連携の事例を提出していただく事を検討	
	受講者課題		都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中	地域の基幹病院と、循環器領域における研修を検討している 次世代薬剤師を集めたワーキングにて実践に向けた具体的な取組を検討	

# 滋賀

研修会 No.833

## 研究倫理研修会

日本薬劑師会は平成30年度「患者のための薬局ビジョン」(厚生労働省、平成27年10月23日)を実現し、地域医療の質の向上を図るため「薬局ビジョン実現に向けた薬劑師のかけつけ機能強化事業」を実施し、「薬劑師のかけつけ機能強化のための研修シナリオ」を作成した。滋賀県薬劑師会ではこの趣旨を受けて、3年計画で研修シナリオの33項目について順次研修を実施していく。今回はその第2回として開催する。

開催日時	2021年3月21日(日) 10:00 ~ 12:00
会場	Web開催(ZOOM)
担当部会・委員会	学術調査(学術情報)
研修受講シール	1単位 青
JPALSコード	25-2020-0059-101
受講料	会員:無料、薬学生:200円(実習中無料)、非会員:10,000円

### 《PROGRAM》

◇開会挨拶 滋賀県薬劑師会 会長 大迫 芳孝

■講演1  
 テーマ:「薬劑師による学会発表・論文投稿の重要性と研究倫理」  
 講師:立命館大学薬学部 助教 平 大樹

■講演2  
 テーマ:「滋賀県薬劑師会が実施する研究と研究計画書」  
 講師:滋賀県薬劑師会 営業局 柏川 紗希

◇閉会挨拶 滋賀県薬劑師会 副会長 柳本 さつき

### 問合せ先

一般社団法人滋賀県薬劑師会 事務局 Tel:077-565-3535 Fax:077-563-9033

京都

都道府県名	京都府薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度	参加者数
H29年度	研修テーマ	①災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	別紙のとおり		121名
		②病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	第34回特別講演会「ポリファーマシーへの対応と処方適正化」（H29.11.17実施） 第1回薬剤師のためのスキルアップセミナー「検査値表示は処方監査の質を向上させるか？～検査値の見方から疑義照会の進め方について～」（H30.7.8実施） 他 別紙のとおり	H29、H30	96名
		③薬連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	第2回学術講演会「がん化学療法におけるチーム医療ー地域連携の構築を目指してー」（H29.6.8実施） 第26回薬剤師のためのイブニングセミナー「頭痛に使う薬剤とチーム医療～薬剤師の役割～」(H31.1.24実施)	H29、H30	250名
		④AMR（薬剤耐性）対策	実施済み	第2回薬剤師のためのスキルアップセミナー「薬剤師もできるAMR対策ー急性気道感染症と急性下痢症を例にー」（H30.9.17実施） 第8回学術講演会「AS活動における薬剤師の関わり」 「薬剤耐性菌対策における抗菌薬適正使用」（R3.2.10実施）他 別紙のとおり	H30、R2	89名
		⑤薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	実施済み	第20回薬剤師のためのイブニングセミナー「腎障害患者における薬物療法」（H30.1.25実施） 第21回薬剤師のためのイブニングセミナー「免疫チェックポイント阻害薬のリスク管理」（H30.3.22実施）	H29	104名
		⑥エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み	第3回薬剤師のためのスキルアップセミナー「指導薬剤師への期待と臨床研究のススメ」（H29.10.29実施） 第5回薬剤師のためのスキルアップセミナー「臨床薬学研究のすゝめ～研究マイルドの涵養に向けて～」(H30.3.2実施) 薬剤師のための学術活動支援セミナー「臨床研究の進め方～研究計画から学会発表まで～」(H30.6.10実施) 第4回 薬剤師のためのスキルアップセミナー「臨床薬学研究の実践に向けて」（H31.2.28実施）	H29、H30、R1、R2	48名
H30年度	研修テーマ	⑦研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	薬局におけるCOVID-19感染対策実施状況に係る調査（会員薬局にアンケート調査、論文化。日薬誌2021年3月号に掲載。） 別紙のとおり	R2	221名
		⑧性と避妊	実施済み			
		⑨患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	第1回学術講演会「Risk Based Approach 薬のリスクから患者を守る!! 継続した患者観察が薬物治療時のリスクを最小化する」（H30.5.31実施） 第2回学術講演会「薬物動態学の知識を活用した新規糖尿病治療薬の副作用マネジメント」（H30.6.29実施）他 別紙のとおり	H30	139名
R元年度	受講者課題	⑩外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬連携の推進を目指す）	実施済み	第35回薬剤師のためのイブニングセミナー「連携充実加算の概要と体制の整備」 「トレーニングレポート活用事例」 「薬物療法サマリ-活用事例入院時」 「退院時薬剤情報の活用について」他（R2.9.30実施） 他別紙のとおり	R2	会場179名 +WEB55名

京都

	①成育医療と薬剤師		予定なし			
	②セルフメディケーションと薬剤師		実施済み		セルフメディケーション研修会「創傷処置に関する基礎知識について」 (R2.11.29実施)	R2
R 2 度	研修テーマ	③医療機関と薬局の連携について	実施済み		第35回特別講演会「激動の医療現場で活躍する薬剤師 ～連携のなかで醸成されるその実力～」(H30.11.9実施) 第27回薬剤師のためのイブニングセミナー「薬剤師がなくなると、がんチーム医療 - 安全ながん化学療法への取り組み -」(H31.3.14実施) 第6回学術講演会「薬局と病院の連携による薬物療法の質向上に向けた取り組み」 (R1.11.19実施) 第5回学術講演会「がん薬物療法における薬薬連携について」(R2.12.1実施)	H30、R1、R2
	受講者課題	④受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	予定なし			

京都

救急・災害に強い薬剤師養成講習会

① 出席者 18名  
一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会

日時 平成29年12月23日(土) 12:30~17:30

場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第 (敬称略)

司会 京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 (のぞみ薬局 京大病院前店) 大垣 聡彦

1. 開会の挨拶・オリエンテーション

12:30~12:40

12:40~15:00

2. 緊急時の情報伝達 (SBAR) トレーニング、バイタルサイン・トリアージ  
トレーニング

<講師・インストラクター (氏名 五十音順) >

福知山市消防本部 福垣 鎮 救急救命士  
京都薬科大学 今西 孝至 薬剤師  
京都府立医科大学附属病院 上田 和正 薬剤師  
公益社団法人京都保健会 京都協立病院 奥村 美由紀 薬剤師  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 片岡 聡 薬剤師  
医療法人済衆館 済衆館病院 金澤 京子 薬剤師  
近畿大学医学部附属病院 窪田 愛恵 薬剤師  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 酒井 久司 医師  
徳部市立病院 杉田 直哉 薬剤師  
特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院 辻本 千代美 薬剤師  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 寺井 千鶴 看護師  
オレンジ薬局 円町店 寺山 律子 薬剤師  
植原内科 藤原 順子 薬剤師  
京都府立医科大学附属病院 福園 愛 看護師  
医療法人社団石鏡会 田辺記念病院 南田 祐子 薬剤師  
国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 渡瀬 美恵子 看護師

15:00~15:10 休憩

15:10~17:00

3. シナリオシミュレーション

17:00~17:30

4. アンケート、振の返り、終了式

\*\*\*\*\*

◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHP) 研修番号: Ⅱ-2 2. 5単位

◇ 日本薬剤師研修センター 2単位

◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと

考えられるPSを選択して記録してください。

京都

救急・災害に強い薬剤師養成講習会

① 出席者 54名  
一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会

日時 平成30年12月23日(日) 13:00~17:30

場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第 (敬称略)

司会 京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 (のぞみ薬局 京大病院前店) 大垣 聡彦

1. 13:00~13:15 開会の挨拶・オリエンテーション

2. 13:15~14:00 ファーストエイド グループダイナミックス

<講師・インストラクター (氏名 五十音順) >

近畿大学 伊藤 栄次 薬剤師  
福知山市消防本部 福垣 鎮 救急救命士  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 片岡 聡 薬剤師  
医療法人済衆館 済衆館病院 金澤 京子 薬剤師  
近畿大学医学部附属病院 窪田 愛恵 薬剤師  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 酒井 久司 医師  
立命館大学 高橋 直子 薬剤師  
くろみ薬局 竹内 あずさ 薬剤師  
医療法人福知会 もみじヶ丘病院 辻本 千代美 薬剤師  
医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 寺井 千鶴 看護師  
大阪はびきの医療センター 波津 加代子 薬剤師  
近畿大学 平出 敦 医師  
くれよん薬局 横田 忠明 薬剤師  
京都府立消防学校 吉岡 大祐 救急救命士  
公益社団法人京都保健会 京都協立病院 吉岡 美由紀 薬剤師

3. 14:00~17:00 ファーストエイドトレーニングシナリオシミュレーション

4. 17:00~17:30 振の返り・質疑応答

\*\*\*\*\*

◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHP) 研修番号: Ⅱ-2 2. 5単位

◇ 日本薬剤師研修センター 2単位

◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと

考えられるPSを選択して記録してください。

京都

救急・災害に強い薬剤師養成講習会 ① 出席者 26名

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬局業務委員会

日時 令和元年12月22日(日) 12:30~17:30

場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第 (敬称略)

司会 京都府薬剤師会 理事 薬局業務委員会 大垣 聡彦

1. 12:30~12:40 開会の挨拶・オリエンテーション
2. 12:40~15:00 救急時の情報伝達 (SBAR) トレーニング、バイタルサイン・  
トリアージトレーニング
3. 15:00~15:10 休憩
4. 15:10~17:00 シナリオシミュレーション
5. 17:00~17:30 振り返り、終了式

<講師・インストラクター(氏名 順不同)>

京都府立医科大学付属病院 青戸 和宏 薬剤師  
 福知山市消防本部 稲垣 鎮 救急救命士  
 京都府立医科大学付属病院 上田 和正 薬剤師  
 のぞみ薬局 京都病院前店 大垣 聡彦 薬剤師  
 なぎさ薬局 小野 尚美 薬剤師  
 小柳 茜 薬剤師  
 医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院 片岡 聡 薬剤師  
 医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 金澤 京子 薬剤師  
 医療法人済衆館 済衆館病院 川口 皓平 薬剤師  
 京都きつ川病院 窪田 愛恵 薬剤師  
 近畿大学医学部附属病院 酒井 久司 医師  
 医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 高橋 直子 薬剤師  
 立命館大学 竹内 あずさ 薬剤師  
 くらみ薬局 辻本 千代美 薬剤師  
 医療法人福知会 もみじヶ丘病院 寺井 千鶴 看護師  
 医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 平出 敦 医師  
 京都府立消防学校 吉岡 大祐 救急救命士  
 京都府立薬局 京都本店 吉岡 美由紀 薬剤師  
 わかくさ薬局 京都本店

\*\*\*\*\*

- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHP) 研修番号: III-2 3単位
- ◇ 日本薬剤師研修センター 2単位
- ◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

京都

救急・災害に強い薬剤師養成講習会 ① 出席者 34名

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬局業務委員会

日時 令和2年12月27日(日) 13:00~16:00

場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第 (敬称略)

司会 京都府薬剤師会 理事 薬局業務委員会 大垣 聡彦

1. 13:00~13:10 開会の挨拶・オリエンテーション
2. 13:10~14:10 感染防御員に関するエビデンス
3. 14:10~14:20 休憩
4. 14:20~15:00 N95 マスク (マスクの選択等)
5. 15:00~16:00 PPE の着脱とローリング

<講師・インストラクター(氏名 五十音順順)>

福知山市消防本部 稲垣 鎮 救急救命士  
 医療法人済衆館 済衆館病院 金澤 京子 薬剤師  
 近畿大学 窪田 愛恵 薬剤師  
 医療法人社団石鏡会 同志社山手病院 酒井 久司 医師  
 立命館大学 高橋 直子 薬剤師  
 兵庫医科大学病院 高山 福恵 救命士  
 プラス薬局 武山 和也 薬剤師  
 京都府立薬局 京都田辺中央病院 寺井 千鶴 看護師  
 京都府立薬局 平出 敦 医師  
 八幡市役所 防災課 吉岡 大祐 救急救命士  
 わかくさ薬局 京都本店 吉岡 美由紀 薬剤師

\*\*\*\*\*

- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHP) 研修番号: IV-1 1.5単位
- ◇ 日本薬剤師研修センター 1単位
- ◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

京都

② 出席者 36名  
第4回病院薬剤業務推進研修会

「検査－薬物治療の有効性・安全性の向上に向けて－」

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 病院薬剤業務推進WG

日時 平成31年3月10日(日) 13:00~16:05  
場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第(敬称略)

13:00~14:30

I. 実例報告

1. 「ICUにおける検査値を活用した病棟薬剤業務」

日本赤十字社 京都第二赤十字病院 薬剤部 大山 翔

2. 「病棟で行うモニタリング」

社会医療法人 岡本病院(財団) 京都岡本記念病院 薬剤部 平原 優美

3. 「検査値で見ていく貧血の評価」

綾部市立病院 薬剤部 太田 翔一

14:35~15:55

II. 実例報告を踏まえ、検査・薬物治療に関するグループディスカッション

- 1) 処方提案前の検査について
- 2) 処方提案後の検査について
- 3) その他

15:55~16:05

III. 総括

\*\*\*\*\*

- ◇ 日本薬剤師研修センター 2単位
- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度(JSHIP) 研修番号: III-1 2単位
- ◇ PS(プロフェッショナルスタンダード)は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと考えられるPSを選択して記録してください。

京都

④ 出席者 89名  
第24回 臨床薬剤師業務シリーズ研修会

日時 平成30年3月11日(日) 13:00~16:45  
場所 京都府薬剤師会館 ホール  
次第(敬称略)

座長 京都市立病院 薬剤科 村田 龍宣

13:00~13:30

1. 医薬品説明 「シーンブラバ点滴静注」について

MSD株式会社

13:30~14:00

2. はじめに 「薬剤耐性(AMR)対策~これまでとこれから」

京都府立医科大学附属病院 薬剤部・感染対策部 小阪 直史

14:00~14:30

3. 症例検討1 「AMR対策を自施設で実践するためのポイント」

京都市立病院 薬剤科 大橋 正和

14:30~15:00

4. 症例検討2 「薬剤師が感染症治療に関わるためのポイント」

京都第二赤十字病院 薬剤部・感染制御部 澤田 真嗣

15:00~15:10 休 憩

15:10~16:10

5. 講 演 「薬剤師がはじめるAMR対策~ASPをはじめよう~」

京都府立医科大学 感染制御・検査医学教室 病院教授

京都府立医科大学附属病院 臨床検査部・感染対策部 部長 藤田 直久

16:15~16:45

6. 薬剤耐性(AMR)に関するシンポジウム・総括

共催 一般社団法人 京都府薬剤師会  
MSD株式会社

\*\*\*\*\*

- ◇ 日本薬剤師研修センター 2単位
- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度(JSHIP) 研修番号IV-2:2単位
- ◇ PS(プロフェッショナルスタンダード)は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと考えられるPSを選択して記録してください。

京都

出席者  
226名

オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会  
(Web配信研修会)

主催：一般社団法人 京都府薬剤師会  
京都府女性薬剤師会

日時 令和3年2月7日(日) 13:00~17:00  
配信場所 京都府薬剤師会館

次第 (敬称略)

司会 京都府薬剤師会 薬局業務委員会 (ヤマモト調剤薬局) 山本 尚史

1 13:00~13:10 開催挨拶 京都府薬剤師会 会長 河上 英治

2 13:10~13:40 オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について  
京都府薬剤師会 常務理事 (おれんじ薬局) 中林 保

3 13:40~15:50 オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点  
1) 緊急避妊薬全般について  
2) 月経・月経異常・ホルモン調節機序について  
3) OOC全般・避妊について  
京都産婦人科医会 理事 (こじまレディースクリニック) 院長 小島 秀規

15:50~16:00 休憩

4 16:00~17:00 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について  
1) 薬局での対応について  
京都府薬剤師会 常務理事 (コスモス薬局) 小林 知佐  
2) 患者対応等について  
京都府女性薬剤師会 理事 高井 美穂

京都

9

第1回 がん薬物療法のための地域連携講習会 ~基礎編①~

9名出席

日時 平成29年7月1日(土) 18:20~20:30  
場所 京都府薬剤師会館 ホール  
〒600-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町 563

次第

18:20~19:05  
1. 日本臨床腫瘍薬学会作成 地域医療連携(薬薬連携)推進DVD上映と解説  
「がん治療の流れ、薬剤師の役割、薬薬連携まで」  
京都府薬剤師会 理事 (京都九条病院 薬剤部長) 友沢 明福 先生

19:05~19:50  
2. 「がん診療連携の基礎~治療方針が決まるまで~」  
京都第一赤十字病院 薬剤部 日病薬がん薬物療法認定薬剤師 土谷 育美 先生

19:50~20:30  
3. 「保険薬局薬剤師が出来る副作用マネジメント」  
ミキ薬局日暮里店 JASPO 地域医療連携委員 長久保 久仁子 先生

\*日本薬剤師研修センター 1単位  
\*日病薬病院長学認定薬剤師精進(JSHP) 1単位(研修番号III-2)

京都

第2回 がん薬物療法のための地域連携講習会 ～基礎編②～  
② 出席者 70名出席

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 業務連携WG

日時：平成29年9月16日(土) 18:20～20:40  
場所：京都府薬剤師会館 ホール  
〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町 563

次第(敬称略)

座長 薬剤業務委員会(三菱京都病院 薬剤部長) 橋元 誠

18:20～19:05

1. 「病院薬剤師が血液検査値から解ること」

JASPO 地域医療連携委員会 神戸医食薬がん医療センター 薬剤部 和田 敦

19:05～19:50

2. 「保険薬局薬剤師が血液検査値から解ること」

京都府薬剤師会 理事 薬剤業務委員会(かめおかゆう薬局) 小林 篤史

19:55～20:40

3. スモールグループディスカッション・総括

「各地域における連携について」

\*\*\*\*\*

- ◇ 日本薬剤師研修センター 1単位
- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度(JSHP)研修番号 Ⅲ-2 1.5単位
- ◇ PS(プロフェッショナルスタンダード)は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと考えられるPSを選択して記録してください。

京都

第3回 がん薬物療法のための地域連携講習会 ～基礎編③～  
③ 出席者 78名

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 業務連携WG

日時：平成30年1月13日(土) 18:20～20:40  
場所：京都府薬剤師会館 ホール  
〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町 563

次第(敬称略)

座長 京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 業務連携WG委員

(洛和会丸太町病院 薬剤部 次長) 黄前 尚樹

18:20～19:00

1. 「がん化学療法における皮膚障害ケアと情報共有 ～病院の立場から～」

JASPO 副理事長(地域医療連携委員会 委員長)  
国立がん研究センター 東病院 薬剤部 主任 松井 礼子

19:00～19:40

2. 「がん化学療法における皮膚障害ケアと情報共有 ～薬局の立場から～」

京都府薬剤師会 理事 薬剤業務委員会 業務連携WG委員  
(おれんじ薬局) 中林 保

19:40～20:20

3. 「京都府南丹地域がん薬物療法連携の概要について」

京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 業務連携WG委員  
(京都中部総合医療センター 薬剤部) 武田 智子

20:20～20:40

4. 総合討論

\*\*\*\*\*

- ◇ 日本薬剤師研修センター 1単位
- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度(JSHP)研修番号 Ⅲ-2 1.5単位
- ◇ PS(プロフェッショナルスタンダード)は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと考えられるPSを選択して記録してください。

京都

第4回 がん薬物療法のための地域連携講習会

出席者 81名

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 業務連携WG

日時：平成30年7月21日(土) 18:20~20:40  
場所：京都府薬剤師会館 ホール  
〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町 563

次第 (敬称略)

座長 京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 業務連携WG委員

三菱京都病院 薬剤部長 橋元 誠

開催挨拶 京都府薬剤師会 理事 (薬剤業務委員会 業務連携WG委員)

京都九条病院 薬剤部長 友沢 明徳

18:30~19:00

1. 京都における患者のための薬局ビジョン推進事業実施計画  
~他職種との連携に着目した「かかりつけ薬剤師・薬局機能」強化事業~  
京都府健康福祉部 薬務課 副主査 坂田 博樹

19:00~19:40

2. 「薬剤師外来と地域連携 ~100床の病院で実践するがん薬物療法のサポート~」  
京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 業務連携WG委員

亀岡市立病院 薬剤科 菊田 明子

19:40~20:20

3. 「がん薬物療法における地域連携とその課題 ~左京区の取組と症例を中心に~」  
京都府薬剤師会 理事 (薬剤業務委員会 業務連携WG委員)

のぞみ薬局 京大病院前店 大垣 聡彦

20:20~20:40

4. 総合討論  
\*\*\*\*\*  
◇ 日本臨床腫瘍薬学会認定 外来がん治療認定薬剤師 講習 (研修) 認定単位 1単位  
◇ 日本薬剤師研修センター 1単位  
◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHHP) 研修番号 III-2 1単位  
◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

京都

高齢者の適正な薬物治療の研修会

出席者 32名

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 中小病診業務WG

日時 平成30年10月12日(金) 18:30~20:45  
場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第 (敬称略)

18:30~19:00

I. 1) 高齢者の医薬品適正使用の指針 (総論編)【厚労省通知】について

医療法人社団育生会 京都久野病院 薬剤部長 益野 秀樹

2) 症例提示 (心不全、糖尿病、精神科慢性期)

医療法人社団洛和会 洛和会普羽リハビリテーション病院 薬剤部 大津山 裕美子  
医療法人社団石鏡会 田辺記念病院 臨床薬剤部 科長 南田 祐子  
医療法人栄仁会 宇治おろばく病院 医療技術室 主任 三浦 彰久

19:00~19:45

II. グループディスカッション (ワークシート形式)

19:45~20:45

III. 発表とまとめ (業務内容における施設間の意見交換を含む)

\*\*\*\*\*

◇ 日本薬剤師研修センター 1単位  
◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (JSHHP) 研修番号: V-3 15単位  
◇ PS (プロフェッショナルスタンダード) は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

京都

④  
出席者 5名  
第5回 がん薬物療法のための地域連携講習会

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 業務連携WG

日時：平成30年11月10日（土）18：20～20：40  
場所：京都府薬剤師会館 ホール  
〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町 563

次第（敬称略）

座長 京都府薬剤師会 理事（薬剤業務委員会 業務連携WG委員）  
おれんじ薬局 小林 保

18：20～19：00  
1. がん化学療法における消化器系副作用マネジメントと情報共有（病院の立場より）  
公立豊岡病院組合立 朝来医療センター 薬剤部 辻井 聡彦

19：00～19：40  
2. がん化学療法における消化器系副作用マネジメントと情報共有（薬局の立場より）  
フアークロス薬局 ふくしま 坂本 和行

19：50～20：40  
3. がん化学療法における消化器系副作用マネジメントと情報共有に関する  
スモールグループディスカッション  
【進行】 京都府薬剤師会 理事（薬剤業務委員会 業務連携WG委員）  
のぞみ薬局 京大病院前店 大垣 聡彦

\*\*\*\*\*  
◇ 日本臨床腫瘍学会認定 外来がん治療認定薬剤師 講習（研修）認定単位 1単位  
◇ 日本薬剤師研修センター 1単位  
◇ 日本薬学防薬学認定薬剤師制度（JSHHP）研修番号 Ⅱ-2 1単位  
◇ PS（プロフェッショナルスタンダード）は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

京都

①  
出席者 6名  
第1回病院薬剤業務推進研修会  
～入院時の持参薬の確認及び薬物治療の提案～

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬剤業務委員会 病院薬剤業務推進WG

日時 平成29年11月19日（日）13：00～16：00  
場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第（敬称略）

司会 三菱京都病院 薬剤部長 橋元 誠  
座長 医療法人社団石鏡会 田辺記念病院 臨床薬剤部 科長 南田 祐子

13：00～13：15  
I. 病院薬剤師会用ホシヨシメンバーの説明  
京都府薬剤師会 薬剤業務委員会 病院薬剤業務推進ワーキンググループ

13：15～14：45  
II. 実例報告「持参薬の確認及び薬物治療の提案について」  
1. 医療法人総富士会 綾部ルネス病院 薬剤科 金森 諭希  
2. 医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院 薬剤部 次長 黄前 尚樹  
3. 京都市医学部附属病院 薬剤部 吉田 優子

14：45～14：55 休憩  
14：55～15：55  
III. グループディスカッション  
テーマ：「手術前の管理、採用薬への変更、ポリファーマシー、処方提案の責任 等」

15：55～16：00  
IV. 総括  
\*\*\*\*\*  
◇ 日本薬剤師研修センター 2単位  
◇ 日本薬学防薬学認定薬剤師制度（JSHHP）研修番号：Ⅱ-1 2単位  
◇ PS（プロフェッショナルスタンダード）は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと  
考えられるPSを選択して記録してください。

第2回病院薬剤業務推進研修会 <sup>(10)</sup> 出席者 64名  
～退院時の薬物治療管理～

一般社団法人 京都府薬剤師会  
薬利業務委員会 病院薬剤業務推進WG

日時 平成30年6月3日(日) 13:00～16:00  
場所 京都府薬剤師会館 ホール

次第(敬称略)

司会 医療法人社団医聖会 学研都市病院 薬局長 小関 敦規  
座長 地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 薬剤科 村田 龍壹

13:00～14:15

I. 実例報告「退院時の薬物治療管理について」

1. 医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 薬剤部 國永 智昭
2. 医療法人社団石鏡会 田辺記念病院 臨床薬剤部 科長 南田 祐子
3. 医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院 薬剤部 次長 黄前 尚樹

14:15～15:50

II. グループディスカッション

テーマ:「退院時の薬剤管理指導、処方提案、共同指導 等」

15:50～15:55

III. 総括

15:55～16:00

IV. 閉会挨拶 京都府薬剤師会 理事 友沢 明徳

\*\*\*\*\*

- ◇ 日本薬剤師研修センター 2単位
- ◇ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度(JSHP) 研修番号:Ⅲ-1 2単位
- ◇ PS(プロフェッショナルスタンダード)は、各自、本講演会で学ぶことが出来たと考えられるPSを選択して記録してください。

大阪

年度	都道府県薬名	大阪府薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	大阪府薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	支部長会における周知	H29年度
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	予定あり	健康サポート薬局に係る研修会	R1年度
H30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	実施済み	学術研修会「薬剤師として知っておくべき薬剤耐性（AMR）」	H30年度
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>	予定なし	学術研修会「EBMとNBMを考慮した糖尿病治療戦略」	H30年度
R元年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>性と避妊</li> <li>患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	予定なし		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	予定あり	学術研修会「新しい糖尿病治療戦略」	R3年度
R2年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>成育医療と薬剤師</li> <li>セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	実施済み	学術研修会「発達症（発達障害）の理解と治療」	H31年度
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	予定あり	学術研修会「セルフメディケーションにおける薬剤師の役割と最新事情」	R3年度
			<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> </ul>	実施済み	薬業連携のための研修会	H28,29,30,R1,2年度
			<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	予定なし		

# 兵庫

都道府県薬名		兵庫県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29年度	研修テーマ	実施済み	「災害支援薬剤師研修」の開催 ※詳細は添付1のとおり	平成27年度～毎年開催
	受講者課題	実施済み	宝塚市における薬業連携のための研修会「宝つーかーの会」を宝塚支部にて先行的に実施中。令和3年度より全県に展開予定	平成27年度～毎年開催
	研修テーマ	実施済み	兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会・薬系5大学連携学術大会の開催 ※詳細は添付2のとおり	平成29年・30年度
H 30年度	受講者課題	検討中		
	研修テーマ	検討中		
	受講者課題	検討中		
R 元年度	研修テーマ	実施済み	「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」の開催（令和2年度参加者：121名）	令和元・2年度
	受講者課題	実施済み	「兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会」内で実施 ※詳細は添付3のとおり	
	研修テーマ	実施済み	※詳細は添付4のとおり	
R 2年度	受講者課題	予定なし		
	研修テーマ	実施済み	「OTC研修会」を年2回開催（令和2年度参加者：580名）	毎年開催
	受講者課題	検討中	兵庫県版 三師会お薬手帳の活用	
	受講者課題	実施済み	継続計画として、開局と病院との間で相互に人材交流を行っている。	平成30年度～

# 兵庫

## 災害支援薬剤師研修

研修会名	開催日	参加人数
災害支援薬剤師リーダー養成研修会	H28.2.20	44名
平成29年度 第1回災害支援薬剤師研修会	H29.7.23	250名
平成29年度 第2回災害支援薬剤師研修会	H30.1.27	121名
平成30年度 災害支援薬剤師研修会	H30.9.29	77名
令和元年度 災害支援薬剤師研修会	R1.12.7	72名
計		564名

# 兵庫

モーニング・ランチョンセミナーの申込み受付が始まりました！  
**兵庫県薬剤師会・病院薬剤師会連携1周年記念大会**  
 ～地域包括ケアに向けての薬業連携～

日時：平成29年8月27日(日) 9:00～17:00

場所：神戸国際会議場 神戸市中央区港島中町6-1 ポートライナー市民広場前

特別教育講演 I：『医療行政の最近の話題と薬剤師に期待するもの』

講師：兵庫県健康福祉部長 山本 光昭 氏

特別教育講演 II：『新しい時代の医療に求められる薬剤師の役割』

講師：神戸市 医療・新産業本部  
 医療政策担当部長 田宮 憲一 氏

兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会連携1周年記念シンポジウム

『山本・木平両会長と語る薬剤師の明日』

講師：公益社団法人 日本薬剤師会 会長 山本 信夫 氏  
 一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長 木平 健治 氏  
 ※後半は兵庫県薬 笠井会長、兵庫県病薬 橋田会長を交えての座談会。

**分科会** ①多職種連携 ②地域包括ケア ③薬業連携 ④臨床現場を繋ぐ研究 ⑤薬学生実務実習

**モーニングセミナー(9:00～)**

- ★ニプロ(株)「がん・私」
- ★田辺三菱製薬(株)「変身しつつある2型糖尿病治療」
- ★(株)大塚製薬工場「地域包括ケアにおける薬剤師の役割」

**ランチョンセミナー(12:00～)**

- ★日本化薬(株)「がん薬物療法から緩和ケアの服薬支援で薬剤師力を発揮するためには」
- ★第一三共(株)「糖尿病治療薬の効果と最大限に引き出す方法」
- ★ファイザー(株)「日本でのアノール系真菌薬の賢い使用法」
- ★(株)ヤクルト「抗がん剤の薬業連携」

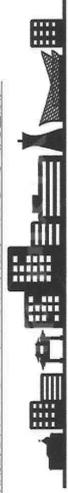
**機器展示**

- ★サノアイ(株) ★エーザイ(株) ★日本ケミコア(株) ★エムシステム ★アルモ(株)

参加費(事前登録)：会員 1,000円、非会員 8,000円、薬学生無料  
 (当日参加も受付いたしますが、会員 2,000円、非会員 10,000円となります。)

研修単位：日本薬剤師研修センター認定シール4単位(予定)、日本病院薬学認定薬剤師制度3単位(予定)

※事前に本大会の参加申込みを応募願います。  
 モーニング・ランチョンセミナーにつきましては、本大会の参加申込みをお済ませのうえ、兵庫県薬剤師会ホームページからお申込みください。(先着順)



主催：一般社団法人兵庫県薬剤師会・一般社団法人兵庫県病院薬剤師会

共催：神戸薬科大学・武庫川女子大学薬学部・神戸学院大学薬学部・兵庫医療大学薬学部・姫路獨協大学薬学部

後援：兵庫県

※講師、演題は変更になる場合がございます。

# 兵庫

当日は、  
本受講票をご持参ください。

(受講番号) 381	(分科会2) WS —	(情報交換会) —
---------------	----------------	--------------

当日は、大学の入構許可が必要なため、「守衛室」でまず、入構許可書（ネームホルダー）の発行を行います。その後、受講受付を5号館ききよう記念ホール前で行います。  
また、情報交換会参加者は、ききよう記念ホール前受付にて会費を徴収いたします。できるだけおつりがないようご協力願います。

## 第2回兵庫県薬剤師会・病院薬剤師会・薬系5大学 連携学術大会 受講票

【日時】平成31年3月3日（日）  
受付 12:00～13:00  
シンポジウム 13:00～14:00  
分科会 14:15～16:15  
情報交換会 16:30～

【場所】神戸薬科大学  
（兵庫県神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号）

- 13:00～14:00 シンポジウム「薬事申請者の大回団結」 5号館 ききよう記念ホール
- 14:15～16:15 分科会

1. 「兵庫薬局ビジョン事業 地域医療を支えるキーパーソンを目標して」 5号館 ききよう記念ホール
2. 「教育を語ろう！ 教育を愛しよう！ ～学生と創ろう薬剤師の未来！」 11号館4階 第2演習室
3. 「兵庫県薬剤師会災害支援活動と南海トラフ地震発生に備えて～その叫ぶ薬剤師はどう動く？～」 4号館3階 K430
4. 「入院から外来・在宅医療へ 期待される連携の在り方～情報薬剤師からかかりつけ薬剤師へ～」 4号館4階 K440
5. 「大学と臨床現場を繋ぐ研究～臨床現場の課題解決を目指して～」 4号館5階 K450

※学内駐車場は利用できませんので、  
公共交通機関をご利用ください。

■JR「塚本山」駅  
阪急電鉄「岡本」駅より北東へ徒歩15分  
■JR「甲南山手」駅より北西へ徒歩13分  
■阪神電鉄「深江」駅より北へ徒歩20分

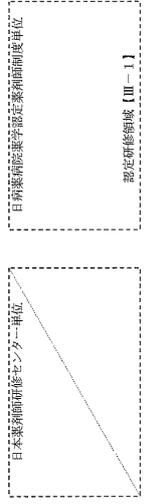


神戸薬科大学キャンパス

5号館ききよう記念ホール  
守衛室

★受講される方へ★  
受講料の記載に間違いがある方は、兵庫県薬剤師会事務局までご連絡下さい。TEL 078-341-7865  
また、気象警報発令時（予知時）の講習会の開催の有無については、開催日の午前7時までに兵庫県薬剤師会ホームページへ掲載しますので必ずご確認ください。

# 兵庫



## 令和2年度 第1回 兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会

日時：令和2年8月22日（土）15:00～16:30  
場所：兵庫県中央労働センター 大ホール

【座長】兵庫県病院薬剤師会 常任理事 志方 敏幸

1. 開会挨拶（15:00～）  
兵庫県病院薬剤師会 会長 室井 延之

2. 講演（15:05～）

『感染症対策と緩和ケア』  
講師：市立芦屋病院 薬剤科 部長 岡本 禎晃 先生

3. 閉会（16:30）

兵庫

令和2年度 第3回  
兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会

日時：令和2年10月3日（土）18：00～19：30  
場所：兵庫県中央労働センター 大ホール

【歴 長】兵庫県薬剤師会 常務理事  
兵庫県病院薬剤師会 副会長 金 啓二

1. 開会挨拶 (18：00～)

2. 講演 (18：05～)

『死にゆく人の心によりそう  
～現場で心がけるスピリチュアルケア～』

講師：一般社団法人大慈学苑  
代表理事 玉置 妙憂 先生

3. 閉 会 (19：30)

兵庫

令和2年度 第4回  
兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会

日時：令和2年11月28日（土）15：00～16：30  
場所：兵庫県民会館 けんみんホール

【歴 長】兵庫県薬剤師会 常務理事  
兵庫県病院薬剤師会 副会長 金 啓二

1. 開会挨拶 (15：00～)

2. 講演 (15：05～)

『病院から地域へつなぐ栄養療法と薬剤師の役割』

講師：神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部長代行  
神戸市立神戸アイセンター病院 薬剤部長  
室 井 延 之 先生

3. 閉 会 (16：30)

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進  
兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防にご協  
力をお願いします。また、下記のURL からポスター等のデータ（PDF）をダウンロードいただき、患  
者さんへ「ひょうごスタイル」の啓蒙を目的とした、チラシの配布、ポスターの掲示をお願いします。  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

令和2年度 第6回  
兵庫薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会

日時：令和3年1月16日（土）15：00～16：30  
場所：兵庫県中央労働センター 大ホール

【座長】兵庫県病院薬剤師会 理事 依藤 健之介

1. 開会挨拶 (15：00～)

2. 講演 (15：05～)

『がん薬物療法のABC：処方と副作用の見方』

講師：神戸市立医療センター中央市民病院  
薬剤部 副部長 池 末 裕 明 先生

3. 閉 会 (16：30)

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進  
兵庫の新たな生活様式「ひょうごスタイル」を取り入れ、新型コロナウイルス感染拡大予防にこ  
力を発揮します。また、下記URLからポスター等のデータ（PDF）をダウンロードでき、患  
者さんへ「ひょうごスタイル」の啓蒙を目的とした、チラシの配布、ポスターの掲示をお願いします。  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

はじめに

兵庫薬剤師会では、令和元年度薬局機能強化・連携体制構築事業として「薬局薬剤師と病院薬剤師の  
連携（薬業連携）等の地域連携を担う人材育成事業」を行った。

【主な事業内容】

- 1 入退院時共同カンファレンスの推進の検討・推進  
前年アンケート調査において「患者の入退院時における、薬局薬剤師側、病院薬剤師側での医療関  
係者間での情報提供の有無および入退院時の共同カンファレンスの問題点・課題を改善し、実際に  
入退院時共同カンファレンスの推進策をモデル支部で検討・実施する。
- 2 病院薬剤師主導で地域薬剤師対象の処方解析カンファレンスの開催及び外来患者に対するチェッ  
シートを用いた薬剤師間の患者情報の共有の検討及び人材育成のための研修会の開催  
ア モデル支部（既存4支部、新規2支部）の選定、対象病院の選定  
イ モデル支部における共同カンファレンスの実施  
ウ モデル支部での会議  
エ チェックシートの作成  
オ 人材育成研修会  
カ チーム医療を推進するための薬業連携における人材交流  
キ 病院薬剤師⇄薬局薬剤師（薬剤師の一定期間交換留学）  
ク モデル支部（既存4支部、新規2支部）の選定  
コ 薬局薬剤師の病院研修の実施および報告（研修期間の目安2日）  
ク 病院薬剤師の抗がん剤のミキシング、病棟薬剤指導への同行、入退院時のカンファレンスへの参加 等  
（研修例）  
ク 病院薬剤師の薬局研修の実施および報告（研修期間の目安2日）  
（研修例）通常の調剤および服薬指導、在宅訪問への同行、OTC販売、サブプライメントの販売 等  
4 患者の入退院時における、薬物療法・患者情報について施設間で情報共有するための情報提供書  
の運用  
ア モデル支部での運用の実施  
イ 会員薬局、会員病院に対して運用状況等のアンケートを実施  
5 本事業実施報告書の作成（各都道府県薬剤師会、会員薬局および県下病院薬剤部に配付）  
6 ビジョン委員会の立ち上げ、事業詳細の協議及びモデル支部への事業説明会の実施  
ア ビジョン委員会会議  
イ 全体説明会会議  
「チーム医療を推進するための薬業連携における人材交流」については昨年度の事業において、薬局薬  
剤師、病院薬剤師双方からの評価が高く、本年度は昨年度の実施支部に加え新たに伊丹・川西、但馬の2  
支部を加え、計6支部へ地域を拡大して人材交流や研究会等を行った。昨年度未実施であった入退院時共  
同カンファレンスおよび処方解析カンファレンスについては延べ8回行い、地域支援型退院支援カンファ  
レンス等、多職種との連携を図ることができた。外来患者に対するチェックシートについては「化学療法  
と「糖療病」の2種類の作成を検討したが、活用するまでには至らず、自身の見直し及び周知方法等が今  
後の課題として残された。本年度事業においては薬業連携の更なる強化及び多職種連携の推進に一定の成  
果を上げることができた。今後は本事業の成果を踏まえ、医薬品医療機器等法改正にむけてエビデンスを  
構築していきたい。

令和2年2月  
一般社団法人兵庫県薬剤師会  
会長 笠井 秀一

奈良

都道府県薬名	奈良県薬剤師会		取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	研修テーマ、受講者課題 ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	予定なし	県薬務課・県医師会との共催にて県内の医師・薬剤師対象のポリファーマシー研修会を開催した。講師には日本老年医学会より専門家を招いた。参加人数は平成30年度270人、平成31年度（令和元年度）305人 令和2年度はコロナ禍により中止	平成30年度・31年度（令和元年度）
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み		
H30年度	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	予定なし	令和元年度に「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を県内の薬局勤務薬剤師に向けて実施。奈良県産婦人科医学会より講師を招いた。参加者は90人。令和2年度はコロナ禍により中止。	
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中		
	研修テーマ	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定なし		
R元年度	研修テーマ	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	令和元年度に「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を県内の薬局勤務薬剤師に向けて実施。奈良県産婦人科医学会より講師を招いた。参加者は90人。令和2年度はコロナ禍により中止。	令和元年度
	受講者課題		検討中	既存している定期的開催の生涯研修セミナーとして内容検討や地区単位での開催等、研修方法も含めて検討中。	

奈良

	<p>・成育医療と薬剤師 ・セルフメディケーションと薬剤師</p>	<p>予定なし 予定なし</p>	
<p>R2度</p>	<p>研修テーマ</p> <p>・医療機関と薬局の連携について</p>	<p>検討中</p>	<p>「顔の見える連携の構築」病院・薬局入退院時連携ワークショップを開催し、互いに必要な情報や方法を話し合う機会を設け、入退院時における一層の連携体制の構築を行う。</p> <p>コロナ禍ではあるが、顔の見える関係の構築のためには講義形式ではなくSGD形式での話し合いの場を設ける必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が実施している勉強会などの参加</li> <li>・薬学生の実習発表会などを病院と地区薬局共同で行う。</li> <li>・MSWやケアマネジャーを含めた症例検討会の企画と実施</li> <li>・多職種での模擬患者の事例検討会の実施</li> </ul> <p>などをきっかけにしてお互いに顔の見える関係を作る。</p>
<p>受講者課題</p>	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	<p>検討中</p>	<p>「ICTなどを活用した連携の構築」 各地区で構築が始まっているICT（患者を中心にした他職種連携ネットワーク）への積極的な参画と患者登録の積極的な勧誘を行う。 また、構築できていない地区への積極的なサポートを行う 更に、ICTによるネットワークの各地区の状況の収集を県薬が行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒地区・・やまと西和ネット</li> <li>・宇陀市・・宇陀ネット(モデル事業)</li> <li>・吉野地区・・ICTの構築を検討する方向で考えなければいけない</li> </ul> <p>この様なICTや連携事業を、積極的に告知及び勧誘を行う選任のスタッフを作る。 (各地区における選任)</p> <p>「連携構築のためのツール構築」 県薬として、病院薬剤師会と協力し合い連携ツールの作成、多職種も含めた薬業連携の理解と推進について県を巻き込んだ市の市への働きかけ要請。 ある一定のひな形を県として作成する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報提供書のフォーマット作成</li> <li>○病院と薬局のグループの作成（重複する場合もあり）</li> <li>○グループ内の懇親会の開催</li> </ul>

# 和歌山

年度	都道府県薬名	和歌山県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	災害薬事リーダー養成講習会（40名）	2019
	受講者課題		薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	検討中		
H 30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	実施済み	第11回和歌山県薬剤師会生涯研修会（62名）	2018
	受講者課題		研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>性と避妊</li> <li>患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	予定なし		
R 元年度	研修テーマ		外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会（170名）	2019
	受講者課題		成育医療と薬剤師	検討中		
R 2年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	予定なし		
	受講者課題		受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中		
				予定なし		

# 鳥取

年度	都道府県薬名	鳥取県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	鳥取県薬剤師会災害対策委員会が、感染症対策講習会を開催。	令和2年度
	受講者課題		薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	検討中		
H30年度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> </ul>	検討中		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> <li>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>	予定あり	鳥取県薬剤師会医薬分業対策委員会が、本研修テーマ及び研修シラバスを参考にした研修会を定期的に開催予定。	令和3年度
	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>性と避妊</li> <li>患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	実施済み	鳥取県薬剤師会倫理審査委員会が、研究倫理審査に関する講習会を開催。	令和元年度
R元年度	受講者課題		外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	鳥取県薬剤師会地域保健委員会が、薬局におけるHbA1c検体測定事業に関する研究計画書を作成し、倫理審査にかけた。	令和2年度
	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>成育医療と薬剤師</li> <li>セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	検討中		
R2年度	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	検討中		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	検討中		

# 島根

都道府県薬名	島根県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	予定あり	災害医療研修会（薬剤師による活動）の開催 参加者：病院薬剤師110名	2020年度
	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定あり	ポリファーマシー研修会（施設の取り組み）の開催 参加者：薬局薬剤師70名、病院薬剤師48名、計118名	2020年度
H30年度	受講者課題	薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定あり	糖尿病チーム医療を考える会（トレーニングレポートの様式・運用方法検討）の開催 参加者：薬局薬剤師・病院薬剤師・医師、約25名	2018年度～2019年度
	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策	予定なし		
	研修テーマ	・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	予定あり	医療保険部会研修会（薬歴管理等について）開催 参加者：薬局薬剤師94名、病院薬剤師11名、行政薬剤師2名、実習生2名、計109名	2019年度
	受講者課題	・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	予定なし		
R元年度	研修テーマ	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定あり	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催 参加者：薬局薬剤師129名	2019年度
	受講者課題	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	予定あり	糖尿病チーム医療研修会（トレーニングレポート活用事例）の開催 参加者：薬局薬剤師79名、病院薬剤師24名、計103名	2020年度
R2年度	受講者課題	・成育医療と薬剤師 ・セルフマネジメントと薬剤師 ・医療機関と薬局の連携について	予定あり	同上	
	研修テーマ	・医療機関と薬局の連携について	予定なし		
	受講者課題	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	予定あり	地域連携フォーラム（地域での共通プロトコルの運用）の開催 参加者：薬局薬剤師61名、病院薬剤師33名、計94名	2020年度
	受講者課題	都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中		

岡山

都道府県薬名	岡山県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組(予定含む)の具体的内容	左記の実施年度
年度	岡山県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組(予定含む)の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	岡山県薬剤師会	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	<p><b>令和元年度・2年度(予定) 災害薬事コーディネーター育成事業 (岡山県委託事業)</b></p> <p><b>令和元年度</b></p> <p>①災害薬事コーディネーター育成研修会3回開催(第1回 災害薬事基礎研修(PhDs) 令和元年6月16日/第2回 災害時の医薬品の流通体制構築に関する研修会 令和元年9月1日/第3回 美災害を想定したシミュレーション研修 令和2年1月12日・13日)</p> <p>②他県の災害関連研修の視察:3回の研修で延べ147名参加 3名を統括災害コーディネーター兼地域災害薬事コーディネーターに、39名を地域災害薬事コーディネーターに推薦し県の承諾を受けた。宿泊研修では実践形式の研修によって疑似体験することができ、初動の重要性、災害時の特殊環境、災害時の災害薬事関連課題の対応など、机上では得られない体験ができた。</p> <p><b>令和2年度</b></p> <p>①災害薬事コーディネーター育成研修会2回開催(第1回 岡山県災害医療体制研修 令和2年9月27日 29名参加/第2回 災害薬事基礎研修 令和2年11月3日 26名参加)</p> <p>②災害薬事コーディネーターフォローアップ研修会I回開催(zoomによるオンライン研修会 令和3年2月14日 29名参加)</p> <p>③研修会では、災害時の基礎知識、災害のイメージ習得等各種シミュレーションを通じて、意識の共有ができた。また、多職種との連携の重要性が理解でき、災害ロジスティクスの考え方、クロノロジー実践を行うことでの災害イメージの習得ができた。</p> <p>フォローアップ研修会では、医薬品の供給体制の確立、救護所・避難所・地域災害保健医療調整本部での医薬品の発注シミュレーションを行い更に理解が深まった。クロノロ・ToDoリストの重要性を理解、実践ができた。</p> <p><b>令和3年度(予定)</b></p> <p>■実施予定内容</p> <p>災害薬事コーディネーターを育成するため、岡山県内の薬剤師向けに、合計3回の研修会を実施。『災害薬事の基礎知識』『通常及び災害時の医薬品流通体制』『被災地で必要とされる薬剤師及び医薬品の調整のための情報収集力及び判断力』を習得することを旨とする。</p>	令和元年度・2年度 令和3年度(予定)
H30年度	岡山県薬剤師会	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療的知識・技術(臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策)	実施済み	<p><b>H30年度</b></p> <p>岡山県北の中核病院薬剤部と連携し、「多職種連携を利用した分割調剤による服薬管理がもたらす薬物療法の実施」という内容で、病院薬剤部を中心に地域が多職種と連携しポリファーマシー解消の取組実施</p> <p><b>H31年度</b></p> <p>「多職種連携・分割調剤を活用した継続的な薬学管理・適切な薬物療法の実施」という内容で、医師を始めとしたその患者にかかわる医療・介護・福祉関係者との連携や生理学的検査値・血液学的検査値・ガイドライン・減薬プロトコルなどを活用し、適切な薬物療法を実施することでポリファーマシー解消を実施した。</p>	H30年度・31年度

<p>H29年度</p>	<p>受講者課題</p>	<p>実施済み</p>	<p>事前課題を動画で配信し、研修会参加前に研修の目的及び講義に必要な基本事項を確認していただき、事前課題をGoogleフォームで提出していただいた後に、研修会へ参加して頂いた。研修会での講義及びグループワークはすべてWebで行い、課題提出は、事前課題と同様Googleフォームを用いて提出していただく形とした。なお、地域での研修会の参加者がファシリテーターとなり、研修会などを開催して頂けるように、研修を開催するための資料（講義用資料及び配布用資料）を作成し、ファイル形式で参加者全員及び支部長に提供した。また、支部長会において、各支部で今回提出いただいた課題（薬業連携・他職種連携の推進・チーム医療の実践につながる場の立案）を参加者及び支部長に提出し、併せて研修会開催のための支部での予算立てをしていただき、支部・地域で実践して頂くように依頼した。</p> <p>研修修了後に、事後課題（薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案）を提出して頂いた参加者（36名）に研修修了証をお渡した。</p> <p>【タイムスケジュール】</p> <p>09:00～09:05（5分） 事前確認事項（研修会参加時のルール）【プロローグ】次世代薬剤師育成研修会参加ルール</p> <p>09:10～09:50（40分） 講義用スライド資料・参考資料①～④【エピソード1】講義を実際に体験してみよう ポリファーマシーについて考えてみよう！～手法の活用方法と基本的な考え方～</p> <p>09:50～09:55（5分）【アレイクタイム】休憩（準備）</p> <p>09:55～11:25（90分）【エピソード2】グループワークを実際に体験してみよう</p> <p>09:55～10:00 グループ分け アイスブレイク（自己紹介・役割分担）（5分）</p> <p>（1）グループディスカッション1～情報収集～（20分）</p> <p>10:00～10:05 症例説明</p> <p>10:05～10:20 情報シート1・グループディスカッションシート1～情報収集～ を使用してSGD</p> <p>（2）グループディスカッション2～処方見直しの検討～（30分）</p> <p>10:20～10:25 症例説明</p> <p>10:25～10:50 情報シート2・グループディスカッションシート2～処方見直しの検討～ を使用してSGD （情報シート2の封筒は指示があるまで開けないこと！）</p> <p>（3）グループディスカッション3～服薬支援と必要な連携～（15分）</p> <p>10:50～11:05 グループディスカッションシート3～服薬支援と必要な連携～を使用してSGD</p> <p>（4）グループ発表（20分）</p> <p>11:05～11:25 1グループ3分以内×5グループ程度</p> <p>11:25～11:30（5分）【アレイクタイム】休憩（準備）</p> <p>11:30～11:55（25分）講義用スライド資料・参考資料⑤【エピソード3】ポリファーマシーと薬剤師の果たすべき役割</p> <p>11:55～12:00（5分）提出課題の案内（Googleフォームを使用しての提出）【エピソード4】研修会の活用方法と次世代を担う薬剤師の皆様へのお願い</p>
			<p>令和2年度</p>

岡山

H30年度	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策	実施済み	<p><b>平成29年度・平成30年度・平成31年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AMRに関する第1回研修会</li> </ul> <p>アンケート調査を行いAPAMRの認知度が低いこと、薬剤耐性を意識しながらも職能を発揮できていない薬剤師が多くいることが明らかとなり、継続的にAMRに関する講習会を開催する必要性があると考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AMRに関する第2回研修会</li> </ul> <p>薬剤師のAMRに関する意識変化を確認するためのアンケート調査を行った結果、第1回・第2回と継続して参加した参加者の方がAMRに関する取組が高いという結果が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AMRに関する第3回研修会</li> </ul> <p>吐瀉物処理の体験・AMR啓発がスター作製のワークショップを開催した。</p> <p>第1回から第3回の講習会を通して、継続した講習会の開催は薬剤師の職能発揮に有益であると考えられる。しかし、医療を提供する側、受け取る側共に抗菌薬の適正使用の理解がまだまだ広まっておらず、AMRに関する取組を1つ1つ続けていくことが大切である。</p> <p>■今後薬剤師として取り組んでいくべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な抗菌薬を選択</li> <li>○適切な期間</li> <li>○適切な投与ルート</li> <li>○投与することが重要</li> </ul> <p>AMR対策アクションプランの目標を達成したとしても、薬剤師・薬局としての役割はまだまだあります。</p>	平成29・30・31年度
		実施済み	<p>患者の状態や訴え（コンプライアンス・生理学的検査値・血液学的検査値・生活5領域・多職種からの情報など）、エビデンス、診療ガイドライン、減薬プロトコル、高齢者の安全な薬物療法ガイドラインからポリファーマシー状態を検討し、処方提案においてポリファーマシーの解消を図るといった取組を実施</p> <p>H30年度は「患者のための薬局ビジョン推進事業」、H31年度は「地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業」を、岡山県薬剤師会の事業として実施し、中四国学術大会や日本薬剤師会学術大会にて発表</p> <p>「平成30年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」にて取組発表</p> <p>実施報告書の作成により、研究計画・実施計画・結果などについて横展開</p>	H31年度
R元度	研修テーマ 受講者課題	実施済み	<p><b>H30年度</b></p> <p>岡山県薬剤師会として「患者のための薬局ビジョン推進事業」にて研究計画の立案・倫理審査・計画書の作成</p> <p><b>H31年度</b></p> <p>岡山県薬剤師会として「地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業」にて研究計画の立案・倫理審査・計画書の作成</p>	H30年度・31年度
		予定なし		
		検討中	<p>県社会保険委員会で「服薬指導と服薬期間中の継続的なフォロー業務」と「薬歴管理」に関する県薬会員向け資料を作成をするため検討を行っている</p>	令和2年度
R元度	研修テーマ 受講者課題	予定なし		
		予定なし	<p>外来・入院時退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出</p>	

岡山

R 2 度	<p>・ 成育医療と薬剤師 ・ セルフメディケーションと薬剤師</p>	<p>予定なし 実施済み</p>	<p>・ 研修会の開催 (2019 43名, 2020 38名) ・ 会員薬局へ一般用医薬品の取り扱い等に関する調査実施 (2019 回答数579/795薬局, 2020) ・ 研修会参加者(保険薬局等)へ一般用医薬品の取り扱い等に関するアンケート実施 (2020 34名, 2021 29名) ・ 県薬HPへ研修会の成果物・レポート等を抽出・分析し、掲載</p>	<p>令和元年度・令和2年度</p>
<p>研修テーマ ・ 医療機関と薬局の連携について</p>	<p>実施済み</p>	<p>地域包括ケアの観点から、患者・地域住民の安全な薬物療法を確保するためには、通院・入院・在宅と様々なステージに移り変わっていく中で、どのステージに移る際にも切れ目のないシームレスな薬物療法が不可欠である。そのためには、医薬品の使用状況を一元的・継続的に把握することが重要であり、薬局と病院・診療所間の情報共有と連携を充実させ、患者・地域住民の安全な薬物療法を確保することができると期待される。薬局薬剤師は、処方薬と患者からの情報を元に病態を判断し、疑義照会を行い、薬剤変更や減薬提案、副作用防止、残薬調整など患者の不利益を回避して投薬している。すなわち、プレアポイドを日常的に行い、また、トレーシングレポートを用いて病院・診療所とそれらの情報共有を実施することにより薬剤師としての役割を發揮している。一方、プレアポイド報告書及びトレーシングレポートを紐付け利用する仕組みはなく、これまでこれらの情報を活用した薬局薬剤師職能の見える化は十分ではなかった。そこで、岡山県薬剤師会安全管理特別委員会ではPharma-PROs® (薬局版プレアポイド報告書とトレーシングレポート)とを紐付けたシステム)を作成し、岡山県内の保険薬局での運用を試み、薬局プレアポイド事例を収集している。医療機関との連携を推進するため、収集した薬局プレアポイドの優良事例の共有し、また、Pharma-PROs®を使用することによりトレーシングレポートの使用が優位に増加 (使用前の1.62倍：中国四国支部学術大会にて公表済み) しており、医療機関と薬局の連携の推進に寄与していると考えられる。対象者は一般社団法人岡山県薬剤師会会員2000人である。</p>	<p>令和2年度</p>	
<p>受講者課題</p>	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	<p>実施済み</p>	<p>病院薬剤師は地域医療構想を基に業務に取り組むことが多く、薬局薬剤師は地域包括ケアを基に業務に取り組んでいることが多いことから、同じ薬剤師でも業務内容が異なることは想像に難くない。プレアポイドの情報に関しても同じことがいえる。病院薬剤師は年間数万件のプレアポイド事例を収集し、優良事例を共有しているが、薬局薬剤師の薬局プレアポイド事例の収集及び優良事例の公開が十分ではない。薬局プレアポイドを収集し、優良事例を公開し、病院薬剤師と事例を共有することが薬業連携の推進につながると考え、岡山県薬剤師会安全管理特別委員会ではPharma-PROs® (薬局版プレアポイド報告書とトレーシングレポート)とを紐付けたシステム)を作成し、薬局プレアポイド報告の収集を行っている。また、事業の推進のために、医薬品安全管理研修会を年2回開催し、Pharma-PROs®の使用促進及び薬局プレアポイドの重要性などを継続的に伝え、薬業連携の実践につなげている。また、優良事例の共有のみならず、収集したデータのエビデンス化を行い、学会発表、論文発表をおこなうことで、薬剤師職能の向上にもつなげる予定である。なお、対象者は一般社団法人岡山県薬剤師会会員2000人である。</p>	<p>令和2年度</p>

広島

年度	都道府県薬名	広島県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会において、参加者に伝達。</li> <li>・災害対策委員会の活動への反映</li> </ul>	H30
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの開催（ポリファーマシー対策に向けて～必要な視点と考え方～ 講師：広島大学病院薬剤部 日本老年薬学会 評議員 柴田 ゆうか先生）</li> <li>・病院薬剤師会と合同で特別委員会設置(H29)</li> <li>・各地域薬剤師会長への説明会(H29)</li> <li>・連携を作るための研修会の実施(H30)</li> <li>・各地域薬剤師会/基幹病院薬剤師による地域担当者会議立ち上げ。運営支援(H30)</li> <li>・活動報告会の実施(H31)</li> <li>・Web研修会の実施に向けたzoomの使用法研修会(R2)</li> </ul>	H30 H29～R2
H30度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> </ul>	予定なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会開催（「薬学的視点による患者対応・処方提案ができる薬剤師を作るには～高血圧～」講師 早川 達先生）</li> </ul>	R1
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	予定なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会において、AMR対策と合わせて参加者に伝達</li> </ul>	R1
R元度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	予定なし		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> </ul>	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会「アフターフォローを含めた糖尿病治療」講師：広島大学病院 薬剤部 大東 敏和 先生、みわ薬局 栗原 鑑三 先生</li> </ul>	R2
R2度	研修テーマ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフマネジメントと薬剤師</li> </ul>	予定なし		
	受講者課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	予定あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報連携の実践に向けて</li> </ul>	R3
			<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	検討中		

別紙1

式次第

平成30年10月21日(日) 10:00~16:00

広島県薬剤師会館 2階在宅研修室、ホール(分館後側)

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:05 開会挨拶
- 10:05~10:25 説明：次世代薬剤師特別委員会WGについて (20分)
- 10:25~11:25 次世代薬剤師指導者養成のためのワークショップ  
 講義：ポリファーマシー対策に向けて～必要な視点と考え方～  
 講師：広島大学病院 薬剤部  
 日本老年薬学会 評議員 柴田 ゆうか先生 (60分)
- 11:25~12:10 昼食：(45分)
- 12:10~14:10 SGD：グループディスカッション1 ～服薬支援と必要な連携～ (120分)  
 i)処方監査や処方提案に向けた医療薬学的知識の充実  
 ii)医療薬学的知識を背景とした重複投与・多剤投与回避のための手法を用いた一元的継続管理と医薬品の適正使用の確保に向けた取り組み
- 14:10~14:25 発表 (15分)
- 14:25~14:30 講師よりコメント (5分)
- 14:30~14:40 休憩 (10分)
- 14:40~15:40 SGD：グループディスカッション2 ～地域で活かす方策について～  
 地域に戻って、研修会を実行に移すには (60分)
- 15:40~15:50 発表 (10分)
- 15:50~15:55 委員よりコメント (5分)
- 15:55~16:00 閉会挨拶 広島県薬剤師会 専務理事 村上信行 (5分)

10/21 次世代薬剤師特別委員会WG研修会 出欠表

所属	氏名	所属	研修会	連盟フォーラム	研修会	連盟フォーラム
広島	吉川 明良	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 薬剤部	○	○	○	○
	谷塚 智美	マツダ株式会社 マツダ病院 薬剤部	○	○	○	○
	古谷 智裕	地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院 薬剤部	○	○	○	○
	山崎 真司	JA広島総合病院	○	○	○	○
	高田 正弘	独立行政法人国立病院機構 鳥取県センター中国がんセンター 薬剤部	○	○	○	○
	中村 謙	独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院 薬剤部	○	○	○	○
	藤光 探武	福山市立病院 薬剤科	○	○	○	○
	徳本 和哉	広島県厚生連 JA尾道総合病院 薬剤部	○	○	○	○
	宮本 英輔	市立三次中央病院 薬剤科	○	○	○	○
	熊澤 崇	市立三次中央病院	○	○	○	○
10	10	9	6			
広島	栗原 正亮	ここみ薬局	○	○	○	○
	水谷 浩	鞍田薬局	○	○	○	○
	山田 篤志	中筋アトム薬局	○	○	○	○
	新井 博康	口田薬局	○	○	○	○
	戸口 拓士	船越町とんぼり薬局	○	○	○	○
	小山田 和尚	格瀬島	○	○	○	○
	大井 健太郎	ワラワ薬局 鞆山店	○	○	○	○
	大竹 大祐	大竹ヘルシー薬局	○	○	○	○
	石本 康代	ミント薬局	○	○	○	○
	竹島 勇吾	竹島天命薬局	○	○	○	○
大塚 茂建	オーツカ薬局II	○	○	○	○	
正田 健作	鳥記念病院	○	○	○	○	
片山 康至	エンゼル薬局	○	○	○	○	
井上 真	こころ薬局	○	○	○	○	
森下 菜	三原薬剤師会センター薬局	○	○	○	○	
西中 崇	三原薬剤師会センター薬局日赤本店	○	○	○	○	
田邊 厚達	あい薬局 田辺健康館	○	○	○	○	
山田 真弘	フアーマン薬局 鞆駅前	○	○	○	○	
小森山 雅士	因島高瀬利師センター薬局	○	○	○	○	
藤澤 浩人	フアーマン薬局三次	○	○	○	○	
20	20	18	18			
委員外	村上 信行		○	○	○	○
	青山 隆之		○	○	○	○
	今井 圭介		○	○	○	○
	大東 聡和		○	○	○	○
	竹本 貴明		○	○	○	○
	豊見 敬		○	○	○	○
	平本 敬大		○	○	○	○
	柴田 ゆうか		○	○	○	○
	7	7	6	6		
	合計	37	33	31		

式次第

2019年4月14日(日) 13:00~  
ホテルグランヴィア広島 3階 天平

薬剤師連盟

13:00~13:05 開会挨拶 広島県薬剤師会 会長 豊見 雅文  
13:05~13:45 「なぜ政治活動が大切なのか」 広島県薬剤師連盟 副幹事長 竹本 貴明  
13:45~14:00 休憩

次世代指導薬剤師特別委員会 報告会

14:00~14:05 趣旨説明 次世代指導薬剤師特別委員会 委員長 平本 敦大  
14:05~15:35 地域活動報告 グループ1 (福山地区 / 竹原・三原地区 / 安佐地区)  
グループ2 (三次地区 / 尾道・因島地区 / 呉地区)  
グループ3 (中区・南区・東区・安芸・東広島地区 / 西区・広島佐伯・廿日市・大竹地区)

15:35~15:45 休憩  
15:45~16:45 SGD テーマ:地域の報告を聞いて決定します

16:45~16:55 2月10・11日 全国会議(日本薬剤師会次世代薬剤師指導者研修会)報告 広島県薬剤師会 常務理事 有村 典謙

16:55~17:00 閉会挨拶 広島県薬剤師会 専務理事 村上 信行

(受講番号) 381	(分科会2) WS —	(情報交換会) —
---------------	----------------	--------------

当日は、

本受講票をご持参ください。  
当日は、大学の入構許可が必要のため、「守衛室」でまず、入構許可書(ネームホルダー)の発行を行います。その後、受講受付を5号館ききよう記念ホール前でを行います。  
また、情報交換会参加者は、ききよう記念ホール前受付にて会費を徴収いたします。できるだけおつりがないようご協力願います。

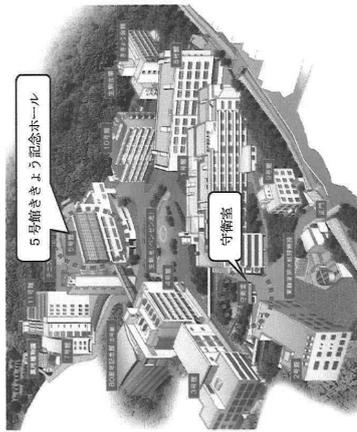
第2回広島県薬剤師会・病院薬剤師会・薬系5大学  
連携学術大会 受講票

【日時】平成31年3月3日(日)  
受付 12:00~13:00  
シンポジウム 13:00~14:00  
分科会 14:15~16:15  
情報交換会 16:30~

【場所】神戸薬科大学  
(兵庫県神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号)

- 13:00~14:00 シンポジウム「薬事関係者の大同団結」 5号館 ききよう記念ホール
- 14:15~16:15 分科会 5号館 ききよう記念ホール
- 1. 「兵庫県薬局ビジョン事業 地域医療を支えるキーマンシップ」を目標として 1.1号館4階 第2演習室
- 2. 「教育を語る！教育を築もう！～学生と創ろう薬剤師の未来」 4号館3階 K430
- 3. 「兵庫県薬剤師会災害支援活動と南海トラフ地震発生に備えて～その時薬剤師はどう動く?～」 4号館4階 K440
- 4. 「入院から外来・在宅医療へ 期待される連携の在り方～病院薬剤師からかかりつけ薬剤師へ～」 4号館5階 K450
- 5. 「大学と臨床現場を繋ぐ研究 一臨床現場の問題解決を目指して～」 4号館5階 K450

神戸薬科大学キャンパス



※学内駐車場は利用できませんので、  
公共交通機関をご利用ください。

- JR「京塚本山」駅、  
阪高電鉄「岡本」駅より北東へ徒歩15分
- JR「甲南山手」駅より北西へ徒歩13分
- 阪神電鉄「深江」駅より北へ徒歩20分

★受講される方へ★

受講料の記載に間違いがある方は、兵庫県薬剤師会事務局までご連絡下さい。TEL. 078-341-7505  
また、気象警報発令時(予測時)の講習会の開催の有無については、開催日の午前7時までに兵庫県薬剤師会ホームページへ掲載しますので必ずご確認ください。

広島

薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた研修会 次第

日 時：令和元年 9 月 22 日 (日) 12:00～15:30  
 会 場：広島県薬剤師会館 2 階 ふたばホール

12:00～12:05 閉会挨拶

広島県薬剤師会 常務理事 平本 教大

12:05～13:00

「薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた全国会議」(日本薬剤師会・9 月 1 日開催)の報告と今年度の次世代の取り組みについて

広島県薬剤師会 理事 秋本 伸  
 広島県病院薬剤師会 理事 荒川 隆之

13:00～15:25 講義「薬学的視点による患者対応・処方提案ができる薬剤師を作るには」

～課題「高血圧」～  
 北海道科学大学 薬学部 薬学科 臨床薬学部門 薬物治療学分野 教授  
 臨床薬学部門長 薬剤師生涯学習センター長 早川 達 先生

15:25～15:30 閉会挨拶

広島県薬剤師会 常務理事 平本 教大

広島

薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた研修会 出席者名簿

次世代指導薬剤師特別委員会に係る地域担当者

所属支部	氏名	所属	出欠
広島	吉川 明良	広島市立広島市民病院 薬剤部	×
	谷保 智美	マツダ病院 薬剤部	○
	古谷 智裕	広島市立安佐市民病院 薬剤部	○
呉	山崎 貴司	JA広島総合病院 薬剤部	○
	高田 正弘	呉臨海センター 中国がんセンター 薬剤部	×
東	中村 護	中国労災病院 薬剤部	○
	森光 保武	福山市民病院 薬剤科	○
	徳本 和哉	JA尾道総合病院 薬剤部	○
	中村 豪志	中国中央病院 薬剤部	×
北	津田 修一	三原市医師会病院 薬剤科	×
	宮本 晃輔	市立三次中央病院 薬剤科	○
	熊澤 素	市立三次中央病院 薬剤科	○

8

各地域薬剤師会 研修担当者

支部	出席者	出欠
広島	形部 弘文	○
安佐	山田 篤志	○
安芸	北谷 修一	○
広島佐伯	藤原 優	○
大竹	神田 龍明	○
廿日市	石本 晃一郎	○
東広島	若村 典義	○
呉市	松村 智子	○
竹原	片山 康至	○
福山	田口 直子	○
三原	宗廣 秋路	○
尾道	田邊 厚雄	○
因島	寺西 俊雄	○
三次	豊多 修文	○
行政	上田 健太	○

15

広島県青年薬剤師会

役職	氏名	出欠
会長	石本 新	○
副会長	佐々木 蕭英	○

2

次世代指導薬剤師特別委員

役職	氏名	出欠
担当役員	村上 信行	×
委員長	平本 教大	○
副委員長	荒川 隆之	○
委員	秋本 伸	○
委員	若村 典義	○
委員	今井 圭介	○
委員	大真 敬和	○
委員	竹本 貴明	○
委員	豊見 敦	×

7

※下線は次世代委員と地域薬剤師会研修担当者で重複している方

合計 41

広島

次世代指導薬剤師特別委員会 研修会 次第

日時：令和2年9月26日(土) 15:00～18:00  
会場：広島県薬剤師会館 2階 ふたばホール

閉会挨拶

ZOOM を利用した WEB 研修会の開催手段について①

- ・Peattix によるイベント募集方法の説明
- ・実際の受付方法
- ・研修シールを申請するための研修会定義 (時間的)

講義「アフターフォローを含めた糖尿精治療」

講師：広島大学病院 薬剤部 大東 敏和 先生  
栗原 鑑三 先生  
みわ薬局

ZOOM を利用した WEB 研修会の開催手段について②

- ・キーワードの収集方法及び小テストの実施方法
- ・シールの発送方法

閉会挨拶

広島

次世代指導薬剤師特別委員会 研修会 出席者名簿

令和2年9月26日(土)

地域担当者

所属支部	氏名	所属	出席
広島	吉川 明良	広島市立広島市民病院 薬剤部	欠席
	谷保 智美	マツダ病院 薬剤部	出席
	古谷 智裕	広島市立安佐市民病院 薬剤部	Web
	高吉 博也	廿日市記念病院 臨床薬剤科	出席
呉	高田 正弘	呉医療センター-中国がんセンター 薬剤部	Web
	中村 麗	中国労災病院 薬剤部	出席
東	森光 保哉	福山市民病院 薬剤科	Web
	徳本 和哉	JA尾道総合病院 薬剤部	欠席
	中村 豪志	中国中央病院 薬剤部	欠席
北	津田 修一	三原市医師会病院 薬剤科	欠席
	宮本 晃輔	市立三次中央病院 薬剤科	Web
	熊澤 崇	市立三次中央病院 薬剤科	Web

広島県病院薬剤師会

役職	氏名	出席
会長	松尾 裕彰	出席

広島県青年薬剤師会

役職	氏名	出席
副会長	浜本 隆広	出席

次世代指導薬剤師特別委員会

役職	氏名	出席
委員長	平本 敦大	出席
副委員長	荒川 隆之	出席
委員	豊見 敦	出席
委員	有村 典謙	出席
委員	竹本 貴明	出席
委員	石本 新	出席
委員	秋本 伸	Web
委員	今井 圭介	出席
委員	大東 敏和	出席

講師：大東敏和先生・栗原鑑三先生  
見学：広島大学病院石井聡一郎先生

地域担当者	出席
現地出席	11
Web出席	14
委員等	
現地出席	11*
Web出席	2

\*講師・見学含む  
計：現地24名・Web13名

所属支部	氏名	所属	出席
広島	栗原 正亮	ここみ薬局	Web
	岩本 義浩	ノムラ薬局牛田店	出席
	山田 謙志	中筋アトム薬局	出席
安佐	新佛 朝康	口田薬局	Web
	戸口 拓士	船越南どんぐり薬局	欠席
安芸	小山田 和尙		欠席
	中神 徹	府中みずほ薬局	出席
広島佐伯	大井 健太郎	フワフワ薬局 坂山店	出席
	真村 大祐	大竹ヘルシー薬局	欠席
大竹	石本 康代	ミント薬局	欠席
	高田 泰範	エンゼル薬局田口店	出席
真広島	竹葉 勇吾	竹葉天命堂薬局	Web
	中井 亮太	あおぼ薬局	欠席
呉	佐々木 公翔	オール薬局川原店	Web
	片山 康至	エンゼル薬局	出席
竹原	井上 真	こころ薬局	Web
	宮島 智大	フアーマンシイ薬局春日在宅ケア	出席
福山	三宅 栞	三原薬剤師会センター薬局	欠席
	西中 崇	三原薬剤師会センター薬局	出席
三原	田邊 厚雄	あい薬局田辺健康館	出席
	山田 真弘	フアーマンシイ薬局橋院前	Web
尾道	小森山 雅士	因島市薬剤師センター薬局	Web
	渡邊 浩人	フアーマンシイ薬局三次	Web

山口

都道府県薬名		山口県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
	<p>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</p>	実施済み	<p>○災害医療の体制やCSCAのような災害医療の基本となる事柄や災害時の薬事支援の原則であるCSCAPPPを学ぶ。            日時：平成31年2月17日（日）            参加者：やまぐちPhDLSプロバイダーコース 薬剤師34名</p> <p>○災害発生時に、一斉情報発信や薬剤師間の情報共有がでさる体制を整備するために、災害薬事コーディネーター及び災害支援薬剤師の育成を目的に研修会を開催。            ①災害薬事コーディネーター養成研修会            日時：令和2年12月24日（日）            対象者：薬剤師24名（県内8医療圏より各3名）            ②災害支援薬剤師養成講座            日時：令和3年2月28日（日）            参加者：薬剤師88名（各地域・職域から1～3名の推薦者を含む）</p>	平成30年度 令和2年度
H29年度	<p>研修テーマ</p> <p>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</p>	実施済み	<p>○山口県薬剤師会研修会            「薬剤師の新しい機能～ポリファーマシー対策と他職種連携～」            講師：今井博久先生            （東京大学大学院医学系研究科 地域医薬システム学講座教授）            日時：平成29年10月29日（日）            参加者：山口県薬剤師会会員</p> <p>○山口県薬剤師フォーラム2018            「ポリファーマシー対策と病診薬連携」            講師：末松文博先生            （独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 薬剤部長）            日時：平成30年12月2日（日）            参加者：山口県薬剤師会会員</p>	平成29年度 平成30年度
	<p>受講者課題</p> <p>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</p>	実施済み	<p>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療へ各地域で取り組むため、県内60の地域包括支援センター毎に担当者を配置するために、専門研修会を全6回/年開催し、在宅薬事コーディネーターを配置した。さらに、在宅薬事コーディネーターを中心に、各地域で、多職種連携協議会を開催し、地域課題の抽出を行った。令和3年度以降事業継続。</p>	令和元年度 令和2年度 令和3年度継続

	<p>山口県薬剤師会 医療安全研修会 「AMR 対策と抗菌薬の使い方」 講師：山口大学医学部附属病院 薬剤部長 北原 隆志 先生 日時：平成30年9月2日（日） 参加者：山口県薬剤師会会員</p> <p>山口県薬剤師会 県薬・病薬合同新人研修会 「感染制御における薬剤師のかかわり」 講師：山口赤十字病院 佐々木 裕太 先生 日時：平成30年9月8日（土） 参加者：山口県薬剤師会 平成30年度新人薬剤師40名</p> <p>山口県薬剤師会 山口県薬剤師会 AMR 対策アンケート結果報告等 日時：平成31年3月30日（土） 参加者：山口県薬剤師会会員</p> <p>山口県薬剤師会創立130周年記念大会 感染制御専門薬剤師育成セミナー 「AMR対策において薬剤師はどのように取り組むか」 講師：山口大学医学部附属病院薬剤部長 北原隆志 先生 「安全で衛生的な医療環境を提供するために」 講師：山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部客員教授 尾家重治 先生 日時：令和元年10月12日（土） 参加者：山口県薬剤師会会員</p> <p>山口県薬剤師会 県薬・病薬合同新人研修会 「新人薬剤師が知っておきたいEBM～誰にとっても良い医療か」 講師：児島 悠史 先生（薬剤師・薬学修士） 日時：平成30年9月8日（土） 参加者：山口県薬剤師会 平成30年度新人薬剤師40名</p> <p>山口県薬剤師会 山口県薬剤師会 山口県薬剤師会研修会 ・山口県薬にソクラテスがやっていた ～『誰も教えてくれなかった実践薬歴』講座～ 講師：山本 雄一郎先生（阪神調剤ホールディンググループ有有限会社アツブル薬局 代表取締役／熊本大学薬学部 臨床教授） ・薬局薬剤師の視点で腎機能低下患者への医薬品適正使用を考える – 今できること、これからやるべきこと – 講師：近藤 悠希先生（熊本大学大学院生命科学研究部 薬剤情報分析学分野 助教） 日時：令和2年2月16日 参加者：山口県薬剤師会会員</p> <p>山口県薬剤師会研修会 薬剤師による臨床・疫学研究～どのように進める？倫理審査とは？～ 講師：飯嶋 久志先生（千葉県薬剤師会 薬事情報センター長） 日時：平成29年10月29日（日） 参加者：山口県薬剤師会会員</p>	<p>平成30年度 令和元年度</p>
<p>研修テーマ H30度</p>	<p>・AMR（薬剤耐性）対策</p> <p>実施済み</p>	<p>平成30年度 令和元年度</p>
	<p>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</p> <p>実施済み</p>	<p>平成30年度 令和元年度</p>
<p>受講者課題</p>	<p>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</p> <p>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</p> <p>検討中</p>	<p>平成29年度</p>

R 元度	研修テーマ	<p>・性と避妊</p>	実施済み	<p>○オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会  「オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬の調剤について」  講師：山口県薬剤師会 常務理事 寺戸 功先生  「オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点」  講師：山口県産婦人科医会 理事 江本 智子先生  (1) 緊急避妊薬全般 (2) 月経・月経異常・ホルモン調整機序 (3) 経口避妊薬全般・避妊  「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について」  講師：山口県薬剤師会 常務理事 原 洋司先生  (1) 薬局での対応について (2) 患者対応等について  日時：令和2年2月9日 (日) 参加者：山口県薬剤師会会員 66名登録</p> <p>○オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会  「オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬の調剤について」  講師：山口県薬剤師会 常務理事 川上 英宏先生  「オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点」  講師：山口県立総合医療センター 生殖医療科診療部長 浅田 裕美 先生  (1) 緊急避妊薬全般 (2) 月経・月経異常・ホルモン調整機序 (3) 経口避妊薬全般・避妊  「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について」  講師：山口県薬剤師会 地域医療保健委員会 委員長 家本亜希子先生  (1) 薬局での対応について (2) 患者対応等について  日時：令和2年11月1日 (日) 参加者：山口県薬剤師会会員 117名登録</p>	令和元年度 令和2年度
		<p>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</p>	実施済み	<p>薬歴講習会を地域薬剤師会に対して開催し、ハイリスク薬（糖尿病、がんを含む）に対する、今後の継続的な薬学管理及び指導の留意点についての講習会を開催。  参加者：山口県薬剤師会 保険薬局部会会員 薬局</p>	令和元年度 令和2年度 令和3年度 継続
受講者課題		<p>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</p>	実施済み	<p>薬業連携の推進を目的に、山口県薬剤師会、山口県病院薬剤師会が共通のトレーニングレポート（一般用、がん用）の運用開始。</p>	令和2年度

山口

R 2 度	研修テーマ	・成育医療と薬剤師	実施済み	<p>○山口県薬剤師会創立130周年記念大会 妊婦授乳婦専門薬剤師育成セミナー 「妊婦・授乳婦の薬物療法への薬剤師の関わり～情報評価とカウンセリング～」 講師：九州大学病院 薬剤部 村岡香代子 先生</p> <p>山口県薬剤師会会員薬局に対して、推奨OTC薬リスト・医療雑貨リストを公開。 基本的な48薬効群への対応も考慮し、推奨200品目、推奨300品目を段階的に設定し、健康サポート薬局の要指導医薬品等の整備を後押ししている。</p> <p>○地域連携推進事業</p> <p>①県薬・県病薬合同三役会 2020年度2回開催 ②岩国、徳山、防府薬剤師会をモデル地区とした連携事業 ③地域の医療機関の多職種と在宅薬事コーディネーターによる連携会議開催 下関市薬剤師会による、がん専門医療機関連携薬局体制づくりとして、医療機関の多職種との連携会議や研修会の実施</p>	令和元年度
		・セルフメデイケーションと薬剤師	実施済み	<p>令和3年度は、全県を対象として事業展開を行う予定。 県内各地の基幹病院に担当の窓口なる薬剤師の担当者を決めてもらい、地域薬剤師会の生涯学習担当者との連携体制を構築する。事例検討、疑義照会、ハイリスク薬、処方箋に書かれた検査値など連携を伴う事項の研修会を企画する。また、病院薬剤師部会と協力して薬業連携の更なる推進を図り、最終的には退院時カンファレンスへの参加等、入退院時などにおけるシームレスな服薬情報の伝達・共有に取り組み。山口県薬版「トレーニングレポート（服薬情報提供書）」や、「日病薬作成の薬剤管理サマリ」を普及させ、服薬・患者情報を共有し、医薬品の適正使用に寄与する。</p>	令和2年度 令和3年度継続
		・医療機関と薬局の連携について	実施済み	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	令和3年度

徳島

都道府県薬名		徳島県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策） ・職種連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修の実施を目指す	実施済み	令和元年度に災害支援車（モバイルファーマシー）を作製・導入し、県立防災センターでの防災イベントや徳島大学・徳島文理大学構内で展示、市民や薬学生に対し災害時における医療提供体制、薬剤師の役割や活動について説明している。	令和元年度・2年度
	受講者課題	実施済み	「多職種で活用するポリファーマシー実践マニュアル」を作成し、県内の全薬局に配布。医師会、看護協会、栄養士会など関係団体にも配布した。更に「ポリファーマシー対策ブラウンバッグ」を作製し、県内全薬局に配布した。	令和元年度・2年度
H30年度	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中	薬剤師、看護師、ケアマネージャー、栄養士など多職種を対象にポリファーマシー対策研修会を開催した。	令和元年度
R元年度	研修テーマ ・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材） 外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	検討中		
	受講者課題	検討中		
R2年度	研修テーマ ・医療機関と薬局の連携について	実施済み	「がん・緩和医療の充実を目的とした研修会」を、県内の10支部で開催した。また、希望する薬局薬剤師43名が「がん・緩和医療実地研修」を受講した。	令和元年度・2年度
	受講者課題	検討中		
	受講者課題	検討中		
	受講者課題	実施済み	令和元年度に、地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討業務として、患者情報を医師、病院薬剤師、薬局薬剤師、看護師など多職種間で共有するため「多職種連携シート」を作成、令和2年度には県内の薬局、医療機関で試験的に運用し、改訂版を作成、医療機関と薬局の連携に活用している。	令和元年度・2年度
	受講者課題	検討中		

香川

都道府県名	香川県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>		実施済み	香川県と災害時における医薬品検討体制検討会を令和2年11月に立ち上げた。災害薬事コーディネーターを養成する。	令和2年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> </ul>		実施済み	病院・薬局・地域がつながる連携体制構築事業として3年前から取り組んでいる。各地区の取り組みを年1回報告し課題などを共有している。（添付資料1）	令和2年度
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>		予定あり	薬剤師のかけりつけ機能強化のための研修シラバスを活用した研修会を検討中。	令和3年5月予定
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>		検討中	薬剤師のかけりつけ機能強化のための研修シラバスを活用した研修会を検討中。	2年以内
	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>		検討中	薬剤師のかけりつけ機能強化のための研修シラバスを活用した研修会を検討中。	2年以内
R元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフマネジメントと薬剤師</li> </ul>		予定あり	薬剤師のかけりつけ機能強化のための研修シラバスを活用した研修会を検討中。	令和3年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>		実施済み	病院・薬局・地域がつながる連携体制構築事業として3年前から取り組んでいる。各地区の取り組みを年1回報告し課題などを共有している。（添付資料1）	令和2年度
R2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>		実施済み	病院・薬局・地域がつながる連携体制構築事業として3年前から取り組んでいる。各地区の取り組みを年1回報告し課題などを共有している。（添付資料1）	令和2年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自県における薬学連携の現状把握や課題抽出</li> <li>・都道府県薬剤師会：薬学連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>		実施済み	病院・薬局・地域がつながる連携体制構築事業として3年前から取り組んでいる。各地区の取り組みを年1回報告し課題などを共有している。（添付資料1）	令和2年度

# 香川

会員 各位

令和3年2月8日

香川県薬剤師会 会長 安西 英明

「薬局機能強化・連携体制構築に向けたモデル事業」に係る報告会の開催について

(令和2年度「厚生労働省委託事業」地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業)

香川県薬剤師会では、香川県の委託を受け「病院・薬局・地域がつながる連携体制構築事業」を県内6病院と連携して実施しております。令和元年度育成した「地域サポート薬剤師」が病院と薬局の連携体制を構築する取組みを先導し、地域サポート薬剤師間の情報共有や薬局の連携、新たな地域サポート薬剤師の育成など全県的な連携体制の構築を目的として行われました。

つきましては、その取組みの概要及び事業成果の報告会を下記のとおり開催します。是非ご出席くださいまいりますようご案内申し上げます。

## 記

- 1 日時 令和3年2月28日(日) 10時～12時 (受付9時30分～)
- 2 場所 ①香川県薬剤師会朝日町会館2階会議室 (定員80名)  
②丸亀市薬剤師会館2階会議室 (定員20名) サテライト  
③大野原公民館3階研修室(観音寺市役所大野原支所内)(定員30名) //  
④ZOOM(ウェビナー)配信 ※単位シリアル対象外 (定員100名)

※④は、県薬ホームページで詳細を確認し、お申込みください。

## 3 研修内容

- (1) 各地域におけるモデル事業について報告(5グループ) 10:00～11:40
- ① 「がん薬物療法に関する研修について」  
高松市薬剤師会 原丈晴先生(アイ調剤薬局)
- ② 「入院時の情報共有に関する研修について」  
高松市薬剤師会 吉村輝美先生(アイン薬局高松日赤前店)
- ③ 「疑難照会の簡略化の普及について」  
丸亀市薬剤師会 宮崎朝信先生(サン調剤薬局)
- ④ 「向精神薬に関する研修について」  
丸亀市薬剤師会 宮崎朝信先生
- ⑤ 「在宅医療推進に関する研修について」  
観音寺市三豊郡薬剤師会 矢野靖浩先生(快生堂豊浜調剤薬局)

(2) 意見交換  
11:40～12:00

4 参加費 会員 無料 非会員 2,000円

5 研修単位認定 日本薬剤師研修センター 研修認定制度 1単位 申請中

主催：一般社団法人 香川県薬剤師会 共催：香川県病院薬剤師会

# 香川

「薬局機能強化・連携体制構築に向けたモデル事業」に係る報告会参加申込書  
〔 FAX:087-831-0070 〕

氏名 \_\_\_\_\_ 薬局名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_

薬剤師名簿登録番号 \_\_\_\_\_ 会員 ・ 非会員 \_\_\_\_\_  
(何れかに○を入れてください。)

◎ 受講希望会場 (①②③で、できるだけ第3希望までお書きください。)

第1希望	第2希望	第3希望
------	------	------

第2、3希望の会場になった方、ご参加していただけない方には、後日、連絡いたします。

注：申込状況(定員に達しましたら)は県薬 HP>トップページのお知らせ欄に掲載します。

愛媛

都道府県薬名		愛媛県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29年度	研修テーマ	実施済み	日本災害医学会「PhDL S」インストラクター・プロバイダーコースの開催	H29～H31
	受講者課題	実施済み	腎機能検査値を用いるための基礎知識	H30
H30年度	受講者課題	実施済み	入退院支援研修会（多職種によるグループディスカッションなど） 薬剤師のためのスキルアップ研修会	R1～R2
	研修テーマ	検討中		
	受講者課題	検討中		
	受講者課題	検討中		
R元年度	研修テーマ	実施済み	緊急避妊薬のオンライン診療に伴う研修会	R2
	受講者課題	実施済み	地域ケア連携講演会（がん編・糖尿病編）	R2
R2年度	受講者課題	実施済み	入退院支援研修会（多職種によるグループディスカッション）	R2
	研修テーマ	検討中		
	研修テーマ	検討中		
	受講者課題	検討中		

# 高知

都道府県薬名		高知県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題		左記の実施年度	
年度	研修テーマ	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度		
H29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> </ul>	実施済み	1.災害薬事コーディネーター推薦 高知県、高知市に災害薬事コーディネーター推薦（H29年度 27名） 2.災害薬事コーディネーターの養成 ・県主催高知県災害薬事コーディネーター研修会 H30.1/28（日）参加 研修内容：薬事トリアージとフィジカルアセスメント（講義・実習）、トリアージ（PHDLの発展系実習）等 ・県主催高知県災害医療コーディネーター人材育成研修 H29.10/8～9（日・月）参加 研修内容：高知県の災害医療体制、MARD、MACHAE、KUGE、HAG ・災害医療救護訓練、災害対策への参加（各支部） ・高知県薬剤師会災害対策本部訓練			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	実施済み	H30.8.19（日）高知県薬剤師会学会研修会 受講者105名 ・地域包括ケアにおけるポリファーマシー対策～宝塚市の取り組み～			
H30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> </ul>	実施済み	H30.1.28（日）高知県薬剤師会学会研修会（薬業連携実施報告）受講者117名 「薬局におけるトレスレポートの活用による連携」 「病院における院外処方箋への検査値記載による連携」 「病院における院外処方箋初回情報提供の取り組み」			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	検討中	R2.2.9（日）生活習慣病対策研修会 受講者108名 ・食のお悩み解決法 ・生活の中でできる運動不足の改善			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> </ul>	実施済み	H30.8.19（日）高知県薬剤師会学会研修会 受講者105名 ・高知県薬剤師会の倫理審査会がスタートします～その患者アンケートは倫理審査を受けていますか～ H31.3.3（日）血管病対策研修会・とさ禁煙サポーターズフォローアップ研修会 ・最新のエビデンスから高血圧対策を再考する～生活習慣の改善からブライマリアケアまで～			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	実施済み				
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> </ul>	検討中				

高知

R 2 度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> </ul>	実施済み	<p>R2.1.12 (日) 高知県薬剤師会学術研修会 受講者149名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠と薬の考え方と薬の情報について</li> <li>・産婦人科の基礎知識～妊娠と薬についてを中心に～</li> </ul> <p>R3.2.28 (日) オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会 (Web開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者76名</li> <li>・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について</li> <li>・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方の留意点</li> </ul>	<p>R2.1.12 (日) 高知県薬剤師会学術研修会 受講者149名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠と薬の考え方と薬の情報について</li> <li>・産婦人科の基礎知識～妊娠と薬についてを中心に～</li> </ul> <p>R3.2.28 (日) オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会 (Web開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者76名</li> <li>・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について</li> <li>・オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方の留意点</li> </ul>
	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導 (糖尿病、がんを題材)</li> </ul>	実施済み	<p>R元.10.3 (木) 第3回東部地区糖尿病勉強会 受講者9名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、私たちにできること</li> </ul> <p>R2.2.23 (日) 高知市病院・薬局薬剤師連携の会 受講者41名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐにも役立つ！注意すべき服薬指導のポイント～がん薬物療法～</li> <li>*がん指導のポイント～患者さんの訴えのここに注目！～</li> <li>*がん薬物療法を安全に実施するために-薬薬連携への期待- 等</li> </ul> <p>R3.3.14 (日) 高知県薬剤師会学術研修会 Web参加者113名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合研修受講者 高知会場38名 幡多会場8名</li> <li>・高知県糖尿病実態調査の解析とその活用</li> <li>・糖尿病治療薬の新しいトレンド～低血糖予防に向けた取り組みとパラダイムへの挑戦～</li> </ul>	
R 2 度	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出 (地域での薬薬連携の推進を目指す)</li> </ul>	実施済み	<p>H31.1.17 (木) 病院薬剤師 &amp; 薬局薬剤師連携研修会 参加104名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院支援に必要な薬薬連携の重要ポイント～病院、薬局が協力して行動するために～</li> </ul>	
	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育医療と薬剤師</li> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> </ul>	<p>実施済み</p> <p>検討中</p>	<p>H30.8.5 (日) 第34回高知県学校医・歯・薬・保健研究大会 受講者93名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における「がん教育」の現状と課題～今、なぜ学校でがん教育が必要～</li> </ul>	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	実施済み	<p>R2.1.17 (金) 在宅服薬支援事業「お薬プロジェクト」取組報告 受講者110名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸圏域入退院連絡手引きの運用について</li> </ul>	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出</li> <li>都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	実施済み	<p>高知あんしんネットのトレーニングレポート (薬薬連携シート) (令和3.4月から運用予定)</p>	

福岡

都道府県薬名		福岡県薬剤師会		
年度	研修テーマ	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	
H 29年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動</li> <li>病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</li> </ul>	資料①	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗薬連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）</li> <li>AMR（薬剤耐性）対策</li> </ul>	資料②	
H 30年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）</li> <li>エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）</li> </ul>	資料③	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）</li> <li>性と避妊</li> <li>患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）</li> </ul>	資料④	
R 元年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）</li> <li>成育医療と薬剤師</li> </ul>	資料⑤	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	資料⑥	
R 2年度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> </ul>	資料⑦	
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	資料⑧	
			資料⑨	資料に記載
			資料⑩	資料に記載
			資料⑪	資料に記載
			資料⑫	資料に記載

## 福岡

### 資料①「災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動」

- 平成30年度災害対策研修会
- 1) 筑豊ブロック  
日時：平成31年3月18日(月) 19:00～20:30  
場所：田川薬剤師会館  
参加者：6人
- 2) 北九州ブロック  
日時：平成31年3月26日(火) 19:30～21:00  
場所：健康医療福祉研修会館(新八幡薬剤師会館)  
参加者：14人
- 3) 筑後ブロック  
日時：平成31年3月28日(木) 19:30～21:00  
場所：久留米三井薬剤師会館  
参加者：13人
- 4) 福岡ブロック  
日時：平成31年3月29日(金) 19:30～21:00  
場所：福岡市薬剤師会館  
参加者：8人

## 福岡

### 資料②「病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術(臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策)」

- 第18回ポリファーマシー・テーカイカルケアシンポジウム  
日時：平成30年3月11日(日) 14:00～17:25  
場所：エルガーホール 中ホール  
参加者：239人
- 演題：「患者の検査値から処方解析をいかに行うかー薬局における事例紹介ー」  
福岡県薬剤師会 生涯学習委員会 理事 高瀬 真悟  
福岡県薬剤師会 生涯学習委員会の検討  
JCHO九州病院 薬剤部 上津 沙織  
「院外処方箋における臨床検査値を活用した薬薬連携」  
千葉大学医学部附属病院薬剤部教授・部長 石井 伊都子
- 平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業  
「患者情報に基づく薬学管理推進事業」における「患者情報に基づく相互連携薬物療法研修会」
- 1) 北九州地区  
[第1回]  
日時：平成30年10月17日(水) 19:30～21:00  
場所：JCHO九州病院実習研修センター  
参加者：40人(薬局薬剤師20人、病院薬剤師20人)  
[第2回]  
日時：平成30年11月8日(木) 19:30～21:00  
場所：小倉薬剤師会館  
参加者：38人(薬局薬剤師15人、病院薬剤師23人)  
[第3回]  
日時：平成30年12月12日(水) 19:30～21:00  
場所：小倉薬剤師会館  
参加者：38人(薬局薬剤師17人、病院薬剤師21人)
- 2) 筑後地区  
[第1回]  
日時：平成30年10月26日(金) 19:30～21:00  
場所：地場産くるめ  
参加者：29人(薬局薬剤師20人、病院薬剤師9人)

## 福岡

〔第2回〕

日時：平成30年11月12日（月）19：30～21：00

場所：社会保険大牟田天領病院福祉センター

参加者：39人（薬局薬剤師25人、病院薬剤師14人）

3）福岡地区

〔第1回〕

日時：平成30年10月29日（月）19：30～21：00

場所：福岡市薬剤師会館

参加者：34人（薬局薬剤師14人、病院薬剤師20人）

〔第2回〕

日時：平成20年11月1日（木）19：30～21：00

場所：福岡市薬剤師会館

参加者：30人（薬局薬剤師10人、病院薬剤師20人）

〔第3回〕

日時：平成30年12月10日（月）19：30～21：00

場所：福岡市薬剤師会館

参加者：29人（薬局薬剤師12人、病院薬剤師17人）

4）筑豊地区

〔第1回〕

日時：平成30年11月1日（木）19：30～21：00

場所：イイヅカコミュニケーションセンター

参加者：37人（薬局薬剤師20人、病院薬剤師17人）

〔第2回〕

日時：平成30年12月4日（火）19：30～20：00

場所：イイヅカコミュニケーションセンター

参加者：34人（薬局薬剤師13人、病院薬剤師21人）

第1回福岡県薬剤師会学術大会

日時：平成31年2月24日（日）10：00～17：00

場所：アクロス福岡

参加者：1,151人

内容：特別講演、シンポジウム、一般演題（口頭発表、ポスター発表）

「地域医療に貢献する！ 工藤孝文 ～人参養栄湯とダイエット～」

工藤内科 副院長 工藤 孝文

「臨床検査値と薬物動態学の応用～薬剤師が行う薬物投与設計～」

どんぐり工房 顧問 菅野 暉

## 福岡

平成30年度薬歴研修会

日時：平成31年3月20日（水）19：30～21：00

場所：都久志会館

参加者：250人

演題：「最高の患者ケアを目指す「実践薬歴」講座」

アッフル薬局 薬剤師 熊本大学薬学部 臨床教授 山本 雄一郎

第2回福岡県薬剤師会学術大会

日時：令和2年2月16日（日）10：00～17：00

場所：アクロス福岡

参加者：1,055人

内容：特別講演、シンポジウム、一般演題（口頭発表、ポスター発表）

「高齢者のポリファーマシー対策」

東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授

東京大学医学部附属病院老年病科 科長 秋下 雅弘

「「自炊塾」～大学生の生き方変わる食育」

九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター准教授 比良松 道一

## 福岡

資料③「薬薬連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）」

在宅医療参加薬局の拡大に関する協議会

日時：令和3年3月7日（日）

場所：福岡県薬剤師会 講堂 ほか

参加者：60人

ロールプレイ 13:40～14:10（30分）

グループワーク（要領伝達）

題材：初めての在宅訪問対応

福岡県薬剤師会 在宅医療委員 井手 純司、田中 宏樹、石橋 正次

協議会

14:10～15:10（60分） 地区薬剤師会の現状について

福岡県薬剤師会のサポートについて、研修会実施について

## 福岡

資料④薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）  
資料⑤患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）

緩和薬物療法認定薬剤師の修得へ向けセミナー

1）第5回

日時：平成29年5月14日（日）10:00～16:50

場所：福岡県薬剤師会館

参加者：48人

演題：「放射線治療－緩和照射－」

九州大学大学院医学研究院 臨床放射線化学分野 助教 大賀 才路

「終末期がん患者の泌尿器症状について（対応マニュアルを基にして）」

後藤クリニック 後藤 健

「在宅緩和ケア（診療所医師の立場から）」

あおばクリニック院長、福岡東在宅ケアネットワーク世話人 伊藤 大樹

「在宅緩和ケア（保険薬局薬剤師の立場から）」

タナカ調剤薬局 田中 範江

2）第6回

日時：平成29年8月20日（日）10:00～16:50

場所：福岡県薬剤師会館

参加者：45人

演題：「疼痛マネジメント編 神経ブロック」

JCHO久留米総合病院 副院長 杉山 和英

「理学療法的アプローチ」

済生会福岡総合病院リハビリテーション部 室長 溝口 雅之

「吉痛緩和のための鎮静 最後の切り札 last resort」をふさわしく使うために」

浜の町病院 緩和医療内科 部長 永山 淳

「緩和ケアにおける薬剤師の役割」

大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ

日本腎臓病薬物療法学会認定セミナー

1）第1回

日時：平成29年6月4日（日）15:00～17:05

場所：第一薬科大学厚生会館2階講義室

参加者：93人

演題：「慢性腎臓病（CKD）～検尿異常から腎不全、腎移植まで～」

福岡赤十字病院 腎臓内科 部長 満生 浩司

## 福岡

- 2) 第2回  
日時：平成29年11月23日(木・祝) 15:00～17:05  
場所：福岡県中小企業振興センター  
参加者：88人  
演題：「症例に基づいたCKD患者の薬物適正使用」  
熊本大学薬学部附属有薬フロンティアセンター長・臨床薬理学分野 教授 平田 純生
- 3) 第3回  
日時：平成29年11月26日(土) 15:00～17:05  
場所：第一薬科大学厚生会館2階講義室  
参加者：51  
演題：「腎機能低下患者への薬物投与設計法 ～理論と注意点～」  
仁真会 白鷺病院 薬剤科科長 古久保 拓
- 4) 第4回  
日時：平成30年3月4日(土) 15:00～17:05  
場所：都久志会館  
参加者：73人  
演題：「分かりやすい腎機能低下患者の薬物動態」  
京都薬科大学臨床薬学分野 講師 辻本 雅之
- 「認定薬剤師修得」へ向けた日本臨床腫瘍薬学会認定薬剤師養成セミナー
- 1) 第1回  
日時：平成29年11月19日(日) 14:00～17:25  
場所：都久志会館  
参加者：78人  
演題：「がん治療に必要な薬物療法の基本知識 (1) がん治療の考え方」  
長崎大学病院薬剤部 薬剤主任 山口 健太郎  
相模原病院薬剤部 試験/検査主任 高橋 郷
- 「がん治療に必要な薬物療法の基本知識 (2) 情報の読み方」  
相模原病院薬剤部 試験/検査主任 高橋 郷
- 「手に取ることから始めよう!! ～経口抗がん薬ハンドブックの普及使いをすすめるために～」  
長崎大学病院薬剤部 薬剤主任 山口 健太郎
- 「薬運連携推進のための基礎講座」  
(1) 地域医療連携(薬運連携) 推進  
(2) 血液検査値から解ること(骨髄抑制を中心に、腎機能障害、肝機能障害等)  
光晴会病院薬剤科 主任 岡田 昌之
- 2) 第2回  
日時：平成29年12月17日(日) 14:00～17:15

## 福岡

- 場所：FFGホール  
参加者：73人  
演題：「がん種別にみた病態・治療・支持療法のポイント 大腸癌」  
九州医療センター薬学部 副薬科部長 林 稔展
- 「がん種別にみた病態・治療・支持療法のポイント 乳がん」  
JCHO久留米総合病院総合診療部薬科科 副薬科科長 葉田 昌生
- 「がん種別にみた病態・治療・支持療法のポイント 肺癌」  
九州がんセンター薬学部 主任薬科科長 衛藤 智章
- 腎臓病薬物療法セミナー
- 1) 第5回  
日時：平成30年4月22日(日) 15:00～17:00  
場所：FFGホール  
参加者：77人  
演題：「薬局薬剤師が明日から腎機能低下患者にできること  
～有害事象を確認する・回避する・科学する～」  
熊本大学大学院生命科学研究部・薬学部 薬情報分析学分野 助教 近藤 悠希
- 2) 第6回  
日時：平成30年8月5日(日) 15:00～17:05  
場所：都久志会館  
参加者：75人  
演題：「薬剤性腎障害を防ぐ～薬剤師にできること」  
日本腎臓病薬物療法学会 理事長 熊本大学薬学部附属  
有薬フロンティアセンター長・臨床薬理学分野 教授 平田 純生
- 3) 第7回  
日時：平成30年12月2日(日) 15:00～17:05  
場所：福岡県中小企業振興センター  
参加者：58人  
演題：「薬剤師のルーティン：腎機能評価～症例から学ぶピットフォール～」  
済生会熊本病院薬科部 柴田 啓智
- 4) 第8回  
日時：平成31年1月14日(月・祝) 15:00～17:05  
場所：福岡県中小企業振興センター  
参加者：73人

## 福岡

演 題：「透析患者における薬物療法～臨床研究/患者と共同した薬物治療～」

熊本赤十字病院薬剤部病種薬剤課長 下石 和樹

薬剤師のための緩和ケア研修会

1) 第1回

日 時：平成30年5月13日(日) 10:00～16:50

場 所：都久志会館

参加者：149人

演 題：「緩和医療とがん支持療法」

日本緩和医療学会 代表理事国際医療福祉大学薬学部 薬学部長 教授 武田 弘志

「痛みの病態生理と治療」

九州大学病院麻酔科蘇生科 助教 前田 愛子

「終末期がん患者の輸液療法について 2013年度版ガイドラインを基にして」

久留米大学医学部麻酔学教室 助教 佐野 智美

「地域連携一医師(身体症状担当)の立場から」

あおばクリニック 清水 祐紀子

2) 第2回

日 時：平成30年9月9日(日) 10:00～16:50

場 所：第一薬科大学 厚生会館 2階 講義室

参加者：119人

演 題：「非オピオイド鎮痛薬の特徴」

製鉄記念八幡病院薬剤部 船越 康太

「精神症状マネジメント・せん妄について」

九州大学病院精神科神経科 助教 大橋 綾子

「医師(精神症状担当)の立場から」

北九州市立医療センター心療内科 主任部長 福留 克行

「看護師(緩和ケア認定看護師)の立場から」

看護小規模多機能型居宅介護 三丁目の花や 看護師 山川 文子

3) 第3回

日 時：平成31年2月3日(日) 9:50～17:00

場 所：都久志会館

参加者：115人

演 題：「オピオイド鎮痛薬の特徴」

北九州市立医療センター診療支援部薬剤課 薬剤師長 山田 真裕

「オピオイド鎮痛薬の副作用対策」

九州大学病院薬剤部 池田 宗彦

## 福岡

「がん患者の消化器症状の緩和について(ガイドラインを基にして)」

浜の町病院腫瘍内科 部長 三ツ木 健二

「がん患者の栄養管理～生きるとは食べること」

九州大学大学院 医学系学府保健学専攻

九州大学病院栄養管理室 前室長 山口 貞子

薬剤師のための臨床腫瘍薬学セミナー

1) 第1回

日 時：平成30年8月26日(日) 14:00～17:15

場 所：都久志会館

参加者：144人

演 題：「がんについての基礎知識を学ぶ(1) JASPO認定取得の意義と方法を理解する」

長崎大学病院薬剤部 山口 健太郎

「がんについての基礎知識を学ぶ(2) がんについての基礎知識」

長崎大学病院薬剤部 山口 健太郎

「がんについての基礎知識を学ぶ(3) 抗がん薬の基礎知識(作用機序・副作用)」

久留米大学病院薬剤部 堤 一貴

「がんについての基礎知識を学ぶ(4) 資料の読み方について」

相模原病院薬剤部 高橋 郷

2) 第2回

日 時：平成30年11月18日(日) 14:00～17:15

場 所：都久志会館

参加者：137人

演 題：「支持療法について(1) 分子標的薬による皮膚障害」

九州がんセンター薬剤部 主任薬剤師 魚井 みゆき

「支持療法について(2) 消化器症状(悪心嘔吐、便秘、下痢)」

九州医療センター薬剤部 薬務主任 平池 美香子

「支持療法について(3) 骨髄抑制、末梢神経障害、腎障害」

久留米大学病院薬剤部 主任 高橋 誠

「支持療法について(4) 免疫関連有害事象」

九州医療センター薬剤部 薬務主任 木村 滋

「緩和ケアについて～がん疼痛治療を中心に～」

大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まやこ

3) 第3回

日 時：平成31年3月17日(日) 14:00～17:15

## 福岡

場 所：都久志会館  
参加者：121人  
演 題：「主要がん種について（1）大腸癌の病態・治療・支持療法のポイント」  
福岡大学薬学部臨床薬学教室 准教授 林 稔展  
「主要がん種について（2）肺がんの薬物療法」  
九州大学病院薬剤部 渡部 仁美  
「主要がん種について（3）乳がん薬物療法 ～経口剤服薬指導の実践～」  
JCHO久留米総合病院統括診療部薬剤科 副薬剤科長 葉田 昌生  
平成30年度在宅緩和医療研究会  
日 時：平成30年11月11日（日）14：30～17：00  
場 所：福岡県中小企業振興センター  
参加者：116人  
演 題：第1部：緩和ケアの現状  
福岡大学病院 腫瘍センター緩和医療部門 廣田 一紀  
第2部：緩和ケアでの麻薬使用とチーム内での具体的役割  
福岡大学病院薬剤部 緩和ケア薬剤師 川田 哲史  
持続皮下注の事情について  
福岡大学病院薬剤部 緩和ケア薬剤師 土倉 史香  
薬剤師のための緩和ケア研修会  
1) 第4回  
日 時：令和元年6月30日（日）9：50～17：00  
場 所：都久志会館  
参加者：206人  
演 題：「鎮痛補助薬について～がんによる神経障害性疼痛の治療～」  
浜の町病院 薬剤部 松下 尚弘  
「オピオイド鎮痛薬の依存と耐性 オピオイドスウィッチング・PCAポンプ」  
JCHO南海医療センター 薬剤部長 葉田 昌生  
「がん患者の呼吸器症状の緩和について（ガイドラインを基にして）」  
済生会福岡総合病院がん治療センター 副センター長兼外科部長 鹿田 康紀  
「あなたを忘れない～MSWの緩和ケア～」  
ブレストピア宮崎病院 地域医療連携広報室 医療ソーシャルワーカー 米田 智恵美

## 福岡

2) 第5回  
日 時：令和元年9月16日（月・祝）9：50～17：00  
場 所：都久志会館  
参加者：194人  
演 題：「放射線治療～緩和照射～」  
九州医療センター放射線科 医長 大賀 才路  
「進行期がん患者の泌尿器症状について（ガイドラインを基にして）」  
後藤けんクリニック 院長 後藤 健  
「在宅緩和ケア（診療所医師の立場から）」  
あおばクリニック 院長 伊藤 大樹  
「理学療法的アプローチ」  
済生会福岡総合病院 リハビリテーション部 室長 溝口 雅之  
3) 第6回  
日 時：令和3年3月21日（日）9：50～17：00  
場 所：Web研修会  
演 題：「苦痛緩和のための鎮静について知っておこう」  
～医学的・倫理的妥当性を担保するには～  
浜の町病院緩和医療内科 部長 永山 淳  
「在宅緩和ケア（保険薬局薬剤師の立場から）」  
HyugaPharmacy 株式会社さきらり薬局名島店 薬局長 原 敦子  
「疼痛マネジメント編 神経ブロック」  
JCHO久留米総合病院 副院長 杉山 和英  
「緩和ケアにおける薬剤師の役割について」  
大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 内田 まよこ  
腎臓病薬物療法セミナー  
1) 第1回  
日 時：令和元年8月18日（日）13：00～17：00  
場 所：都久志会館  
参加者：420人  
演 題：「慢性腎臓病（CKD）～早期発見・治療、検査異常から腎不全、腎移植まで～」  
福岡赤十字病院 腎臓内科部長 満生 浩司  
「症例に基づいたCKD患者の薬物適正使用」  
熊本大学大学院 生命科学研究所・薬学部 臨床薬理学分野 教授 平田 純生

## 福岡

- 2) 第2回  
日 時：令和3年1月11日(月・祝) 10:10～17:00  
場 所：福岡県薬剤師会講堂及びサテライト会場  
参加者：91人  
演 題：「分かりやすい腎機能低下患者の薬物動態～吸収、分布、消失を理解しよう～」  
京都薬科大学臨床薬学分野 講師 辻本 雅之  
「腎機能を踏まえた高齢者薬物療法とポリファーマシー対策」  
医療法人愛生会くまもと温石病院 薬局長 森 直樹  
「薬剤性腎障害を防ぐ」  
I & H株式会社 学術顧問、熊本大学薬学部 客員教授 平田 純生
- 3) 第3回  
日 時：令和3年2月21日(木・祝) 10:10～17:00  
場 所：Web研修会  
参加者：149人  
演 題：「腎機能低下患者の中毒性副作用を防ぐための保険薬局のかかわり」  
熊本大学大学院生命科学研究部  
薬物治療設計学分野(臨床薬理学) 准教授 近藤 悠希  
「透析患者における薬物療法～治療に役立つ臨床研究～」  
熊本赤十字病院 薬剤部 病棟薬剤課長 下石 和樹  
「薬剤師のルーティン腎機能評価～症例から学ぶピットフォール～」  
済生会熊本病院 薬剤部 主任 柴田 啓智
- 薬剤師のための臨床腫瘍薬学セミナー  
1) 第4回  
日 時：令和元年9月1日(日) 14:00～17:15  
場 所：パビヨン24ガスホール  
参加者：209人  
演 題：「主要がん種について(1)血液がんにおける薬物治療の基礎知識」  
九州がんセンター臨床研究センター治験推進室 治験主任 衛藤 智章  
「主要がん種について(2)胃癌の薬物療法と薬学的介入」  
福岡大学病院薬剤部 楠本 秀樹  
「医療連携・薬局での患者指導大腸がん：模擬症例への薬物療法介入」  
一橋後補助療法から再発まで)  
溝上薬局 執行役員 八坂 瑞臣  
そうごう薬局 天神中央店 下川 友香理

## 福岡

- 2) 第5回  
日 時：令和元年11月10日(日) 14:00～17:15  
場 所：都久志会館  
参加者：200人  
演 題：「主要がん種について(1)前立腺がんの薬物療法と薬学的介入のポイント」  
福岡大学筑紫病院 薬剤部 主任 内山 将伸  
「主要がん種について(2)婦人科癌における薬学的介入」  
九州大学病院 薬剤部 南 晴奈  
「医療連携・薬局での患者指導(1)がん薬物療法への薬局薬剤師の活動」  
クオール株式会社関東第一薬局事業本部 統括主任 村田 勇人  
「医療連携・薬局での患者指導(2)踏み出そう！がん関連処方箋のはじめの一步」  
～実際に体験した症例を踏まえて～  
花ことば薬局 坂井 智凡

## 福岡

資料⑤エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）  
資料⑥研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）

学会発表スキルアップセミナー～その演題、倫理審査を受けていますか？～

日時：令和元年5月19日（日）13：30～16：30

場所：福岡県中小企業振興センター

参加者：104人

演題：「薬剤師に求められる研究倫理～研究倫理研修と倫理審査の必要性～」

日本大学薬学部 薬事管理学研究室 教授 亀井 美和子

「研究計画書の記載例と福岡県薬剤師会における学術倫理審査の実態」

福岡県薬剤師会 副会長 神村 英利

「倫理審査申請書類の書き方」

福岡県薬剤師会薬事情報センター 室長 神 雅子

学会発表スキルアップセミナー「臨床研究してみませんか？」

日時：令和3年3月21日（日）11：50～13：20

場所：Web研修

基調講演：「臨床研究なんてとても、とおっしゃるあなたに」

兵庫県赤十字血液センター 所長 平井 みどり

講演 1：「現場の疑問を臨床研究に！～研究をデザインするコツとツボ～」

一般社団法人福岡市薬剤師会 林田 諭

講演 2：「学会発表にいたるまで」

平成薬局 松下 真和

## 福岡

資料⑦性と避妊

オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

日時：令和2年10月3日（土）15時00分～18時50分

場所：福岡県薬剤師会館およびオンライン研修（Zoomによる）

オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について

公益社団法人福岡県薬剤師会 常務理事 楠本 哲也

オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

福岡県産婦人科医会 副会長 濱口 欣也

福岡県産婦人科医会 理事 村上 文洋

(1) 緊急避妊全般

(2) 月経・月経異常・ホルモン調節機序

(3) OTC全般・避妊

オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

公益社団法人福岡県薬剤師会 原口 恵子

公益社団法人福岡県薬剤師会 田中 聖

(1) 薬局での対応について

(2) 患者対応等について

## 福岡

資料⑨外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）

平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業

「トレーニングレポート共有化システムによる多職種連携推進事業」における事業説明会

1) 城南区および早良区

日時：平成30年12月3日（月）19：30～20：30

場所：福岡市薬剤師会館

参加者：63人

2) 宗像地区

日時：平成30年12月10日（月）19：30～20：30

場所：宗像医師会病院

参加者：24人

(17) PCAポンプを活用した集合実技研修

1) 筑後ブロック

日時：平成30年12月6日（木）19：30～21：30

場所：エーるピア久留米

参加者：26人

2) 北九州ブロック

日時：平成31年1月16日（水）19：30～21：30

場所：健康医療福祉研修会館

参加者：15人

3) 筑豊ブロック

日時：平成31年1月28日（月）19：30～21：30

場所：イイヅカコミュニケーションセンター

参加者：9人

4) 福岡ブロック

日時：平成31年1月29日（火）19：30～21：30

場所：福岡市薬剤師会館

参加者：14人

薬局・病院薬剤師のための相互連携シンポジウム

日時：令和2年2月2日（日）14：00～16：00

場所：アクロス福岡

参加者：123人

## 福岡

演題：「保険薬局におけるポリファーマシーへの取り組み」

スマイル薬局 濱 寛

「医師と協働して取り組むポリファーマシー対策と地域連携」

九州病院 薬剤部 阿部 名月

「院内と地域における抗菌薬適正使用への薬剤師の関わり」

大牟田市立病院 薬剤部 笠田 高志

「VPCSを利用したトレーニングレポートの共有化

～福岡市薬剤師会薬局七隈店での取り組み～」

福岡市薬剤師会薬局七隈店 早田 佳生

## 福岡

### ⑩セルフメディケーションと薬剤師

禁煙相談員養成研修会

日時：平成29年9月3日（日）13：00～16：05

場所：ホテルレガロ福岡

参加者：284人

演題：「たばこ病（肺癌、COPDなど）と禁煙治療」

国立病院機構 大牟田病院 院長 川崎 雅之

「成功する禁煙サポート」

福岡県薬剤師会 委員 馬場 正佳

1.3) 休職中や職場復帰計画中の女性薬剤師のためのセミナー

1) 第1回

日時：平成29年12月3日（日）10：00～13：00

場所：アクロス福岡 大会議室

参加者：95人

演題：「上手に使う健康食品ー健康食品と医薬品との相互作用ー」

福岡県薬剤師会薬事情報センター 佐々 美加子

「サプリメント・健康食品の適正使用に向けた現状と課題

ー健康寿命延伸のためのセルフメディケーションにおける臨床的意義ー

健康科学大学客員教授 DHC 研究顧問 浦原 聖可

2) 第2回

日時：平成30年2月18日（日）10：00～13：00

場所：アクロス福岡 大会議室

参加者：99人

演題：「超高齢社会を迎えて健康維持のための栄養・食事相談について」

九州大学病院栄養管理室 山口 貞子

「セルフメディケーション支援のための一般医薬品について

ー相談と販売のための知識を学ぶー

佐賀県薬剤師会 顧問 高祖 順一

禁煙相談員養成研修会

日時：平成30年8月19日（日）13：15～16：15

場所：ナースプラザ福岡

参加者：238人

## 福岡

演題：「たばこが影響する肺疾患と禁煙外来における一般的な治療について」

独立行政法人国立病院機構 福岡病院 院長 岩永 知秋

「禁煙相談員が行う情報提供とメンタルサポート」

福岡県薬剤師会 理事 中原 学

禁煙相談員養成研修会

日時：令和元年8月4日（日）13：00～15：40

場所：ナースプラザ福岡

参加者：184人

演題：「禁煙外来の実際と受動喫煙の健康被害について」

福岡病院 呼吸器内科部長 野上 裕子

「健康増進法改正について」

福岡県薬剤師会 理事 田城 涼子

## 福岡

- ①医療機関と薬局の連携について
  - ②受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出
- 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出

福岡県薬剤師会としての薬業連携に関する取組計画（案）

### 【What】

県内4ブロックにおける薬局薬剤師と病院薬剤師の合同ワークショップの開催  
（福岡県には29市、29町、2村があり、これら60市町村は地理的、歴史の、経済的特性などから、「福岡」「北九州」「筑後」「筑豊」の4ブロックに分けられている）

### 【Why】

地域の薬局と病院の薬剤師が合同でトレーニングレポートやポリアーマシーのワークショップを行うことにより、相互に連携を深める

### 【How】

対象者：薬局及び病院に勤務する薬剤師

#### ■福岡ブロック

場所：福岡市薬剤師会館（福岡市中央区今泉1-1-1）

人数：40名（薬局薬剤師：20名、病院薬剤師：20名）

テーマ：入退院時薬剤連携シートとトレーニングレポートの活用

#### ■北九州ブロック

場所：健康医療福祉研修会館（北九州市八幡東区尾倉2丁目6番22号）

人数：30名（薬局薬剤師：20名、病院薬剤師：10名）

テーマ：トレーニングレポートについて

#### ■筑後ブロック

場所：地場産くるめ（久留米市東合川5-8-5）

人数：30名（薬局薬剤師：20名、病院薬剤師10名）

テーマ：トレーニングレポートについて

#### ■筑豊ブロック

場所：飯塚コミュニティセンター2階（飯塚市飯塚14番67号）

人数：40名（薬局薬剤師：20名、病院薬剤師：20名）

テーマ：ポリアーマシー対策

佐賀

都道府県薬名		佐賀県薬剤師会		研修テーマ、受講者課題		取組の有無・予定		取組（予定含む）の具体的内容		左記の実施年度	
年度	研修テーマ	受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度						
H 29度	研修テーマ	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	災害医療原則のCSCA（指揮連携、安全、情報伝達、評価）について 新型コロナウイルスとBCPIについて 令和2年1月15日（水）、令和3年1月20日（木）	令和元年度 令和2年度						
		・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	ポリファーマシー対策セミナー	平成31年度						
		薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	地域ケア会議参加に向けた研修会	令和元年、2年度						
H 30度	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策	実施済み	令和元年8月30日、2年8月30日 感染症 - 最近の話題と抗菌薬適正使用、耐性菌 生涯学習（令和元年9月21日）	令和元年度						
		・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	実施済み	病態と患者特性に基づく薬学的管理・指導のための研修会 令和3年2月20日	令和2年度						
		・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み	薬局での臨床研究実施のために必要な事 生涯学習（令和2年7月11日）	令和2年度						
R 元度	研修テーマ	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	実施済み	「薬剤師臨床研究におけるアンケート調査－アンケート票の作成から学会発表まで－」 生涯学習（令和元年7月20日）	令和元年度						
		・性と避妊	実施済み	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会 令和2年2月22日、3年2月13日	令和元年度、2年度						
		・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	がん薬物療法 薬業連携研修会 令和3年1月28日	令和2年度						
R 2度	研修テーマ	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	入院時及び退院時カンファレンスにおける薬業連携による薬局薬剤師の参画、「退院時カンファレンス推進事業」に関する研修会 令和元年10月8日（火）	令和元年度						
		・成育医療と薬剤師	実施済み	薬剤師が支える成育医療 第5回佐賀県薬剤師会学術大会 令和2年11月29日	令和2年度						
		・セルフメディケーションと薬剤師	実施済み	くすりの専門家であるためのOTC入門 令和3年3月6日（土）	令和2年度						
	受講者課題	・医療機関と薬局の連携について	実施済み	2カ月に一度開催される佐賀県薬剤師会医療安全委員会にて、県内にある八つの広域医療機関の病院薬剤師と、各地域薬剤師会の理事が情報交換を行って様々な問題解決を行っている。	2カ月に一度開催						
	受講者課題	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	実施済み	同上							

# 佐賀

年度	開催日	参加人数 (人)	研修会名
元 (2019) 年度	平成31年4月6日、令和元年5月11日、5月18日、6月29日	95	同と互同じ内閣生進学習
元 (2019) 年度	令和1年7月20日	133	生涯学習
元 (2019) 年度	令和1年10月4日	123	地風ケア
元 (2019) 年度	令和1年9月21日	73	生涯学習
元 (2019) 年度	令和1年10月8日	133	遠隔時カンファレンス
元 (2019) 年度	令和2年1月15日	64	総務災害研修会
元 (2019) 年度	令和2年2月22日	152	オンライン診療に伴う緊急連絡回調利
2 (2020) 年度	令和2年7月11日	146	生涯学習
2 (2020) 年度	令和2年6月28日	1※130	地風ケア
2 (2020) 年度	令和2年11月29日	2※164	県5回学術大会
2 (2020) 年度	令和3年1月20日	135	総務災害研修会
2 (2020) 年度	令和3年1月28日	108	がん薬物療法
2 (2020) 年度	令和3年2月13日	47	オンライン診療に伴う緊急連絡回調利
2 (2020) 年度	令和3年2月20日	66	患者特性に基づく費用指導
2 (2020) 年度	令和3年3月6日	56	DTC

1※ 130人うち1名は薬学生

2※ 164人はのべ人数。午前と午後に分けて行った学術大会のため

長崎

都道府県薬名		長崎県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H29度	研修テーマ ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	1) 長崎県主催 災害時保健医療福祉調整班活動訓練へ参加（担当役員参加 年1回） 2) 災害薬事コーディネーター等育成研修会（長崎県主催に共催開催） 参加者 97名 R3.2.7（日）9：00～14：30 研修内容 コーディネーターの業務、災害ロジックスで必要な知識、薬事トリアージの概念等 講師 長崎大病院 安藝、岡山大学 渡邊、他 長崎県へ災害薬事コーディネーター候補者を推薦（各地域より16名）	平成30年度より毎年
	受講者課題 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策） ・薬葉連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	日本薬剤師会 研修シラバスに基づく研修会の実施 R2.12.11（金）19：30～21：00 参加者 300名 内容 医療薬学的知識と技能（5検査値の把握） 講師 長崎大学 病院薬剤部 橋詰 淳哉	令和2年度
H30度	研修テーマ ・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等）	実施済み	H31.3.24研修会開催 参加者 90名 テーマ「AMR対策において薬剤師はどのように取り組むか」 講師）山口大学医学部附属病院 薬剤部長 北原 隆志	平成30年度
	受講者課題 ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成） 研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中	H31.2.3（日）長崎県薬剤師会プレ学術大会 参加 87名 大会テーマ「さあ、はじめよう学術研究」 特別講演 「薬局における研究と研究倫理について」 講師 日本薬剤師会 常務理事 宮崎長一郎 特別講演 学術研究の進め方について 講師 長崎大学病院薬剤部 准教授・副薬剤部長 兒玉 幸修	平成30年度
		実施済み	報告書にて提出済み	

長崎

R 元度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と避妊</li> </ul>	実施済み	<p>R2.11.15 (日) 13:30~17:00 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会開催 参加 222名 講演1) 「オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について」 講師：長崎県薬剤師会常務理事 井手 佳位輔 講演2) 「オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点」 講師：長崎大学病院産婦人科 講師 北島 百合子 講演3) 「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について」 講師：長崎県薬剤師会 社会保険委員会委員 西岡 雄一</p>	令和2年度
R 元度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導 (糖尿病、がんを題材)</li> </ul>	実施済み	<p>1) がん薬物療法と薬局薬剤師に関する研修会を開催 令和元.12.13 (金) 19:30~ 参加者53名 テーマ「がん薬物療法と薬局薬剤師に期待する役割」 講師) 国立がん研究センター東病院 薬剤部 副薬剤部長 松井 礼子 2) 糖尿病薬物治療研修会 (SMBG実践型形式) 開催 R元.12.12 (謙早地区) 参加26名 3) 糖尿病薬物療法研修会 R2.1.22 (水) 19:30~ 講師 長崎原爆病院内分泌・代謝内科部長 藤田 成裕</p>	令和元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出 (地域での薬業連携の推進を目指す)</li> <li>・成育医療と薬剤師</li> </ul>	実施済み	報告書にて提出済み	
R 2 度	研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフメディケーションと薬剤師</li> <li>・医療機関と薬局の連携について</li> </ul>	実施済み	<p>OTC研修会の開催 R元.8.29 (金) 謙早地区 参加者 40名 9.19 (木) 佐世保地区 参加者 36名 研修内容：セルフメディケーションの定義、国の医療費推移、添付文書の読み方など 講師 長崎県薬剤師会 理事 澤勢 瑞城</p>	令和元年度
	受講者課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</li> <li>都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</li> </ul>	実施済み	報告書にて提出済み	

熊本

都道府県名		熊本県薬剤師会		
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
H 29度	研修テーマ ・病院や地域における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	平成29年度災害薬事コーディネーター、災害支援薬剤師育成研修会(平成30年1月14日開催・123名)を開催し、次年度以降も毎年開催している。平成30年度にはモバイルファーマシー研修会を開催、毎年開催している。令和3年度に医薬品卸・行政との合同研修会を実施予定である。また、災害時医療救護マニュアルを令和3年度作成し、マニュアルを基にした研修会を支部ごとに実施予定である。	平成29年度～実施 令和3年度実施予定
	受講者課題 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	実施済み	ポリファーマシーに関する研修会「ポリファーマシーを攻略する～減らせる薬、減らさない薬～」を開催した(平成31年2月3日・71名)。保険薬局によるトレーニングレポート・CKDシールを利用した情報共有の取り組みについての研修会を開催した(令和2年11月1日開催・86名)。	平成30年度実施 令和2年度実施
H 30度	受講者課題 ・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（E B M等）	検討中 検討中 実施済み	薬剤師が取り組む睡眠薬・抗不安薬の適正使用について研修会を開催した(平成30年8月26日・76名)。	平成30年度実施
	研修テーマ ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	実施済み	研究論理の重要性、医療従事者のための実践統計等についての研修会（研究発表支援研修会(平成30年3月11日)）を開催し、翌年にはワークショップ形式による研究計画作成についての研修会(平成31年3月3日)を開催した。令和3年3月には「とりあえずアンケートから、学会・論文執筆に耐えられるアンケートへ」と題し、中国学園大学現代生活学部教授 波多江崇先生より講義いただく予定である。	平成29年度実施 平成30年度実施 令和3年3月実施予定
R 元度	受講者課題 ・性と避妊	実施済み 検討中	がん領域における高度な薬学的管理ニーズへの対応を行う薬剤師の育成と医療機関との連携強化を進めるための糸口と研修方法の調査	平成30年度～令和元年度実施
	研修テーマ ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	以下の研修会を開催。 令和2年12月13日開催「フォローアップ研修会」・93名（①免疫アレルギー疾患（リウマチ）について、②感染症について、③脳神経について、④糖尿病について） 令和3年2月28日開催「生涯学習研修会」・126名（①「ハイリスク薬」の概要と免疫抑制剤の薬学的管理指導における注意点について～メトトレキサートを中心に～、②抗凝固薬の副作用とその対策にちて、③糖尿病の薬学的管理～副作用とその対策～、④抗がん薬の副作用とその対策について）	令和2年度実施
受講者課題 外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	実施済み	実施済み	病院・診療所勤務薬剤師のための薬剤業務手引き(第8章)を作成（令和元年6月作成）	令和元年度実施

熊本

	<p>・成育医療と薬剤師</p> <p>・セルフメディケーションと薬剤師</p>	<p>検討中</p> <p>実施済み</p>	<p>かかりつけ薬剤師に求められる臨床推論能力、臨床推論（総論）症候診断の基本的な考え方、臨床推論（風邪）についての研修会を開催した（「セルフメディケーションに関する研修会」令和2年1月19日開催・117名）。</p> <p>なお、次年度、トリアージ関係、セルフメディケーションのサポートや薬局と病院・診療所との医療連携における薬剤師の役割についての研修会を実施したいと考えている。</p> <p>病院・薬局連携の構築をテーマに以下の研修会を開催。</p> <p>平成29年度8月5日開催・52名①薬業連携の新しいかたち（試み）～地域医療を担う病院薬剤師の視点から～、②窓口の外を見に行こう～シームレスな薬業連携を目指して～</p> <p>令和元年8月18日開催・54名①くまもとメディカルネットワークを使った多職種連携・訪問薬剤管理指導、②八代地区の薬業連携、③人吉地区の薬業連携</p> <p>令和2年9月27日開催・83名①医療機関と関連のある調剤報酬点数について、②退院時共同指導どうしよう、③算定してみよう！退院時薬剤情報連携加算</p> <p>熊本県薬剤師会学術大会を以下の内容で開催した。（令和2年1月26日開催・143名）①多職種が連携して行う地域包括的な糖尿病腎症重症化予防～薬剤師啓発の実践例とその効果～、②肺がん薬物療法UPdate、③シンポジウム「医療連携を進めよう」i 宇城地区の中で薬剤師と「繋がる」を考える、ii 病院・薬局間における双方向からの情報伝達ツールの利活用、iii 薬局間連携による医薬品適正使用の取り組み、iv 病院からの薬剤情報提供～薬剤管理サマリーの活用～、v 在宅移行時の薬業連携の実践</p>	<p>令和元年度実施 令和3年度実施予定</p> <p>平成29年度実施 令和元年度実施 令和2年度実施</p>
<p>R2度</p> <p>研修テーマ</p>	<p>・医療機関と薬局の連携について</p>	<p>実施済み</p>		
<p>受講者課題</p>	<p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出</p>	<p>検討中</p>		

# 熊本

研修シラバスに基づく研修実施に向けての経緯

- 日本薬剤師会は、薬剤師のかかりつけ機能の強化及び専門性の向上に資する知識・技能の習得、能力の維持・向上を図るため、以下の①～③を企画し実施した。(別添参照)
  - 研修シラバスの作成
  - 次世代薬剤師指導者研修会(平成31年2月10～11日)
  - 都道府県薬剤師会の役員を対象とした本事業の説明会「都道府県薬剤師会と本事業の趣旨を共有するため」(令和1年9月1日)
- 本会は、これを受けて実施計画を策定するために、平成30年度及び令和1年度に実施した研修について調査し、研修項目毎に分類した。(別紙1)(令和1年10月～12月)
- 研修シラバスに関係する研修会を多く担当する委員会(生涯学習、地域医療、薬局)の委員長が協議し、「研修シラバスに基づく研修実施方針案」及び「研修シラバスに基づく研修実施計画策定スケジュール案」を作成(令和1年12月24日)
- 常務会で「研修シラバスに基づく研修実施方針」(別紙2)と「研修シラバスに基づく研修実施計画策定スケジュール」(別紙3)が承認され、各委員会の令和2年度事業計画に盛り込むこととした。(令和2年1月6日)
- 新型コロナウイルス感染症拡大により、研修会実施が困難な状況となり、研修シラバスに関する業務が中断されるが、可能な限り研修に反映するとともに、講師バンクの設置については準備を進め、講師リストを作成した。(令和3年2月)
- 講師バンクを活用した研修シラバスに関する事業を盛り込んだ、令和3年度熊本県薬剤師会事業計画案を理事会で決定した。(令和3年2月22日)
- 今後、令和2年に計画した「研修シラバスに基づく研修実施計画策定スケジュール」(別紙3)で令和2年度に実施する予定であった事項を令和3年度に実施しながら、新たなスケジュールを作成する。

# 熊本

別紙1

項目ごとの研修回数  
(県・支部等実施分集計)

研修項目	平成30年度			令和1年度		
	県	支部	計	県	支部	計
<b>I 倫理・社会資源の活用</b>						
1.1.かかりつけ薬剤師の倫理	3	1	4	7	4	11
2.患者安全	5	8	13	8	11	19
3.医療・福祉の仕組み	7	41	48	6	38	44
4.カウンセリングスキル	2	7	9	2	10	12
5.エビデンスの創出	1	0	1	1	1	2
<b>II 医薬学的知識と技能</b>						
6.1.薬理学	1	0	1	1	7	8
7.2.製剤学	1	8	9	1	5	6
8.3.薬物動態学・薬力学	0	5	5	0	1	1
9.4.小児、高齢者、妊婦・授乳婦	5	7	12	2	10	12
10.5.検査値の把握	0	3	3	1	4	5
11.6.薬学的観察・評価	2	1	3	4	0	4
12.7.薬物療法の提案と実践	0	0	0	4	15	19
13.8.副作用対策	1	5	6	2	1	3
14.9.ハイリスク薬	0	0	0	0	0	0
15.10.生薬・漢方薬	1	25	26	1	17	18
16.11.感染対策	1	3	4	0	6	6
17.12.栄養管理	0	3	3	1	3	4
18.13.セルフケア支援	7	1	8	7	2	9
19.14.文献評価、医薬品情報の活用	0	0	0	2	2	4
20.15.統計データの理解と活用	0	0	0	0	0	0
21.16.薬学的知見に基づく記録	1	19	20	4	12	16
<b>血疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能</b>						
22.1.循環器系	1	21	22	3	26	29
23.2.消化器系	0	20	20	0	12	12
24.3.内分泌系	1	27	28	1	22	23
25.4.泌尿器系	1	18	19	0	11	11
26.5.生殖器系	0	1	1	0	0	0
27.6.呼吸器系	1	8	9	0	12	12
28.7.精神・神経系	1	19	20	2	18	20
29.8.皮膚・感覚器系	1	4	5	1	6	7
30.9.骨格・筋肉系	1	2	3	1	10	11
31.10.免疫系	0	9	9	0	6	6
32.11.悪性腫瘍	3	35	38	2	22	24
33.12.感染症	1	24	25	1	16	17
計	49	325	374	65	310	375

# 熊本

別紙2

## 研修シラバスに基づく研修実施方針

### 1. 研修実施主体

- (1) 「I 倫理・社会資源の活用」及び「II 医療薬学的知識と技能」の研修については県薬の事業計画に盛り込む。
- (2) 「III 疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能」の研修については支部が実施する。

### 2. 実施方法

- (1) 本会実施研修
  - ① 生涯学習委員会、地域医療委員会、薬局委員会がシラバス項目を分担して企画・実施する。(別表 研修項目を担当する委員会)
  - ② 他の委員会は、シラバス項目に該当する内容の研修会を実施するよう努める。
  - ③ 実施状況を把握して常務会等で報告し、実施予定研修会の調整を行う。
  - ④ 講師は上記の3つの委員会委員長及び病診勤務薬剤師委員会委員長が候補者を挙げて候補者リストを作成する。
- (2) 支部実施研修
  - ① 日薬が想定する内容の研修会を実施できる人材育成を行う。  
(令和4年度からはシラバス項目を選定して各支部で実施することをめざす。)
- (3) 講師バンクの設置及び運用開始
  - ① 研修項目毎に高い知識・技能を持った講師を県内の薬剤師から選任し、本会が実施する研修の講師の選定に活用するとともに、支部が実施する研修に講師として派遣する。

# 熊本

別表

## 研修項目を担当する委員会

研修項目	担当委員会		
	生涯学習	地域医療	薬局
I 倫理・社会資源の活用			
1 1. かかりつけ薬剤師の倫理		○	
2 2. 患者安全			○
3 3. 医療・福祉の仕組み		○	
4 4. カウンセリングスキル		○	
5 5. エビデンスの創出	○		
II 医療薬学的知識と技能			
6 1. 薬理学			○
7 2. 製剤学			○
8 3. 薬物動態学・薬力学			○
9 4. 小児、高齢者、妊婦・授乳婦			○
10 5. 検査値の把握	○		
11 6. 薬学的観察・評価	○		
12 7. 薬物療法の視察と実践	○		
13 8. 副作用対策	○		○
14 9. ハイリスク薬	○		
15 10. 生薬・漢方薬	○		
16 11. 感染対策	○		
17 12. 栄養管理		○	
18 13. セルフケア支援			○
19 14. 文献評価、医薬品情報の活用		○	
20 15. 統計データの理解と活用		○	
21 16. 薬学的知見に基づく記録			○

別添

平成30年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業の概要  
(平成30年度薬剤師生涯教育推進事業)

1. 事業の位置づけ  
以下に則り計画・実施  
・「患者のための薬局ビジョン」(厚生労働省、平成27年10月23日)  
・「薬剤師生涯教育推進事業」(厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課)
2. 事業の目的  
薬剤師のかかりつけ機能の強化及び専門性の向上に資する知識・技能の習得、能力の維持・向上
3. 事業の全体構想・概要  
各団体・学会が共通の指標とできる研修項目等の提示や、全国でその研修を実施できる体制整備が必要であることから、薬剤師の機能強化・専門性向上に資するための研修内容及び研修を全国的に展開するための方策について検討し、以下の①～③を企画し実施  
①研修シラバスの作成  
②次世代薬剤師指導者研修会の実施  
・平成31年2月10～11日に開催  
③都道府県薬剤師会で活用、研修計画に反映し薬剤師への研修機会を充実  
・都道府県薬剤師会と本事業の趣旨を共有するため、平成31年度に都道府県薬剤師会の役員を対象とした本事業の説明会を実施(9月1日)

4. 今後の展開  
地域における研修会は画一的なものを求めてはおらず、各都道府県薬剤師会が各々に計画・実施している研修事業に組み入れる形で、研修内容の指標としてシラバスが活用されることを想定  
指導者研修会を受講する次世代の指導的立場を担う若い世代と、現在の都道府県薬剤師会の事業運営を担う役員が一体となって、2025年に向け複数年をかけたシラバス及び指導者研修会の成果を活用して地域に応じた研修を実施してもらえよう、また研修を通じて地域医療の質の向上を図られるよう、本会として取り組みを継続

日本薬剤師会「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス(平成31年3月)」を基に作成

別紙 3

研修シラバスに基づく研修実施計画策定スケジュール

年度	令和元年度(2019年度)			令和2年度(2020年度)												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修実績の確認 (平成30年度、令和元年度分)	←→															
令和2年度予算 (追加研修は生涯学習委員会予算に計上)	←→															
令和2年度計画 項目整理			←→													
令和元年度決算					←→											
令和2年度実施 項目確認					←→											
追加研修の計画 (必要に応じ支部に委託)					←→											
追加研修の実施 (必要に応じ支部に委託)										←→						
令和3年度計画 (必要に応じ支部に委託)											←→					
講師バンク設置準備					←→											
令和3年度予算																
3か年(令和3～5年度)計画* (本会の研修シラバスの確立)																
*日薬の「都道府県薬剤師会における研修展開イメージ」には2025(令和7年度)に向けて研修を計画・実施とある。																
支部連絡協議会 (支部への伝達)																

日薬シラバス概要 令和2年度計画 令和2年度の状況 3か年計画

課題

- JPALSとの関連(シラバスは県薬の研修実施計画、JPALSは個人の実施目標・実績)
- 支部研修の計画吸い上げ方法(県薬のシラバス計画に盛り込むため)
- 支部研修の実施方法(県薬のシラバス計画に盛り込んだ研修についての関与のありかた、方法)

大分

都道府県薬名	大分県薬剤師会				
年度	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度	
H29年度	研修テーマ	・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動	実施済み	①PhDLSプロバイダー講習（県薬主催） 薬剤師 29名 ②モバイルファーマシー運用習熟訓練（県薬主催） 薬剤師 19名 ③災害薬学について（県薬主催） 薬剤師 47名 ④熊本豪雨被災地での活動経験から（県薬主催） 薬剤師 48名	①平成30年度 ②平成30年度 ③令和元年度 ④令和2年度
	受講者課題	・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策） ・薬業連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	実施済み	①医師と協働したポリファーマシー対策（県薬主催） 薬剤師 145名 ②ポリファーマシーに対峙する薬剤師への期待（市薬主催） 薬剤師 ③臨床検査値について～応用編～（市薬主催） 薬剤師	①平成30年度 ②令和元年度 ③令和元年度
H30年度	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	検討中	①薬業連携～情報～（県薬主催） 薬剤師 24名 ②地域医療において期待される薬局薬剤師の役割（県薬主催） 薬剤師 24名	①平成30年度 ②令和元年度
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中		
R元年度	研修テーマ	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	実施済み	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会（県薬主催） 薬剤師 124名	令和元年度
	受講者課題	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を目指す）	予定あり	大分赤十字病院で使用されるがん化学療法レジメンTOP10～服薬指導時のチェックポイント～（病薬主催） 薬剤師	令和2年度
R2年度	研修テーマ	・成育医療と薬剤師 ・セルフメディケーションと薬剤師 ・医療機関と薬局の連携について	検討中		
	受講者課題	受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	検討中	①大学病院院議義照会等事前同意プロトコル説明会（病薬主催） ②外来がん化学療法に関する研修会（病薬主催） 薬剤師	令和2年度



宮崎

R 元度	研修テーマ ・性と避妊	実施済み	<p>「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」(WEB研修)</p> <p>日時 令和2年10月31日(土) 16:00~20:00 16:00~16:30</p> <p>1. オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について (30分) 宮崎県薬剤師会 常務理事 黒木 武 16:30~18:30</p> <p>2. オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点 (1) 緊急避妊全般 (45分) 宮崎県産婦人科医会 副会長 宮崎県立宮崎病院 副院長・医療連携科主任部長・産婦人科部長 嶋本 富博 先生 (質疑応答) (2) 月経異常・ホルモン調節機序 (40分) (3) OC全般・避妊 (35分) 宮崎県立宮崎病院 産婦人科・地域医療科医長 高村 一紘 先生 18:40~19:40</p> <p>オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について (1) 薬局での対応について (20分) 宮崎県薬剤師会 常務理事 黒木 武 (2) 患者対応等について (40分) 宮崎県薬剤師会 常務理事 青木 浩朗 19:40~20:00</p> <p>令和2年度みやざき薬業連携全体研修会の開催 (WEB研修) 令和2年11月7日(土) 15:00~ 15:00~(5分) 挨拶、本研修会の目的など(倉澤委員長) 15:05~(90分) 講演「有効で安全ながん薬物療法を目指して」 宮崎大学医学部附属病院薬剤部 教授 薬剤部長 池田 龍二 先生 (宮崎県薬剤師会 副会長) 16:35~(10分) 総括、挨拶(黒木常務理事)</p> <p>※別添「平成31年度 薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点化モデル事業 事業報告書」</p>	<p>令和2年度実施(新型コロナウイルス関連による延期)修了者数242名</p> <p>令和2年度実施(全体115名,うち病院勤務16名)</p>
受講者課題	外来・入院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出(地域での薬業連携の推進を目指す)	実施済み		
R 2度	研修テーマ	検討中	<p>・成育医療と薬剤師 ・セルフメディケーションと薬剤師 ・医療機関と薬局の連携について</p> <p>受講者：自県における薬業連携の現状把握や課題抽出</p> <p>出 都道府県薬剤師会：薬業連携の実践に向けた具体的な</p>	
受講者課題	受講者課題	検討中		

# 鹿児島

都道府県名	鹿児島県薬剤師会	研修テーマ、受講者課題	取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度
年度					
		<p>・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）</p>	実施済み	<p>平成30年度鹿児島県薬剤師会講習会 日時：平成30年4月1日（日） 9：50～12：10 /鹿児島市中央公民館 講演1「診療報酬改定を踏まえた薬剤師を取り巻く状況」 講演2「災害時における薬局・薬剤師の対応～放射線ファーマシストへの取り組み～」 福島県薬剤師会 常務理事 宗形 明子 先生</p> <p>災害支援薬剤師研修会 日時：令和元年8月18日（日） 10：00～16：00 /鹿児島県薬剤師会館 1 講話 (1)鹿児島県の災害医療体制について (2)鹿児島県薬剤師会の災害時の体制について 2 講義及びシミュレーション「災害時医療支援に薬剤師職能を活かすために」講師：江川 孝 先生（福岡大学薬学部 教授）</p> <p>令和2年度「災害支援薬剤師育成研修会」 日時：令和3年1月24日（日） 10：00～13：00 /鹿児島県薬剤師会館（オンライン配信のみ） 内容：【講演】「災害時における薬剤師の医療救護活動等について」 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部教授 惠谷誠司先生</p>	平成30年 令和元年 令和2年
H29度	研修テーマ		実施済み	<p>腎機能に基づいた薬学的管理を実践するための基礎研修会 日時：平成30年8月4日（土） 17：00～20：00 場所：鹿児島県薬剤師会館（鹿児島市与次郎2-8-15） 内容：保険薬局において腎機能に基づいた処方監査・疑義照会等を実施するための基礎研修 形式：講義及びワークショップ 講師：熊本大学大学院薬学部薬劑情報分析学分野助教 近藤悠希 先生 鹿児島県薬剤師会理事 井上彰夫</p> <p>ポリファーマシー研修会 日時令和2年12月20日（日） 9：30～12：30 場所県薬剤師会館3Fホール及びオンライン3. 定員会場50名 内容事業概要9：30～10：10 鹿児島県くらし保健福祉部国民健康保険課国保指導係保健技師 片野坂有香氏 鹿児島県後期高齢者医療広域連合業務課主査 永山広子氏 鹿児島県薬剤師会常務理事 沼田真由美 事業報告10：10～11：00 南薩薬剤師会 赤池剛先生 川内薬剤師会藤井規好先生 特別講演11：00～12：30 「最新のポリファーマシー対策とは」－ 支援料2の算定と対人業務－ 東京大学大学院医学系研究科地域医療システム学講座教授 今井博久先生</p>	平成30年 令和2年



鹿児島

R元度	<p>・性と避妊</p> <p>・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿症、がんを題材）</p>	実施済み	<p>オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会          日時：令和2年2月24日（月・振替休日） 9：30～13：00          場所：マリンプレサカゴしま 3Fマリンホール          内容：          ①オンライン診療ガイドラインと緊急避妊薬処方について          公益社団法人鹿児島県薬剤師会 常務理事 岩元暢秀          ②オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点          公益財団法人慈愛会今村総合病院 産科・婦人科 主任部長 飯尾一登先生          医療法人 石塚レディースクリニック 院長 石井裕子先生          ③オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について          公益社団法人鹿児島県薬剤師会 理事 井上彰夫</p>	令和元年
研修テーマ		実施済み	<p>薬業連携研修会「ハイブリッド・ワークショップin Kagoshima」          日時：令和2年11月7日(土) 15：00～18：00          会場：TKPガーデンシティ鹿児島中央          定員：56名（本会場参加48名 インターネット参加8名）          15：00～15：05 Opening（5分）          15：05～15：45 講演「連携事例の紹介」（40分）          15：45～15：55 Ice breaking（各グループでの自己紹介）（10分）          ワークショップ「薬業連携を通じたがん患者への薬学的介入の実践」          治療導入期：グループディスカッション（15分）          （処方構成の確認/支持療法薬の役割）          （副作用マネジメント・モニタリングに必要な情報）          治療継続期：連携ルールを用いたハンズオンセッション（50分）          （処方箋の事例に基づいた連携の検証）          （課題抽出と今後のアクションプラン）          17：00～17：50 各グループ発表（20分）          総合ディスカッション（30分）          17：50～18：00 Closing</p>	令和2年
受講者課題	<p>外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬業連携の推進を指す）</p>	実施済み	<p>入退院時における多職種連携推進事業研修会          日時：令和元年7月28日（日） 10：00～12：00          場所：鹿児島県薬剤師会館（鹿児島市与次郎2-8-15）          内容：          1. 基調講演「地域包括ケア時代に求められる薬剤師の役割」          日本病院薬剤師会 理事/市立敦賀病院 医療支援部長 荒木 隆一 先生          2. 平成30年度「薬業連携とどんぐり推進事業」成果報告          事業成果報告1 南風病院 薬剤部 益田 宏代 先生          事業成果報告2 垂水市民薬局 川畑 仁志 先生          3. 事業説明「『おくすり整理そうだんバッグ』を活用した入退院時における多職種連携の推進」          鹿児島県薬剤師会 医療福祉委員会 丸野 桂太郎</p>	令和元年

鹿児島

R2度	研修テーマ	・成育医療と薬剤師 ・セルフメデイケーションと薬剤師	検討中	かかりつけ薬剤師・薬局研修会 テーマ 薬剤師に求められる臨床推論～頭痛編～ 講師 筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 附属病院 総合臨床教育センター・総合診療科 教授 前野 哲博 先生	平成30年
	受講者課題	・医療機関と薬局の連携について 受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬薬連携	予定あり	がんをテーマにした薬薬連携のワークショップの開催 地域ごとに薬薬連携を担当する責任者を選定して、連携体制の整備する。 県薬では担当者会議や情報提供を通じて体制構築の後方支援を行う。	

沖縄

都道府県名	沖縄県薬剤師会		取組の有無・予定	取組（予定含む）の具体的内容	左記の実施年度	
H29年度	研修テーマ	研修テーマ、受講者課題 ・災害時における医療提供体制と薬剤師の役割・活動 ・病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術（臨床検査値を活用した薬学的管理、ポリファーマシー対策）	検討中	2018年9月14日医薬分業対策委員会主催研修会にて、病薬と連携してポリファーマシー対策の研修会を開催。SGD形式で、内容は次世代薬剤師指導者研修会の事例をアレンジしたものを使用。	H30年度	
	受講者課題	薬薬連携・他職種連携の推進、チーム医療の実践につながる研修計画の立案（実践につながる研修の実施を目指す）	予定あり			
H30年度	研修テーマ	・AMR（薬剤耐性）対策 ・薬学的視点による疾病管理と患者アプローチ（EBM等） ・エビデンス化の手法（研究計画の立案、計画書の作成）	検討中	薬剤師会会員にアンケート調査を行う研究を予定。成果を伴えば九州山口薬学大会での発表を目指す。	H30年度	
	受講者課題	研究計画書の作成（薬剤師会等の事業からエビデンス創出を目指す）	検討中			
	研修テーマ	・性と避妊 ・患者情報の継続的な把握と薬学的知見に基づく指導（糖尿病、がんを題材）	予定あり			R2年度
R元年度	受講者課題	外来・入退院時の医療機関と薬局の連携の事例の提出（地域での薬薬連携の推進を目指す）	検討中	R2年10月19日那覇地区薬剤師会主催の広域病院薬局長会議を開催。那覇市の入退院支援連携コンセンサスブック（ていーあんだールール）の活用をテーマに連携推進にむけて協議実施。	R2年度	
R2年度	研修テーマ	・成育医療と薬剤師 ・セルフマネジメントと薬剤師 ・医療機関と薬局の連携について	検討中	R3年度事業計画における計画済み。医薬分業対策対策会議と主催研修会を開催し連携の機軸と題材を提供する。	R3年度	
	受講者課題	受講者：自県における薬薬連携の現状把握や課題抽出 都道府県薬剤師会：薬薬連携の実践に向けた具体的な取組計画の提出	予定あり			R3年度事業計画における計画済み。課題提出した取組計画を実施していく。